ISSN 2435-5992

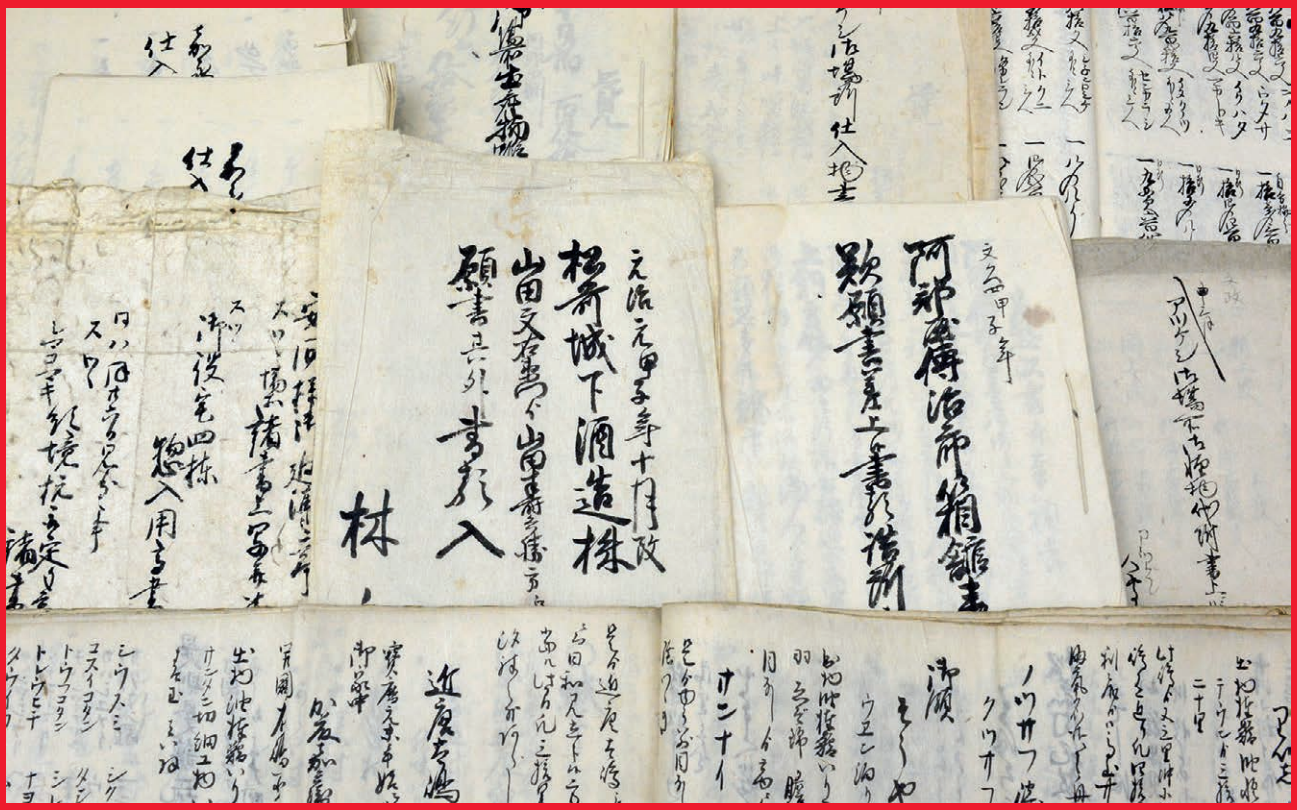
北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM

北海道博物館資料目録

CATALOGUE OF
HOKKAIDO MUSEUM

2

フラーシェム・コレクション



北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM

2020

北海道博物館資料目録

CATALOGUE OF HOKKAIDO MUSEUM

第 2 号

VOLUME 2

北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM

2020

発刊にあたって

北海道博物館は、北海道開拓記念館（1971年開館）と道立アイヌ民族文化研究センター（1994年開所）という2つの道立施設を統合して、2015年4月に新たに開設されました。博物館の重要な役割の一つは、各種の貴重な資料を収集・保管して、調査研究や展示や教育普及に供していくことであります。そういう意味で、それぞれの博物館が所蔵する資料群につきまして、資料目録等を刊行し、広く活用していただくことは極めて重要な活動になります。

北海道博物館の前身としての北海道開拓記念館は、各種所蔵資料の「一括資料目録」の刊行を続けて、最終的に第40集まで刊行すると共に、所蔵資料の分野別の「分類目録」についても多数刊行してきました。同様に道立アイヌ民族文化研究センターも各種の貴重な所蔵資料について整理を行い、「資料目録」を8冊刊行しています。これらの2つの前身施設の伝統を受け継ぎながら、北海道博物館としての最初の資料目録は、弥永芳子様からご寄贈いただいた貴重な各種資料群を整理して2017年に刊行した『弥永コレクション』となります。そのため、この度の『フラーシェム・コレクション目録』は北海道博物館資料目録の第2集になります。

フラーシェム・コレクションは、日本近世史の研究者であった故ロバートG・フラーシェム(Robert G. Flershem)様とヨシコN・フラーシェム(Yoshiko N. Flershem)様ご夫妻が長年に亘って日本各地で収集された古文書群であります。フラーシェムご夫妻は、北前船研究の一環として蝦夷地場所請負人であった山田文右衛門の足跡を追い求めるなかで、北海道をはじめ日本全国を広く調査し、各種の古文書を収集され、貴重なフラーシェム・コレクションを蓄積されました。このコレクションは、場所請負人・支配人を務めた家に伝存した資料群としては、その量・質ともに群を抜いており、蝦夷地場所請負制、とりわけ請負制下のアイヌ社会のあり様を解明できる貴重な資料として大いに注目されています。

この貴重なコレクションを北海道博物館にご寄贈いただきましたフラーシェムご夫妻に謹んで厚くお礼を申し上げます。今後、本資料目録によりまして、フラーシェム・コレクションをより多くの方々に活用いただくことで、北海道史研究が従来にも増して、大きく発展することを心より祈念いたしております。

北海道博物館長　　石森　秀三

目　次

発刊にあたって　石森秀三

フラーシェム・コレクション目録　東　俊佑

目録　1
写真図版　16
— A　スッツ場所関係文書　16
— B　アッケシ場所関係文書　28
— C　北海道関係文書　31
フラーシェム・コレクションについて　東　俊佑　64

表紙写真：フラーシェム・コレクション

CONTENTS

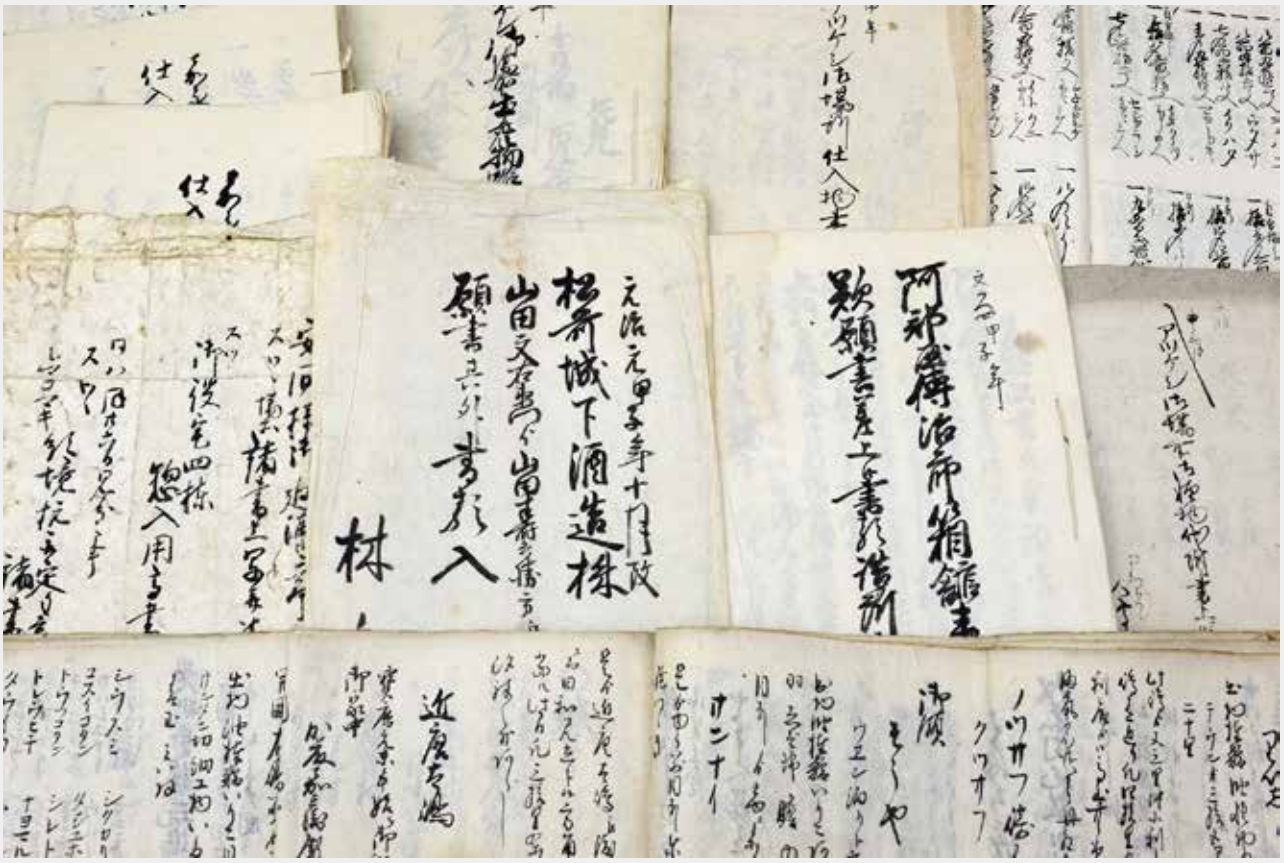
PREFACE ISHIMORI Shuzo

Flershem Collection Catalogue AZUMA Shunsuke

Catalogue 1
Photographic illustrations 16
— A Suttsu Basho-related documents 16
— B Akkeshi Basho-related documents 28
— C Hokkaido-related documents 31
About the Flershem Collection 64

フラーシェム・コレクション目録

フラーシェム・コレクションは、蝦夷地場所請負人の研究者であったロバートG・フラーシェム（Robert G. Flershem）、ヨシコN・フラーシェム（Yoshiko N. Flershem）夫妻旧蔵の文書群です。主に近世の北海道（蝦夷地）に関する古文書で構成され、とくにスッツ場所（寿都）、アッケシ場所（厚岸）、ヨイチ場所（余市）に関する簿冊・書簡を多数含んでいるのが特徴です。フラーシェム夫妻は、場所請負人であった山田文右衛門の足跡を追うなかで、北海道をはじめ日本全国を調査し、その過程で出会ったさまざまな古文書を収集してきました。その地道な活動が、一大コレクションを形成するに至りました。



目録

凡例

(1)「整理番号」
- 本目録の通し番号である。1～230の番号が付してある。本目録で［230］などとあるのは、整理番号を示す。

(2)「収蔵番号」
- 北海道博物館での資料の登録番号である。フラーシェム・コレクション230件は、184465～184694の番号を割り当てられている。

(3)「種別」
- A～Cに分類してある。Aは「スッツ場所関係資料」、Bは「アッケシ場所関係資料」、Cは「北海道関係資料」である。なお、この3分類は、フラーシェム家旧蔵時の整理区分をそのまま採用したが、［88］～［91］はBからCへ移動した。

(4)「資料名」
- 原則として原題主義（資料の表紙や冒頭などに墨書されている題そのまま）を採用した。
- 資料に原題がなく、その内容から適宜、資料名を付した場合は〔　〕で記した。また、原題が長く、資料名として煩雑な場合も〔　〕で記し、原題は「備考」で註記した。
- 原題が「上」「覚」「記」などの場合は、その後ろに〔　〕で適宜補った。

(5)「数量」
- その資料の点数を示した。
- 「封入」「包紙入」（本体が封や包紙の中に内包されている）などの場合は、封などと本体を合わせて1点と数えた。本目録では、［96］［127］［193］以外はすべて1点となっている。

(6)「形態」
- 冊子状のものは「竪帳」「横帳」「横半帳」、一枚物は「竪紙」「竪折紙」「横折紙」「切紙」、紙を継いでいるものは「継紙（〇枚）」、こより等で綴られているものは「綴」、複数の文書を入れる袋として使用していたものは「袋」、明治以降の罫紙を使用している場合は「罫紙」と記した。

(7)「年代」
- 基本的には作成された年月日を記したが、「綴」などで作成年月日が判然としない場合は、その中に綴られている文書などから考えられる一番古い作成年月日を記した。帳簿類の場合は、記載されている最初の年月日や、表紙に墨書された年月日を採用した。
- 干支の後などに〔　〕で記した年代は、その資料の内容や語句、あるいは他の関係史料の記載内容からほぼ推定できる推定年代である。

(8)「法量」
- 資料の寸法（縦・横）をcmで記した。
- 寸法は、その資料の縦・横、それぞれの長さの最大値を示したものである。
- 資料はすべて文書（紙もの）で、高さ7.0cmをこえるものはないため、高さは計測していない。

(9)「丁数」
- 冊子形態（帳）の場合に丁数を記した。
- 簿冊など表紙が綴られている物は、表紙・見返などを除く本文部分の丁数であるが、仮綴・紙釘装の場合は、表紙に相当する丁も含む丁数である。

(10)「作成者・著者／差出→宛所」
- 資料自体に作成者や著者、差出人の記載があるものについて示した。また、宛所の記載があるものは「→〇〇」の形で記した。差出人と宛所の両方が記されていれば、「〇〇→〇〇」と記した。
- 「綴」などの冊子状の書類は、作成主体が表紙などに明記されている場合のみ記したが、特に推定した場合は〔　〕で示した。
- 作成者・著者・差出人・宛所の後の（　）は、その人物の肩書きや住所として資料中に示された記述である。

(11)「備考」
- 資料の一括関係を目録の整理番号で示した（例えば、［44］［45］こより合綴、など）。
- 「合綴」とは、綴じ紐や金具などで綴られていた場合、「一括」とは、封筒や袋、包紙などで括られていた場合である。
- 「封筒一括」は、フラーシェム家での整理封筒一括の意味である。
- その資料の状態、簡単な内容やキーワードなど、閲覧や検索に役立つと思われる事柄を適宜記した。
- 「封入」や「包紙入」とは封や包紙と文書が分離していること、「封付」「包紙付」とは、文書が封に糊などで付着していることを示す。
- ウハ書などの引用文中の「／」は改行を示す。

(12)その他共通
- □は判読不能の字1文字を示す。
- 〔〇〇〇カ〕は、判読不能などの語句の推定を示す。
- 屋号は次のように【　】で示した。

太|→【カネ太】　亍→【一丁】　又→【リュウゴ】　圣→【又十】　小→【ヤマ小】
\\→【イチゼンバシ】　栖→【マル栖】　△|→【カネ△】　丁|→【カネ丁】　X→【×】
仵→【イキ】　丄→【〆一】　仝→【ヤマ上】　十五→【マル十五】

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量(cm) 縦	法量(cm) 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
1	184465	A	代胸簿	1	竪帳	巳〔安政4年〕1月	23.2	15.5	96		ウハ書「乙巳春正月上浣／代胸簿／山川氏之記事」。16、31、35、45、46、80丁の袋綴部分に文書各1点ずつ内包。裏表紙欠。18丁に【カネ太】山川の印あり。脇差、年中行事、山川氏の家族構成など種々記載あり。「建部氏書抜萃」に建部七郎右衛門家の系図、田付新兵衛、田付新助の記載あり
2	184466	A	代胸簿	1	竪帳	安政4年8月	24.5	16.5	23		表紙左半欠損。ウハ書「安政四丁巳八月仲旬／代胸簿」。8月12日から10月10日までの日記。アイヌの出稼ぎ、山崎屋新八の願書下書などの記載あり
3	184467	A	田付氏列祖名面年号書	1	竪帳	文政12年	24.0	16.0	17	田付春郷	**[3]～[4]2点封筒一括** ウハ書「于時文政十二己丑春王日／春郷改／田付氏列祖名面年号書」。田付新兵衛家の先祖の法名、生没年等の系譜の記載あり
4	184468	A	乍恐以書付奉申上候	1	継紙(2枚)	〔天保11年以降〕	14.5	28.3			山崎屋(田付)新兵衛家の店の来歴の記載あり。天保11年以降成立。冒頭に【リュウゴ】とあり
5	184469	A	附校正家伝田付氏累世家譜略	1	竪帳	〔天保11年以降〕	23.2	15.8	15		田付新兵衛家の家譜。初代から8代新兵衛朝清まで
6	184470	A	要事控	1	竪帳	天保15年	24.5	17.3	11	田付氏	**[6]～[8]3点封筒一括** ウハ書「田付氏／天保甲辰歳／要事控」。天保年間の願書数通の控え。柳屋から山崎屋への店名改名の記事あり
7	184471	A	乍恐以書付奉申上候	1	継紙(2枚)	〔天保15年〕	14.7	29.0			継紙貼合剥離。冒頭に「江州彦根御領分／柳川村／柳屋新兵衛店／山崎屋／武兵衛」と記載あり。寛永年間開店から現在までの経過を記載
8	184472	A	覚	1	継紙(2枚)	天保14年3月	15.8	24.0			蠣崎将監からの内々の尋ねに対する答書。宮川増蔵、西川准兵衛、浜屋勘兵衛、岡田半兵衛、福嶋屋新右衛門、山崎屋新兵衛、材木屋熊二郎、木屋文右衛門の8名の商人(近江柳川・薩摩・八幡出身)の蝦夷地での商売年数の書上
9	184473	A	年々行事要録	1	竪帳	安政2年	24.7	17.0	80	田付新兵衛朝寛	ウハ書「安政二乙卯年改／諸山献納／年々行事要録／田付朝寛」。ウラ「田付新兵衛／朝寛」と墨書。羽州庄内善宝寺などの寺院への供養料、供物などの目録の覚書。田付新兵衛朝清、田付新八朝寛、山川良治郎などの名前あり。1855(安政2)年新八の「店嫡家志願」の祈祷の記載あり
10	184474	A	〔寿都郡出張所願書綴〕	1	竪帳	明治6年	25.0	18.0	40		18通の願書ほかがこよりで合綴。願書に対し戸長田付新八が奥印
11	184475	A	願書書上控	1	竪帳	天保9年	24.5	17.0	205		ウハ書「戊戌／天保六年／正月吉日／願書書上控」。裏表紙欠。スッツ・セタナイ場所請負人山崎屋新兵衛の提出願書、届などの控え。「ヲムシヤ」「狩物(軽物)」「賄」の記載もあり
12	184476	A	願書書上控	1	竪帳	天保12年	25.0	17.0	181		ウハ書「辛丑／〔天保十二年カ〕／〔正月吉日カ〕／願書書上控」。裏表紙欠損。山崎屋武兵衛の提出願書、届などの控え。「ヲムシヤ」「賄」の記載もあり
13	184477	A	諸船舶書上留	1	竪帳	明治11年	25.5	17.5	94		後欠。後半水濡れ痕・茶変色あり。ウハ書「明治十一年第壱月／諸船舶書上留／〔廻船宿田附カ〕店」。寿都港の入港届、出港届、積荷目録などの綴り
14	184478	A	諸船舶書上留	1	竪帳	明治12年	26.5	19.0	160		裏表紙欠。簿冊上下に水染み。ウハ書「明治十二年壱月／諸船舶書上留／廻船宿田附店」。寿都港の入港届、出港届、積荷目録などの綴り
15	184479	A	出稼人別書上	1	竪帳	卯〔安政2年〕8月	25.5	18.5	76	スツヽ運上家	水染み・カビ痕あり。出稼人の人別帳。家族構成・檀家などの記載あり。家数117軒・人数534人分
16	184480	A	税品御払下願	1	竪帳	明治18年	25.0	17.5	42		寿都郡在住者の函館県収税課への「税品御払下願」「上納目録」の綴り

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm）		丁数	作成者・著者差出→宛所	備考
							縦	横			
17	184481	A	〔寿都郡関係書類綴〕	1	竪帳	〔明治5年〕	25.0	17.5	68	田付新八（後志国寿都郡御用達）	「壬申年出産物御収納税明細調下書」「壬申三月中願請品代調書」「未二月廿七日御役所御下渡品覚」など数帳の綴り
18	184482	A	御用留	1	竪帳	明治5年1月	26.0	17.5	122		簿冊上部水染みあり。ウハ書「明治五年／御用留／第一月吉辰」。64丁に書簡4通あり。うち1通本冊貼付。寿都郡戸長田付新八が関わった寿都郡の公文書の綴り
19	184483	A	御請証文之写	1	竪帳	慶応3年3月	25.2	17.3	7	源兵衛（松前志摩守領分松前唐津内町家持請負人山崎屋新八代）ほか3名→奉行所（弘前様）	ウハ書「慶応三年卯三月／御請証文之写／山崎屋新八」。スッツ場所の運上金、蝦夷人取扱など場所請負に関する諸事項の請証文の写し
20	184484	A	〔田付新八書上綴〕	1	竪帳	明治6年4月	24.0	17.0	10	田付新八（御用達）	上部水染みあり。「奉上納金子之事」（寿都郡出張所宛）「御払下直段書上」（御役所宛）の2冊の綴り
21	184485	A	書上簿	1	竪帳	明治9年	24.5	16.0	73		ウハ書「明治九年四月／書上簿／寿都郡／魚税取扱所」。田付新八が寿都郡魚税取扱用達として関わった諸書類の綴り
22	184486	A	寅ノ年書上之写	1	竪帳	安政2年4月	25.0	17.0	24		ウハ書「安政二年卯四月／寅ノ年書上之写／スツヽ運上家」。スッツ場所運上家が幕府役人や松前藩家臣などに提出した諸書上の写し。場所境、アイヌの人別、役蝦夷人の名前の記載もあり
23	184487	A	〔箱館奉行所文書写〕	1	竪帳	安政6年7月	24.0	17.0	4		田付新助（井伊掃部頭領分江州愛知郡柳川村）のヲタルナイ・マシケ場所の新規請負願いに対する奉行衆の評議、新助の歎願書の写し
24	184488	A	願書控	1	竪帳	文政11年	24.5	16.5	98		ウハ書「戊子／文政十一年／願書扣／正月吉日」。裏表紙ウハ書「第拾号／田付新兵衛」。柳屋新兵衛が町役所、沖之口役所などへ提出した願書の控えなど
25	184489	A	願書并諸書上書留	1	竪帳	安政6年4月	24.5	17.0	290		ウハ書「安政六己未年／願書并／諸書上／書留／十□四月□吉日」。スッツ場所支配人から酒筒御用所へ提出した書類の写しなどの綴り。役アイヌの軽物上納、「拝謁役土人」「櫓窓」、馬病死の記事などあり
26	184490	A	浜中惣人別書	1	横帳	安政2年8月	33.0	12.0	35	寿都運上家	ウハ書「安政二卯年八月／浜中惣人別書／寿都／運上家」。浜中和人の人別帳。出身村、家族構成、檀家などの記載あり。家数117軒、人数534人
27	184491	A	惣浜中人別調書	1	横帳	慶応3年11月25日	33.5	12.3	44	スツヽ運上家→スツヽ役所	後半破損。ウハ書「丁慶応三年卯十月吉日／惣浜中人別調帳／スツヽ運上家」。浜中和人の人別帳。出身村、家族構成、檀家などの記載あり。家数139軒、人数741人。卯年越年家数人別
28	184492	A	〔寿都関係文書綴〕	1	竪帳	慶応3年	24.0	17.0	216		歎願書、増金請証文、鯡取造船書上、御用留の写し、御触達控、漁場地願など寿都関係文書の綴り（一部原本も収録）。慶応3年～明治12年
29	184493	A	売目録	1	継紙（3枚）	明治3年9月18日	31.0	67.0		寿都廻船問丸会所→松栄丸弥兵衛	**［29］～［30］2点封筒一括** 継紙貼合一部剥離。ウハ書「松栄丸」
30	184494	A	売目録	1	継紙（2枚）	明治3年9月18日	30.5	44.0		寿都廻船問丸会所→松栄丸弥兵衛	上部水染み。ウハ書「松栄丸」
31	184495	A	以書付奉御届申上候	1	竪紙	安政6年11月	24.5	33.0		賢龍（箱館高龍寺出役僧）→スツヽ運上家	封入：34.0×6.0cm、ウハ書「上／ヲタスツ／庵主方／願書」。入仏供艱につき浜中へ高札届

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm） 縦	法量（cm） 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
32	184496	A	誤申一札之事	1	竪紙	万延元年5月	24.5	33.5		栄吉（岩サキセタナイ廻り）ほか2名→運上家	封入：26.3×7.5cm、ウハ書「誤証文一札之事／セタナイ廻り／岩サキ／栄吉」。運上家より禁止されていた外割鯡を取り扱い、収納を隠していたことについての詫び証文
33	184497	A	口書一札之事〔病死手形〕	1	継紙（2枚）	天保10年2月5日	24.0	40.0		六左衛門（本人福島村）ほか6名→スツヽ運上家	封入：27.0×6.5cm、ウハ書「病死／手形／御城下東在福島村／六左衛門」。ヲタルナエ場所へ向かう途中病死した雇・弟蔵の埋葬承知につきスツヽ運上家への死亡届
34	184498	A	覚〔死亡届〕	1	継紙（2枚）	嘉永6年9月4日	24.7	44.3		清治郎（清左衛門弟）→スツヽ運上家	封入：29.0×5.7cm、ウハ書「始末書／本郷村／清左衛門弟／清治郎」。継目上部貼付剥離。病死の清左衛門埋葬許可につき始末書（死亡届）
35	184499	A	御尋ニ付乍恐以書付奉申上候	1	継紙（3枚）	亥9月30日	24.2	89.2		茂助（大野村）→ヲタスツ詰合	**［35］～［36］2点封筒一括** 溺死の件。付箋：3行目（貼付）、10行目（剥離）、13行目（貼付）。イワナ井場所出稼平八雇人2名溺死につき。茂七（スッツ場所支配人代）ほか1名の奥書印形あり
36	184500	A	〔付箋〕	1	継紙（2枚）		15.7	12.6			大波に流された7名のうち2名溺死との記載あり
37	184501	A	差上申一札之事	1	竪帳	文久元年6月22日	24.5	17.4	3	惣吉（九郎兵衛船宿六条頼）ほか1名→スツヽ運上家支配人	封入：26.3×6.7cm、ウハ書「上／酉六月廿二日／能州／九郎兵衛／宿六丁／惣吉」。シヤコタン場所へ出帆の船滞船中に能登弁次郎死去。埋葬許可につき死亡届
38	184502	A	差出申一札之事	1	竪紙	嘉永5年9月14日	24.2	31.0		重右衛門、万之助→運上家支配人	包紙入：24.3×29.9cm、ウハ書「上　一札入／万之助／女房べん」。妻病死、仮埋葬許可につき死亡届
39	184503	A	〔書簡〕	1	竪紙	巳2月4日	24.8	34.5		→【リュウゴ】御印支配人	封入：18.5×6.0cm、ウハ書「スツヽ御場所【リュウゴ】御印／御支配人中様／小柳屋／六三郎／高下要用」。ウラ「巳ノ二月四日認メ／〆／ゟ箱館至鍛冶村」雇人の派遣要請不首尾についての詫び状
40	184504	A	覚〔スッツ夏船懸り物書上〕	1	切紙		15.9	20.9			日吉丸左吉乗の銭高の書上
41	184505	A	申年酉年諸書上帳	1	竪帳	明治5～6年	25.5	18.0	110	御用達帳場	田付新八（寿都郡御用達）より開拓使や寿都出張所への願書などの綴り
42	184506	A	寿都重立候方々江御達書之写	1	竪帳	明治3年2月	24.1	17.0	6		ウハ書「明治三年春／寿都重立候方々江／御達書之写」。内題「吉田使掌覚書」。不予全快のための御用金の下賜とその「下戻」について
43	184507	A	〔スッツ場所関係書類袋〕	1	袋		29.5	20.0			**［43］～［64］22点封筒一括** 表：ウハ書「平田屋／源兵衛／御菓子」と「御用／松前城下／御菓子所／豊寿堂」の印。裏：ウハ書「安政四丁巳十一月／安間様御廻浦之序／スツヽ場所諸書上写并請書／都合弐冊入／スツヽ御役宅四棟／惣入用高書上　壱冊／同八月廿六日見分之事／スツヽシマコマキ領境杭取定之序／諸書付　壱冊／田付新八朝寛」
44	184508	A	嘉永三寅年スツヽ場所仕入物代書上	1	竪帳	卯〔安政2年〕3月	24.5	17.0	5	源兵衛（山崎屋新八代）	［44］［45］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
45	184509	A	西蝦夷地スツヽ嘉永三戌年出産物書上	1	竪帳	安政2年3月	24.5	17.0	5	源兵衛（西蝦夷地スツヽ請負人山崎屋新八代）	［44］［45］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
46	184510	A	嘉永四亥年スツヽ御場所仕入物代附書上	1	竪帳	卯〔安政2年〕3月	24.5	17.0	3	源兵衛（山崎屋新八代）	［46］［47］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
47	184511	A	西蝦夷地スツヽ嘉永四亥年出産物書上	1	竪帳	嘉永4年3月	24.5	17.0	5	源兵衛（西蝦夷地スツヽ請負人山崎屋新八代）	［46］［47］こより合綴。1851（嘉永4）年3月提出書類の写し

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm）		丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
							縦	横			
48	184512	A	嘉永五子年スツヽ御場所仕入物代附書上	1	竪帳	卯〔安政2年〕3月	24.5	17.0	3	源兵衛（山崎屋新八代）	［48］［49］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
49	184513	A	西蝦夷地スツヽ嘉永五子年出産物書上	1	竪帳	安政2年3月	24.5	17.0	6	源兵衛（西蝦夷地スツヽ請負人山崎屋新八代）	［48］［49］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
50	184514	A	嘉永六丑年スツヽ御場所仕入物代附書上	1	竪帳	卯〔安政2年〕3月	24.5	17.0	4	源兵衛（山崎屋新八代）	［50］［51］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
51	184515	A	西蝦夷地スツヽ嘉永六丑年出産物書上	1	竪帳	安政2年3月	24.5	17.0	6	源兵衛（西蝦夷地スツヽ請負人山崎屋新八代）	［50］［51］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
52	184516	A	嘉永七寅年スツヽ御場所仕入物代附書上	1	竪帳	卯〔安政2年〕3月	24.5	17.0	4	源兵衛（山崎屋新八代）	［52］［53］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
53	184517	A	西蝦夷地スツヽ嘉永七寅年出産物書上	1	竪帳	安政2年3月	24.5	17.0	5	源兵衛（西蝦夷地スツヽ請負人山崎屋新八代）	［52］［53］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
54	184518	A	安政二卯年昨寅年スツヽ場所仕入物書上	1	竪帳	卯〔安政2年〕3月	24.5	17.0	3	源兵衛（山崎屋新八代）	［54］［55］こより合綴。1855（安政2）年3月提出書類の写し
55	184519	A	西蝦夷地スツヽ安政二卯年出産物書上	1	竪帳	安政5年4月	24.5	17.0	5	勘右衛門（西蝦夷地請負人山崎屋新八代）	［54］［55］こより合綴。1858（安政5）年4月提出書類の写し
56	184520	A	西蝦夷地スツヽ安政三辰年出産物書上	1	竪帳	安政5年4月	24.5	16.5	5	勘右衛門（西蝦夷地スツヽ山崎屋新八代）	1858（安政5）年4月提出書類の写し
57	184521	A	差出申一札之事	1	竪帳	午〔安政5年〕7月	25.5	17.3	2	三左衛門（スツヽ六條出稼）→スツヽ運上家	通行馬を溺死させたことに対する咎の許しを請う願書
58	184522	A	〔スッツ場所諸書上写〕	1	竪帳	寅〔嘉永6年〕	24.4	16.4	21		スッツ場所支配人がヲタスツ詰合などへ提出したスツヽ場所概況報告数通の写し
59	184523	A	北明丸積荷物送状	1	竪帳	安政3年8月11日	24.5	17.2	5	市三郎（スツヽ御場所山崎屋新八支配人）→山崎屋新八	北明丸孫助乗の積荷目録。岡田錠次郎（調役下役）の松前沖之口当番中への添書あり
60	184524	A	上〔北明丸積荷物送状〕	1	竪帳	安政3年5月8日	24.5	17.3	4	市三郎（スツヽ御場所山崎屋新八支配人）→山崎屋新八	北明丸孫助乗の積荷目録。成瀬金左衛門（スツヽ場所詰下役）の松前沖之口当番中への添書あり
61	184525	A	天命丸積荷物送状之事	1	竪帳	安政3年5月	24.5	17.1	2	市三郎（スツヽ御場所山崎屋新八支配人）→山崎屋新八	天明丸利三郎乗の積荷目録。成瀬金左衛門（スツヽ）の松前沖之口当番中への添書あり
62	184526	A	上〔吉利丸積荷物送状〕	1	竪帳	安政3年5月	24.3	17.0	4	市三郎（スツヽ御場所山崎屋新八支配人）→山崎屋新八	吉利丸佐次兵衛乗の積荷目録。成瀬金左衛門（スツヽ場所詰下役）の松前沖之口当番中への添書あり
63	184527	A	覚〔大坂孫四郎船積荷物送状〕	1	竪帳	8月18日	24.5	17.1	2	山崎屋新八→町役所	大坂孫四郎船積荷目録。スツヽ詰合の江戸への荷物
64	184528	A	覚〔スッツ場所書上綴〕	1	竪帳	安政2年3月	24.6	17.3	2	源兵衛（西蝦夷地スツヽ請負人山崎屋新八代）	覚書2通。スツヽ場所寅年仕込品の代金、御備米
65	184529	A	乍恐以書付奉申上候	1	竪紙	嘉永7年11月	25.0	33.0		重右衛門（家主熊石村）ほか2名→スツヽ運上家支配人・浜役衆	封入：28.5×5.3cm、ウハ書「上／焼失後差出書付入／中哥ノ／重右衛門／彦右衛門」。出火焼失の届（証文）
66	184530	A	乍恐以書附奉願上候	1	継紙（2枚）	嘉永3年8月12日	24.0	48.0		与惣治（親類箱館地蔵町）ほか2名→スツヽ場所運上家支配人	封入：32.0×13.5cm、ウハ書「証文一札入」。病死の新兵衛忰久治の埋葬承知につきスツヽ運上家への死亡届
67	184531	A	〔御運上金上納通〕	1	横折紙	〔天保11年～嘉永年間ごろ〕	16.0	46.6		山崎屋武兵衛（スツヽ、セタナイ請負人）	スッツ、セタナイ両場所の運上金皆済目録

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm）		丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
							縦	横			
68	184532	B	文化九申年悪消場所銭元払帳	1	竪帳	文化10年	24.0	17.2	5	富右衛門（支配人）ほか2名	**［68］～［72］5点封筒一括** 三橋勝十郎の奥印あり
69	184533	B	〔包紙〕	1	竪折紙	文化9年	24.6	16.2		アツケシ会所	ウハ書「文化九申年諸書上控／アツケシ／会所」。［70］［71］の表紙か
70	184534	B	〔場所到来回状控〕	1	竪帳	〔文化9年〕6月	24.9	17.0	2		8月1日到来回状2通の綴り。①大嶋栄次郎→ヤマクシナイ𠮷エトロフ迠右場所々詰合、軽物類市中にて売買禁止の件。②箱館会所掛り→ヤマコシナイ𠮷クナシリ迠詰合、場所産物取り扱いの件
71	184535	B	〔場所到来回状控〕	1	竪帳	〔文化9年〕7月	24.3	17.1	2		申9月2日到来。申7月付。3月3日夜親を殺害し逃亡中の武州多摩郡中里新田百姓紋左衛門の人相書
72	184536	B	御仕入物残改帳	1	竪帳	文化9年9月	25.0	17.1	24		ウハ書「文化九年／申九月／御仕入物残改帳」。品物の種類と数量の書上
73	184537	B	アツケシ御会所諸仕入物残り品代附帳并諸道具不足品書訳	1	竪帳	文化15年2月	24.7	17.2	49	重吉（支配人）ほか2名→アツケシ場所詰合	ウハ書「文化十五年寅二月改／アツケシ御会所／諸仕入物残り品代附帳／并諸道具不足品書訳」。品物の種類と数量の書上の写し
74	184538	B	〔アッケシ会所諸書上綴〕	1	竪帳	文政元年	24.8	17.3	79	アツケシ会所	「文政元寅年御用紙類并役夷人江被下物代附帳」、「寅年アツケシ場所馬有帳」、丑4～12月の入用高書上、「会所雇夷給代」、「アツケシ御場所御軽物小皮類元代附帳」、牡蠣入箱の図、アイヌ人別帳、越年番人稼方書上帳などの記載あり
75	184539	B	文化四巳年アツケシ御場所御掛御役人様𠮷役夷人江被下候品代書上	1	竪帳	文政4年	23.6	16.3	3	アツケシ会所	品物の種類と数量の書上
76	184540	B	アツケシ御場所残り物直段付	1	竪帳		24.4	15.8	63	小林屋宗助	品物の種類と数量の書上
77	184541	B	申年アツケシ御場所仕入物書上帳	1	竪帳	申年〔文政7〕12月	23.8	16.0	23	アツケシ会所	13オに付箋貼付剥離。左部分の水納、大坂酒の部分に糊跡あり。仕入物の種類と数量の書上。入船ごとに記載
78	184542	B	申年アツケシ御場所出産物蝦夷人割合代銭附書上	1	竪帳	文政7年12月	25.0	17.5	14	アツケシ会所	**［78］～［79］2点封筒一括** アッケシ場所産物の場所請負人とアイヌへの割合を記載
79	184543	B	〔蝦夷人割合代銭書上〕	1	竪帳	〔文政年間ごろ〕	24.5	16.5	13	アツケシ会所	1オ欠（前欠）。11オに付箋貼付剥離。11オ左下のタイテの銭高記載部分に付箋の糊跡あり。13オ（裏見返）に「悪消」の印あり。11ウ上段から「〆自分稼之分」としてアイヌ数名の稼高の記載あり
80	184544	B	申年アツケシ御場所諸薬種頂戴蝦夷人見届書上	1	竪帳	申年〔文政7〕4月21日	23.7	16.5	7	アツケシ会所	未年6月より申年4月までに支給した薬の数量とアイヌ個人名の書上
81	184545	B	申年アツケシ御場所越年番人書上控	1	竪帳	申年〔文政7〕12月	24.9	17.6	4	アツケシ会所	番人の役名と名前の書上
82	184546	B	未年アツケシ御場所蝦夷人出生病死書上帳	1	竪帳	未年〔文政6〕6月	23.2	15.7	8	アツケシ会所	場所内各村の午年、未年の家数・人別と病死・出生数を記載
83	184547	B	申年御場所江囲荷物書上	1	竪帳	文政7年12月	24.7	17.0	3	アツケシ会所	品物の種類と数量の書上
84	184548	B	申三月アツケシ御場所御軽物代附書上帳	1	竪帳	申〔文政7年〕3月	24.0	17.0	5	アツケシ会所	**［84］～［85］2点封筒一括** ウハ書「申三月／アツケシ御場所御軽物代附書上帳／アツケシ会所内扣／うら御覧／可被下候　夷人名前扣置候」。アイヌが会所へ納めた軽物の種類と数量の書上
85	184549	B	〔文書断片〕	1	切紙	明治	10.5	27.5			「亥年分／金弐円／六銭弐朱五厘／福山三関／健蔵」と記載
86	184550	B	船々御判写	1	竪帳	申〔文政7年〕	24.5	17.5	5		アッケシ場所へ向かう船の松前沖之口役所の御判の写し。4～6月の4隻分

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量(cm) 縦	法量(cm) 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
87	184551	B	呈御香料	1	竪帳		24.4	17.2	5	支配人番人	国泰寺境内の石碑建立のための香料書上。個人名と香料額の書上
88	184552	C	〔断簡〕	1	切紙	9月25日	16.7	31.3		〔高田屋〕嘉兵衛→金兵衛	**[88]～[91]4点封筒一括** 前欠。上方の金の相場が下がったこと、江戸のあたりが大風で船が「むせん」になったとの記載あり
89	184553	C	〔断簡〕	1	切紙	4月21日	16.7	19.0		阿部屋利兵衛・治兵衛→高田屋嘉兵衛	前欠。書簡の後書、日付、差出、宛所の記載のみ
90	184554	C	〔断簡〕	1	継紙(3枚)	8月8日	15.8	64.0		渡辺五平・千次郎(庄内酒田)→高田屋嘉兵衛	前欠。作物の状況や米についての記載あり
91	184555	C	〔断簡〕	1	切紙	1月21日	18.3	33.5		→金兵衛、御館	「無体之御苦労」に対するお礼
92	184556	C	〔松前町年寄日記抜書〕	1	竪帳		25.6	18.0	50		帳上部1箇所こよりで合綴(ただし綴じ紐切れ)。前半は天保12年3月27日(ただし27日前欠)から5月26日までの日記の抜書。途中白丁。後半は文久元年10月23日から12月11日までの日記の抜書
93	184557	C	〔市中・東西村々諸役書上〕	1	竪帳	文久3年12月	26.0	18.8	19		上部1か所こよりで合綴。上部水染みあり。「市中諸役」「東西村々諸役」など役銭の額の書上。提出書類の控え
94	184558	C	夏ヲムシヤ取扱方調書	1	竪帳	子7月22日	23.9	16.0	13	上下ヨイチ運上家	ウハ書「子七月廿二日相勤／夏ヲムシヤ取扱方調書」。ヨイチ場所のオムシャ対象者33名の名前と入用品の種類・数量の書上
95	184559	C	〔ヨイチ場所請負人竹屋長左衛門雇船入津書上綴〕	1	竪帳	天保14年6月	24.8	16.8	7		書上2通の綴り。イシカリ詰所宛のヨイチ場所着船届。①ウハ書「卯六月十六日／六番長福丸入津書上／当所御詰／野村清次郎様」。②ウハ書「卯六月十六日／七番磯辺丸入津口書／当所御詰／野村清次郎様」
96	184560	C	当御場所里数并弁財掛り澗書上	2	竪帳	天保14年5月	25.0	17.8	4	市右衛門(通辞)、長七(西蝦夷地ヨイチ御場所支配人)→熊谷幸五郎	ウハ書「卯年五月／当御場所里数并弁財掛り澗書上／イシカリ御添役／熊谷幸五郎様」。ヨイチ場所の船繋ぎ箇所の間数や深さを絵図とともに提出した書類の控え。別添絵図1枚同封：24.8×33.5cm
97	184561	C	漁場一件始末抜書	1	竪帳		25.0	17.5	5		資料全体フケ。5丁上部欠損。余市関係。「林源左衛門」の記載あり
98	184562	C	〔伊達林右衛門関係証文写し綴〕	1	竪帳	明治7年	24.0	17.0	3		証文の写し3通の綴り。こよりで合綴。金子借用証文、廻船売渡一札
99	184563	C	〔口上綴〕	1	竪帳	未8月	25.0	17.6	11	弥兵衛	4帳1綴
100	184564	C	高宮屋五郎兵衛殿家事一件	1	竪帳	弘化3年	23.3	16.2	29		借用証文、願書などの抜書。田付家関係の記載あり
101	184565	C	以口上書奉願上候	1	竪帳	8月29日	24.6	17.2	8	佐々木正親→斉藤菊左衛門	
102	184566	C	北蝦夷地御用御公儀御役人様御通行取扱向	1	竪帳	嘉永7年	25.5	18.1	32		包紙：29.2×19.4cm、ウハ書「嘉永七寅年／公儀御役人様／御取扱書并書上下書／御袋之内」。本冊ウハ書「嘉永七年寅五月良辰／北蝦夷地御用／御公儀御役人様／御通行取扱向／ヨイチ／運上家」。嘉永7年幕吏蝦夷地巡視関係。一行のヨイチ場所通行時の接待について
103	184567	C	〔書類袋〕	1	袋	元治元年10月	28.3	18.3			**[103]～[106]4点封筒一括** ウハ書「元治元甲子年十月改／箱館方産物御会所／御雇船口銭分訳一件／蝦夷地産物蔵敷直段付／其外御貸金上納荷物／一件書類写入」

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm） 縦	法量（cm） 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
104	184568	C	〔雇船口銭分訳関係文書写〕	1	竪帳	元治元年9月	24.5	16.3	8		ウハ書「元治元甲子年九月／箱館方産物御会所／箱館表ゟ御雇船相廻候節／口銭分訳被仰付候ニ付問屋共ゟ／願書写」。事の顛末と、それに至る経過がわかる願書2通（問屋一同→町役所）が記載。箱館産物会所、商法関係
105	184569	C	〔雇船口銭分訳関係申渡并歎願書写〕	1	竪帳	元治元年	24.8	16.9	4		ウハ書「元治元甲子年／箱館方産物御会所ゟ問屋共江／箱館表ゟ御雇船相廻候節受用／口銭ニ付壱分方箱館表問屋共へ／分訳可致様御申渡書并当問屋共ゟ／歎書差出則写／但し此外御上様ゟ御留守居を以／歎願被成下書面も被下候得共／不写」。箱館産物会所問屋への申渡と会所への歎願書2通の写し
106	184570	C	廻船方御規定御請書写	1	竪帳	万延2年	25.1	16.5	11		ウハ書「産物類商法御尋ニ付請負人／五人ゟ書上写／廻船方御規定御請書写／産物御会所江／書上写十月」。書上写、荷勘定合の書上、規定請書、産物会所問屋から会所への歎願書、産物蔵敷書上の写しを記載
107	184571	C	〔銭屋五兵衛始末之事御調子書上〕	1	竪帳	嘉永6年7月	24.4	16.8	6		ウハ書「加州宮之越銭屋五郎衛／始末之事嘉永六年七月／十日御上様江御調子書上之事／御側御用人／御役人切腹人扱」。裏表紙に「竹屋甚作書之」と墨書。9名の禄高と名前、有金調子書、船数、蔵数の書上
108	184572	C	〔鯡場仕込借用高書抜帳〕	1	竪帳	安政4年2月	24.5	17.4	32	寿右衛門（唐津内町五郎兵衛父）	ウハ書「安政四年巳二月／上田忠右衛門ゟ鯡場仕込未申／酉三ヶ年中下リ之分戌正月／改安政元年寅年迄五ヶ年／中仕込借用高／書抜帳／唐津内町／五郎兵衛父／寿右衛門」。品物の金額、種類、数量の書上
109	184573	C	湯殿沢町五郎次口上書	1	竪帳	申10月	24.6	16.7	13		ウハ書「上／湯殿沢町／五郎次／口上書」。唐津内町五郎兵衛隠居寿右衛門一件について
110	184574	C	箱館御役所ゟ御申渡写	1	竪帳	安政2年12月16日	25.5	18.6	16		綴じ紐切れ。ウハ書「安政二卯十二月十六日／箱館／御役所ゟ御申渡写」。東北諸藩への分割分領申渡、御用所詰役人数書上などの写し
111	184575	C	〔アッケシ下り船幸吉丸荷物積取関係文書〕	1	竪帳		25.6	17.6	24		水染み、茶変色、錆び、折れあり。各丁ウラ左下に丁番あり。1～4丁は後方に綴じられ、5丁から綴じられている。網類20箇注文分積入の件
112	184576	C	船々ゟ至来品控	1	横帳	明治2年5月	36.6	12.4	23		表紙一部欠損。ウハ書「明治二巳年五月／船々ゟ至来品控」。品物の種類・数量と船名の書上。明治2年5～6月、及び明治3年分。明治3年分の大部分は、船名と入金額の書上。スッツ関係
113	184577	C	新五郎松前登リ土産配リ扣	1	横帳	天保8年	34.5	12.5	6		ウハ書「天保八酉年十二月廿九日当着／新五郎松前登リ土産配リ扣」。土産配りの品物と名前の書上。新五郎は天保8年11月4日に松前出帆、12月1日江戸着、21日出立、29日柳川着
114	184578	C	〔新兵衛登リ餞見舞受下リ土産配リ餞別受納扣〕	1	横帳		33.2	12.5	14		ウハ書「巳三月ゟ／新兵衛のほりせん見舞受／一円ニ土産くばり／又午七月下り餞別受納扣」。品物と名前の書上
115	184579	C	御造船五艘諸入用割合帳	1	横帳	嘉永7年12月	32.2	12.5	11		**［115］～［117］3点封筒一括** ウハ書「嘉永七寅年十二月／御造船五艘諸入用割合帳／月行事【又十】／【ヤマ小】／立会【イチゼンバシ】」。運上金高、金高、差引高の請負人ごとの書上
116	184580	C	御造船五艘諸入用調子帳	1	横帳	嘉永7年12月	32.4	12.5	9		ウハ書「嘉永七寅年十二月／御造船五艘諸入用調子帳／月行事【又十】／【ヤマ小】／立会【イチゼンバシ】」。金額と名目の請負人ごとの書上

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm） 縦	法量（cm） 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
117	184581	C	掻送御船五艘分惣高勘定帳	1	横帳	嘉永7年12月	32.4	16.5	5		ウハ書「嘉永七年／寅十二月／掻送御船五艘分惣高勘定帳／世話方／近江屋／久蔵」。金高と名目の書上。こよりで切紙3枚合綴。切紙は嘉永7年蝦夷地巡視の幕府役人の名簿
118	184582	C	〔辞令写〕	1	横帳	〔明治〕5月1日	15.0	38.5	2	余市開拓出張所	旧余市場所の支配人、番人等に対する本陣役職申渡の控え
119	184583	C	差上申念書之事	1	継紙（3枚）	明治4年12月26日	16.4	104.4		忠兵衛（松前上田忠右衛門代）→新谷彦八	封入：18.0×5.9cm、ウハ書「念書／松前上田忠兵衛」。恩借のお礼と、伊達店や山田店へ貸した金子をもって恩借の返済にあてるとの念書
120	184584	C	覚〔仮請取書〕	1	切紙	元治2年4月12日	16.6	35.0		桜庭丈左衛門（町年寄番）→竹屋長左衛門	封入：18.0×6.4cm、ウハ書「仮請取書町年寄」。上納すべき御用金1100両のうち、500両の仮受取証（残り600両は来閏5月まで猶予）
121	184585	C	覚〔金子受取証〕	1	継紙（2枚）	巳10月29日	16.5	22.5		杉浦店→竹屋	**［121］～［123］3点封筒一括** 継紙貼合剥離。金187両2分。3000両の巳年8～12月まで5か月分の利息
122	184586	C	覚〔金子受取証〕	1	切紙	丑5月18日	16.3	15.2		【イキ】（松前城下上田）→【ヤマ上】御印	金200両
123	184587	C	記〔金子受取証〕	1	切紙	明治6年6月23日	15.5	20.5		祝津出稼分→【ヤマ上】元小家	白鳥喜次郎行の金290円の受取証
124	184588	C	波止場築立割合	1	罫紙	乙亥年〔明治8〕	24.2	34.2			見積額1万700円の各商人の割合の書上
125	184589	C	〔書簡綴〕	1	綴（切紙・継紙）	4月2日	17.0	20.0		嘉右衛門→林長左衛門	**［125］～［126］2点封筒一括** 6点1綴。米買入の件など
126	184590	C	〔書簡〕	1	継紙（5枚）		16.3	173.4			廻船の積み下し、石狩御用所より北蝦夷地への出稼ぎ、「アフタ土人」、【マル十五】病気などの記載あり
127	184591	C	〔書簡〕	2	竪帳	亥4月22日	19.5	7.8		冨永与兵衛→村山伝兵衛、塩田作左衛門	**［127］～［131］5点封筒一括** 包紙入：19.5×7.8cm、ウハ書「村山伝兵衛様／塩田作左衛門様／冨永与兵衛／無別条」。2通。①本冊：竪帳、3丁、24.5×17.0cm、テミヤ取扱の荷物積取船について。②別冊：竪帳2丁、24.5×17.0cm、年賦願書奥印のお礼、普請役南部地へ渡海の報告など
128	184592	C	〔書簡〕	1	継紙（3枚）	申12月3日	16.5	94.5		山田吉左衛門→林源左衛門	封入：18.3×6.0cm、ウハ書「福山／林源左衛門様　山田吉右衛門／要用無別条」、ウラ「十二月三日発／従小樽郡／酉ノ／一月第六日相達」。継紙貼合剥離（継目2か所とも）。政太郎母の件で、藤太郎、政太郎の願いを承知し念書を渡したことの報告
129	184593	C	〔書簡〕	1	継紙（2枚）	2月1日	15.7	69.5		原田伝次郎（柑本竺五郎内）→竹屋長左衛門	封入：16.8×7.1cm、ウハ書「竹屋／長左衛門様／柑本竺五郎内／原田伝次郎／平安」、ウラ「寿／煙草粉入壱　袖落壱添／丑ノ五月三日【マル栖】正徳丸相届キ」。旧冬贈答品のお礼と新春挨拶
130	184594	C	〔書簡〕	1	継紙（3枚）	9月26日	18.0	151.1		小林屋吉次郎→林源左衛門	上部破り痕、水染あり。ウハ書「巳ノ／九月廿二日認メ　朔日相達」。手船到着、作太郎の行方についての報告など
131	184595	C	〔書簡〕	1	竪紙	6月29日	24.7	34.3		阿部屋利兵衛→林源左衛門	本家場所につき種々配慮いただいたことのお礼と今後のお願い
132	184596	C	〔書簡綴〕	1	竪帳		25.2	17.5			**［132］～［134］3点封筒一括** 5通こより合綴。長左衛門宛て源左衛門書簡、伊達瀧蔵宛て山田屋久兵衛書簡、運上家支配人宛て【ヤマ上】店書簡など
133	184597	C	〔書簡〕	1	竪帳	1月11日	24.0	17.3	5	源左衛門→林長左衛門	「両出張一件」についてなど情勢報告
134	184598	C	〔書簡〕	1	竪帳	2月19日	24.0	17.3	5	源左衛門→林長左衛門	表紙に付箋貼付。種々の情勢報告

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm） 縦	法量（cm） 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
135	184599	C	〔書簡〕	1	横帳	7月13日	16.0	45.5	4	善宝寺大全□□→竹屋彦左衛門、長七、家内	徳左衛門病死のお悔やみ、奉納品受納、龍宮宝殿の手伝いなどへの振舞いなど
136	184600	C	〔書簡〕	1	竪帳	8月8日	25.5	17.2	4	丈吉→万屋徳次郎、友太郎	**［136］～［137］2点封筒一括** 種々の報告
137	184601	C	〔書簡〕	1	竪帳	1月8日	24.5	16.5	4	アツケシ彦左衛門、長三郎→【ヤマ上】店	アイヌの飯料、介抱、勘定帳などの記載あり
138	184602	C	子年差引書	1	横半帳	天保12年1月	19.7	14.0	8	小吉、広彦→【ヤマ上】店	ウハ書「天保十二年／丑ノ正月／子年差引書／広彦／小吉／【ヤマ上】御店」。金銭と名目の書上
139	184603	C	〔ヨイチ場所入船届〕	1	継紙（3枚）		24.5	84.8		甚太郎（船頭）ほか8名→詰合	表題「乍恐以書附御届奉申上候」。ヨイチ場所請負人竹屋長左衛門の雇船のヨイチ場所入船届の控
140	184604	C	〔笊網使用儀定証文〕	1	継紙（3枚）	安政2年2月	16.5	139.0		勘右衛門ほか11名→運家〔ヨイチ運上家〕	**［140］～［141］2点封筒一括** 表題「乍恐以書附を奉願上候」。5か条の儀定の記載あり。勘右衛門ほか11名の爪印あり
141	184605	C	〔笊網使用規定証文〕	1	継紙（4枚）	安政3年3月15日	16.0	202.0		勘右衛門（笊網持）ほか8名・治郎右衛門（差網持惣代）ほか1名→与一運上家	表題「乍恐以書附奉願上候」。5か条の規定が記載。笊網持9名の連印、及び差網持惣代2名の爪印、浜役3名の奥印あり
142	184606	C	船往来	1	竪紙	明和6年3月	28.5	33.5		工藤清右衛門、氏家新兵衛（松前志摩守内）→津々浦々番衆	**［142］～［144］3点封筒一括** 松前河原町伝兵衛船10人乗の船往来手形の写し
143	184607	C	覚〔船往来写〕	1	継紙（2枚）	天明8年1月	29.0	35.5		近江屋藤八（大坂小浜壱丁目）→津々浦関所当番衆	沖船頭市太夫船頭水主15人乗りの船往来手形の写し
144	184608	C	〔船往来〕	1	竪紙	明治2年11月22日	32.5	43.0		箱館海官所→津々浦々当番	箱館大町船主六兵衛沖船頭文太郎大中遣船水主2人乗の船往来手形
145	184609	C	日用重宝玄秘録	1	横半帳		15.0	22.0	167		表紙題簽「日用重宝玄秘録」。荷物の船運賃、金銀取引歩合、産物の売買直段、船の定法間尺、蝦夷人交易直段、蝦夷人荷物請取直段などの記載あり。後半に「嘉永元年／申十二月廿四日改／手船達問屋定法掛り物」の記載あり
146	184610	C	〔間尺立会役人名前書上〕	1	切紙	天保10年9月15日	13.5	14.0			**［146］～［149］4点封筒一括** 藤田陸郎（奉行）、松井茂兵衛（吟味役）、鎌田武右衛門（下代）の名前あり。剥離貼紙か
147	184611	C	御定法船々間尺改	1	切紙	1月4日	15.0	21.5			船の種類ごとの間尺の書上。「正月四日【キ】ゟ写」との記載あり。剥離貼紙か
148	184612	C	覚〔入船御役高書上〕	1	横折紙		12.1	34.0			「塩役船御役付」「当潤入船米御役」「本役船壱艘ニ付」「当潤入船御役付」などの記載あり
149	184613	C	〔御引船掛等名前書上〕	1	切紙		11.5	15.5			「御引船掛」「御立火掛」「乗切」役人の名前書上。剥離貼紙か
150	184614	C	覚〔請払金銭見積高書上〕	1	横折紙	2月26日	12.0	33.5		帳場	**［150］～［155］6点封筒一括** 雇人の給料、番人の手当、借用金などの書上
151	184615	C	覚〔入用高書上〕	1	横折紙		11.8	32.5			焚木、魚油、炭の代金の書上。丑4月～12月と寅1～12月の分を記載
152	184616	C	〔取引覚書〕	1	切紙		15.0	31.8			品物と取引先の名前書上。文書挿入紙か
153	184617	C	記〔金高書上〕	1	切紙		14.1	18.6			貼紙または挿入紙か
154	184618	C	松前行	1	切紙	子7月20日	16.1	22.0			荷物書上。貼紙または挿入紙か
155	184619	C	〔積荷書上〕	1	綴（切紙）		14.5	32.3			こよりで3枚合綴。大豆、粕漬など。「酉年」「戌年」の記載あり

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量(cm) 縦	法量(cm) 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
156	184620	C	〔書簡〕	1	切紙	6月8日	16.0	36.0		近藤吉左衛門武恭→善光寺	**[156]～[157] 2点封筒一括** 武恭の花押あり。暑中見舞い。襖裏張紙として使用か
157	184621	C	〔断簡〕	1	切紙	7月29日	25.0	23.0		善光寺□性誉→松前伊豆守、近習衆	上下断裂。前欠。松前伊豆守・近習衆宛ての差出・宛所部分(本文なし)と寺社懸り4人(新井田玄蕃、三輪持、近藤兎毛、飛内策馬)宛ての書状。ウス山噴火の見舞と茶1箱慈飽いただいたことへのお礼
158	184622	C	〔書類袋(阿部屋伝次郎歎願書)〕	1	袋		25.8	18.0			**[158]～[165] 8点封筒一括** ウハ書「十八番／石狩御場所御直差配／相成候付阿部屋伝治郎ゟ／箱館御役所并当／町御役所へ差出諸面類／集入」
159	184623	C	〔歎願書写〕	1	竪帳	文久4年	24.7	17.3	19		ウハ書「文久四甲子年／阿部屋伝治郎箱館表／歎願書差上候書類詰所おゐて／写之」。石狩出稼漁場手配不行届につき漁場返上願、上納金猶予願など数通の願書の写し
160	184624	C	乍恐以書付奉願上候	1	竪帳	亥〔文久3年〕5月	24.5	16.2	3	阿部屋伝次郎(西蝦夷地石狩出稼)→奉行所	石狩出稼漁場返上関係の願書の写し
161	184625	C	差上申御請証文之事	1	竪帳	文久3年7月22日	24.5	17.2	13		石狩出稼漁場返上関係の願書数通の写し
162	184626	C	歎願書四通写書綴込	1	竪帳	戌〔文久2年〕12月	24.5	16.2	11	阿部屋伝次郎	ウハ書「戌十二月ゟ亥三月／歎願書四通写書綴込／阿部屋伝次郎」。石狩出稼漁場返上関係の願書4通の写し
163	184627	C	於箱館表願書写弐通	1	竪帳	亥〔文久3年〕6月	24.3	16.5	7	阿部屋伝次郎	ウハ書「亥六月／於箱館表／願書写弐通／阿部屋伝次郎」。石狩出稼漁場返上関係の願書2通の写し
164	184628	C	於箱館表歎願書写都合七通綴込〔表紙〕	1	竪帳	戌〔文久2年〕12月	24.5	16.2	1	阿部屋伝次郎	ウハ書「戌年十二月ゟ亥ノ六月迄／於箱館表／歎願書写都合七通綴込／阿部屋伝次郎」。本文なし
165	184629	C	〔日記写〕	1	竪帳	亥〔文久3年〕6月29日	24.8	16.3	6	阿部屋伝治郎→町役所	ウハ書なし。内題「亥／六月廿九日／阿部屋伝治郎／箱館表江旧臘ヨリ歎願申上候得共／御決済無之候ニ付御本陣并出稼所返上ニ付／拝借金并借財方返済不行届逼塞／御届一件日記写」。6月29日の日記(歎願書収録)の写し
166	184630	C	〔書類袋(北村百姓乱妨一件)〕	1	袋	庚申〔万延元年〕11月	23.0	15.1			**[166]～[171] 6点封筒一括** ウハ書「庚申十一月／上之国川漁場江北村／之御百姓共大勢相越乱妨／いたし候趣ニ付上ノ国御百姓一同ゟ／願書并絵図面共入」。ウラ「猶亦／上ノ国ヨリ／書面類写共入」
167	184631	C	〔願書写(北村百姓関係)〕	1	竪帳	申〔万延元年〕8月	24.3	17.4	5		ウハ書「昨未年上ノ国御百姓一同ヨリ／拝借米致度趣願書并／御代金当申年上納可致処／明酉年迄延金被仰付度趣共／願書写」。願書3通写し。上ノ国百姓の拝借米代金延金願い
168	184632	C	乍恐以書付奉願上候	1	竪帳	申〔万延元年〕8月	24.1	17.3	2	五郎兵衛(百姓代)ほか4名→当席宛名	こよりで2丁合綴。拝借米代料の上納額の半分の延期願いの写し
169	184633	C	乍恐以書付奉願上候	1	竪帳	万延11月	24.4	17.4	2	相川与四吉(上ノ国名主)・吉平(上ノ国百姓代)→当席宛名	こよりで2丁合綴。隣村北村の百姓による賄鮭献上網の切捨乱妨についての理解・執成を求める願書
170	184634	C	乍恐以書付奉願上候	1	継紙(4枚)	申〔万延元年〕10月	15.5	106.9		善次(大渕網船頭)ほか4名→当席宛名	北村百姓による乱妨(網切)の裁きを歎願する願書の写し
171	184635	C	〔上ノ国網切場所絵図面〕	1	竪紙		34.4	24.1			北村百姓乱妨(網切騒動)関係。北村百姓による網切の場所が図示
172	184636	C	〔絵図面(様似村矢本義五郎拝借地)〕	1	竪紙		27.2	39.3			墨書「様似村矢本義五郎拝借地私有ニ可願分」
173	184637	C	難波請負為替貸金勘定凡見込	1	竪帳		24.5	16.5	4		

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量(cm) 縦	法量(cm) 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
174	184638	C	〔差引勘定帳(部分)〕	1	横折紙	寅	24.0	34.5	13		**[174]～[193]20点封筒一括** 13枚。一部破れ。水染みあり。横帳の帳簿をくずしたもの。金高書上
175	184639	C	御差紙写	1	切紙	巳〔明治〕11月8日	14.0	17.5		開拓使→歌棄支配人	「御用有之候条、早々銭箱表江可罷出者也」との記載あり
176	184640	C	乍恐以書附御届奉申上候	1	竪紙	卯 4月	25.0	34.0		長七(ヨイチ支配人)→イシカリ詰合	船安着の際に役蝦夷人へ申し聞かせる内容(4か条)を届け出たもの。安政2年以前のもの。長七の印あり
177	184641	C	奉差上御法書之事	1	竪紙		24.0	34.0			西地大網使用の件についての心得
178	184642	C	覚〔イソヤ、ヲタスツ場所運上金書上〕	1	竪紙		24.5	34.5			イソヤ、ヲタスツ場所の運上金高とこのたび免除の分、差引高とその分納時期の書上
179	184643	C	乍恐以書付奉歎願候	1	竪紙	明治2年 3月	24.0	34.5		藤野猪兵衛(ソウヤ、リイシリ、レフンシリ、アハシリ請負人代)→裁判所	増額となった運上金を元に戻してほしいとの歎願
180	184644	C	覚〔金高消却書上写〕	1	竪紙	申 7月	24.5	33.0		林長左衛門→元館何県何役人	破れ、穴、水染みあり。金高の消却についての上申の写し
181	184645	C	〔付箋〕	1	切紙	天保8年 2月5日	24.3	12.2			乙名、小使への貸付についての記載あり
182	184646	C	〔付箋〕	1	切紙	天保7年 5月	16.0	6.0			弁財船進物は家来衆へ2つずつ増えるとの記載あり
183	184647	C	〔付箋〕	1	切紙	天保3年 7月27日	15.5	15.8			進物は金納になるとの記載あり
184	184648	C	〔付箋〕	1	継紙(2枚)	文政13年 12月	16.6	19.5			祝儀の御膳についての記載あり
185	184649	C	天窓入用之品	1	横折紙		12.5	34.0			板や釘などの数量の書上。ウラに「ヤクラマト(櫓窓)」の図あり
186	184650	C	〔断簡〕	1	切紙	7月13日	15.8	29.3		一同→林御尊父	前欠。仲人調整の報告、ハシカ流行の記載あり
187	184651	C	〔付箋〕	1	切紙	申 10月24日	16.2	11.2			仲間請取書を土屋寿右衛門へ面会せずに渡したと記載あり
188	184652	C	〔付箋〕	1	切紙	辰 6月3日	16.0	8.2			醤油、そうめんの記載あり
189	184653	C	〔付箋〕	1	切紙		15.3	5.0			破れ、穴あり
190	184654	C	〔付箋〕	1	切紙		10.0	2.3			「元小家居合人者勿論／手伝人并居合一統江之」と墨書
191	184655	C	〔文書断片〕	1	切紙		22.0	22.0			破れ、折れなどあり
192	184656	C	〔文書断片〕	1	切紙		9.5	22.5			封筒の開封片か
193	184657	C	〔白紙など一括〕	6	切紙		－	－			包紙、断片など6点(うち2点は切れ端)
194	184658	C	〔山田文右衛門家相続関係文書写〕	1	継紙(2枚)	明治4年	16.3	58.0			明治4年3～5月。吉右衛門の人別送り状、吉右衛門の山田文右衛門家内帳入願、吉右衛門の山田文右衛門家相続願の3通の写し
195	184659	C	〔山田慶兵衛履歴〕	1	竪帳	明治	24.2	16.5	7		折れ、水染みあり。冒頭に「山田慶兵衛事」と墨書あり。慶兵衛の生国、山田文右衛門の養子になる経過の記載あり
196	184660	C	東蝦夷地ゟ西蝦夷地出稼漁業荷物捌方御利解請書写	1	竪帳	安政3年 6月1日	24.7	17.4	6	【ヤマ上】店	**[196]～[199]4点封筒一括** ウハ書「安政三丙辰歳六月朔日／東蝦夷地ゟ西蝦夷地出稼漁業荷物／捌方御利解請書写／【ヤマ上】店」。山田文右衛門が箱館奉行所へ提出した請書の写し。西蝦夷地の荷物積取について
197	184661	C	〔願書写(イシカリ場所出稼関係)〕	1	竪帳	乙丑年〔慶応元〕10月	24.3	17.2	4		ウハ書「乙丑年十月／ユウフツ御場所ゟ石狩表江出稼秋味鮭漁業／いたし積取立船松前表ゟ相下し申度／願書并箱館御役所江差出書面／写尤当御役所之願書者箱館御留守居／所へ之御添翰願書則書類写」。山田文右衛門から箱館役所への提出願書2通の写し

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm） 縦	法量（cm） 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
198	184662	C	今般箱館御奉行様江可奉差上歎願書写	1	竪帳	慶応元年11月	25.0	16.7	5	山田文右衛門→奉行所	ウハ書「慶応元丑年十一月／今般箱館／御奉行様江可奉差上歎願書写／外ニ先般再ヒ／御料以来去安政三辰年ゟ同四巳年中西地／イシカリ　アツタ　ヲタルナイ　タカシマ右四ヶ所／表私出稼所取揚鮭并鯡荷物積取御免判／御引継歎願書八通御請書三通右写／合冊相添」。歎願書1通の写し
199	184663	C	〔歎願書・御請書写〕	1	竪帳	慶応元年11月	24.7	16.8	36		ウハ書「慶応元丑年十一月／先般再ヒ／御料以来去ル安政三辰年ゟ同四巳年中／西地イシカリ　アツタ　ヲタルナイ　タカシマ右／四ヶ御場所表私出稼所取揚鮭并鯡荷物／積取御免判御引継／歎願書　八通／御請書　三通／写合冊」。山田文右衛門が奉行所・町役所へ提出した歎願書・請書の写し
200	184664	C	〔書類袋（松前城下酒造株一件）〕	1	袋	元治元年10月	28.8	18.3			**［200］～［203］4点封筒一括** ウハ書「元治元甲子年十月改／松前城下酒造株一件／山田文右衛門ゟ山田寿兵衛方江譲渡／願書其外書類入／林氏」
201	184665	C	〔酒造株式永譲渡一件書類写〕	1	竪帳	庚申年〔万延元〕	25.0	16.5	9		ウハ書「庚申年願辛酉年被仰付候／山田文右衛門ゟ箱館おゐて別家之／山田寿兵衛方へ取持之酒造株式／永譲渡申度願書并箱館町年寄ゟ／当町年寄江願状同当方ゟ返書其外／右株式一件書類写」。酒造鑑札の図の記載あり
202	184666	C	酒造米高書上帳	1	竪帳	天保8年	24.6	16.5	14		右上こより合綴。ウハ書「天保八酉年本紙面之内江相認／酒造米高書上帳／酒造人一同」。天保8年の松前町内の株式保持者の造米高の記載あり
203	184667	C	酒造米高帳	1	竪帳	天保14年11月	24.7	16.7	13		右上こより合綴。ウハ書「帳面雛形左之通／酒造米高帳／本紙面之内帳面袋綴尤御領分国々有之候ハヽ一国限り／別帳ニ可致事／但下書美濃紙帳面ニ而御問合之事／何之誰家来／何之誰」。前半は酒造米高帳の雛形。後半は天保14年の松前町内の株保持者の米高の書上。末尾に唐津内町茂兵衛の酒造鑑札の図の記載あり
204	184668	C	〔書類袋〕	1	袋		28.5	18.0			**［204］～［206］3点封筒一括** ウハ書「（抹消）安政五戊午年五月改／御尊書集輯袋／【ヤマ上】主」、ウラ「氷割船積下り米／割合名前留　壱／未ノ十二月／酒造道具／直段附帳　壱」
205	184669	C	覚〔氷割船積下り米割合名前留〕	1	横帳	5月20日	15.5	40.0	4	【一丁】、【カネ△】	米高、金高の各商人への割合の書上。1/3は上様の買上、2/3の割合が「如斯」との記載あり
206	184670	C	酒造道具直段附	1	横帳	弘化4年12月	38.0	15.0	4	【カネ丁】→【ヤマ上】印	ウハ書「弘化四年／酒造道具直段附／未十二月／【ヤマ上】店」。道具と金額の書上
207	184671	C	〔包紙〕	1	切紙	戌〔文久2年〕4月27日	24.5	28.0			**［207］～［214］8点封筒一括** ウハ書「戌四月廿七日御調役加藤専太郎様御定役／鈴木金吾様同出役渡辺大輔様御同心／渡辺真一郎様御当所御出張之上／産物御会所御取建ニ付万屋専左衛門／山田文右衛門居宅并伊達本宅浜通り／絵図面写　但五月三日前三軒へ／申付候」
208	184672	C	〔万屋専左衛門居宅絵図面〕	1	継紙（2枚）		32.5	35.0			「専左衛門地所」との墨書あり。箱館産物会所取建関係
209	184673	C	〔山田文右衛門居宅絵図面〕	1	継紙（4枚）		34.3	66.2			破れ穴あり。箱館産物会所取建関係
210	184674	C	〔伊達林右衛門本宅絵図面〕	1	竪紙		24.3	33.0			箱館産物会所取建関係
211	184675	C	乍恐以口上書奉願上候	1	竪紙	5月4日	24.5	33.0		瀧蔵（伊達林右衛門代）	伊達林右衛門居宅裏の方の地所の借り上げ免除の願い。箱館産物会所取建関係
212	184676	C	〔松前市中麁地図〕	1	継紙（2枚）		24.3	53.5			墨書の地図

整理番号	収蔵番号	種別	資料名	数量	形態	年代	法量（cm） 縦	法量（cm） 横	丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
213	184677	C	〔付箋〕	1	切紙		14.7	2.5			「【×】印板蔵有之候処十間」と墨書あり
214	184678	C	〔指示書〕	1	切紙		16.0	19.0			岡田半兵衛、ヲタルナイ御用所からの書面を内覧して。当方の手落ちになるので、その方たちの名前で連名で行うようにとの指示が記載
215	184679	C	〔包紙〕	1	竪紙		23.8	36.1			**［216］～［221］７点封筒一括** 墨書なし
216	184680	C	覚〔金受取証〕	1	切紙	卯〔安政2年〕12月18日	16.5	23.2		村山伝次郎（松前城下）→竹屋長左衛門	石狩出稼所出産の秋味鮭400石目の代金500両の受取証
217	184681	C	手形之事	1	切紙	申 12月3日	15.2	24.0		【〆一】元小家（小樽）、山田吉左衛門→ヨイチ【ヤマ上】印、元小家	越後高崎米50俵の引替証（手形）
218	184682	C	覚〔為替手形〕	1	切紙	巳 10月11日	16.7	19.8		【〆一】（松前城下山田屋）→【ヤマ上】印	大屋伊之助への金100両の為替手形
219	184683	C	覚〔金受取証〕	1	継紙（2枚）	巳 9月21日	17.0	17.8		【〆一】→【ヤマ上】印	秋味代金700両の受取証
220	184684	C	覚〔為替手形〕	1	切紙	巳 10月12日	16.7	16.7		【〆一】（松前城下山田屋）→【ヤマ上】印	船津屋万太夫への金200両の為替手形
221	184685	C	覚〔金受取証〕	1	切紙	卯 12月23日	17.3	16.0		【マル十五】→【ヤマ上】店	石狩秋味取組金500両の受取証
222	184686	C	覚	1	竪帳	亥 11月	24.0	16.5	8	小川屋九右衛門、西川徳兵衛→町役所	**［222］～［223］２点封筒一括** ウハ書なし。各場所請負人の運上金による割合高の書上
223	184687	C	奉差上御請書之事	1	竪帳		24.3	16.5	5	和田屋茂兵衛（アフタ請負人）ほか→張江兵五郎	長崎へ回す俵物の増産に努めるようにとの指示への請書
224	184688	C	永代譲渡証札之事	1	継紙（2枚）	明治4年12月	30.6	46.5		山田治兵衛（証人）、山田吉右衛門（本人）→林長左衛門	封入：31.7×7.2cm、ウハ書「上」。西地高嶋領スクツシ鯡場1か所（建家、蔵々、漁具、諸道具付き）の金700両での永代譲渡の証文
225	184689	C	申渡之写	1	継紙（2枚）	〔安政5年以降〕	14.9	71.5			石狩改革後の出稼者の漁場割の書上の写し
226	184690	C	心得書	1	横折紙		12.0	32.5			ヨイチ詰合やイワナイ詰合などへの伝言、余市番家の歎願など「心得」の書上。【〆一】店の記載もあり
227	184691	C	船々取組方心得方	1	継紙（4枚）	午〔明治3年〕1月	16.2	146.0			場所請取渡しに際して行うべきことの箇条書きの書上
228	184692	C	〔嘉永3年アツケシ来航イギリス船絵図〕	1	竪紙	嘉永3年	27.3	38.8			嘉永3年4月にアッケシで破船したイギリス捕鯨船の図
229	184693	C	〔松前藩家臣知行所・産物書上〕	1	横帳	18世紀後半ごろ	12.5	33.5	22		表紙欠。破れ、折れ、水染みあり。松前藩主の「御領」と家臣の「知行所」の地名と産物の書上。商場知行関係
230	184694	C	〔ヨイチ場所諸書上写（部分）〕	1	横帳	安政年間	13.5	26.0			前欠。資料全体にフケあり。破損あり。綴じ紐切れ。「安政五戌年八月九日／箱館御奉行／村垣淡路守様御廻浦之砌／御手附御調役下役長谷川就作様／木村勝右衛門様江諸書上」「箱館御組頭／井上元七郎様御廻浦之砌／御手附御定役／佐木鍬三郎様江諸書上」との記載あり。「帰化土人」「役土人」の名前、軽物書上、「ヲムシヤノ教」「土人江売渡直段」「鯡釜員数書上」などの記載あり。末尾に畑屋七左衛門事直右衛門（アフタ受負人）の役所への願書の写しなどもあり

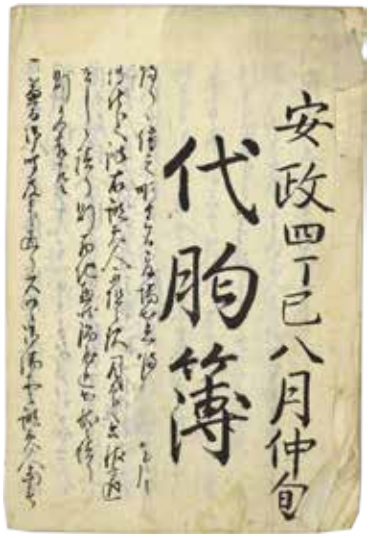
写真図版

凡例

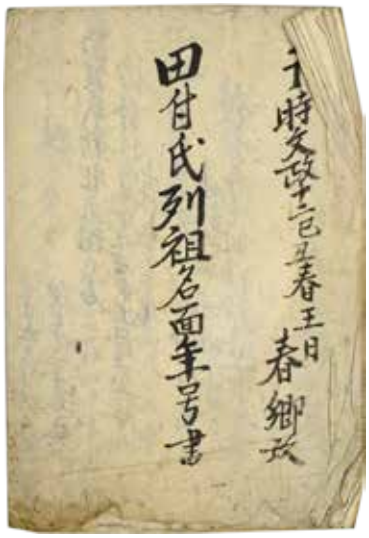
・資料の外観写真と、[　] 整理番号、資料名、(　) 収蔵番号を表示した。
・写真の大きさは、資料によって適宜調整した。
・加工した写真を掲載しているものもある。例えば、資料の状態によって、撮影時にガラス文鎮や箸、へらなどを用いて資料を押さえつけた場合に、その文鎮や箸などを画像加工により消去・修正した。
・画像の縁取りは、できるだけ資料の外縁に忠実に切り抜いたが、撮影時の状況や資料の状態等の理由により一部忠実でないものも含まれる。また、切り抜いた画像の縁には10%のぼかしを入れている。

A　スッツ場所関係文書

[1] 代胸簿（184465）



[2] 代胸簿（184466）

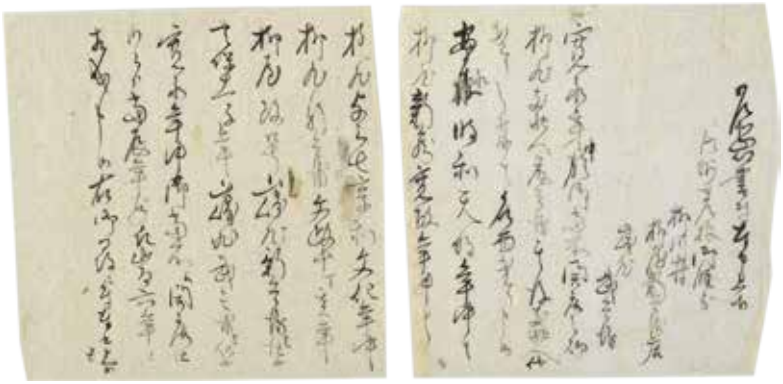


[3] 田付氏列祖名面年号書（184467）

[4] 乍恐以書付奉申上候（184468）

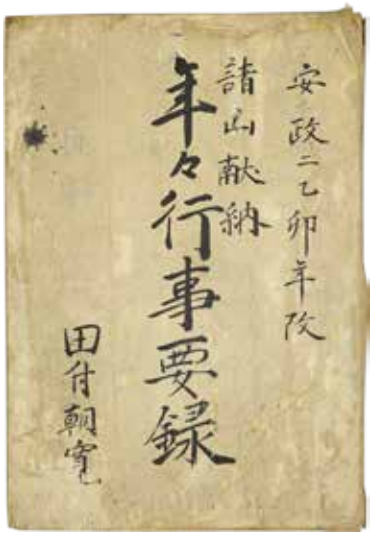
[5] 附校正家伝田付氏累世家譜略（184469）

［6］要事控（184470）



［7］乍恐以書付奉申上候（184471）

［8］覚（184472）



［9］年々行事要録（184473）

［10］〔寿都郡出張所願書綴〕（184474）

［11］願書書上控（184475）

［12］願書書上控（184476）

［13］諸船舶書上留（184477）

［14］諸船舶書上留（184478）

［15］出稼人別書上（184479）

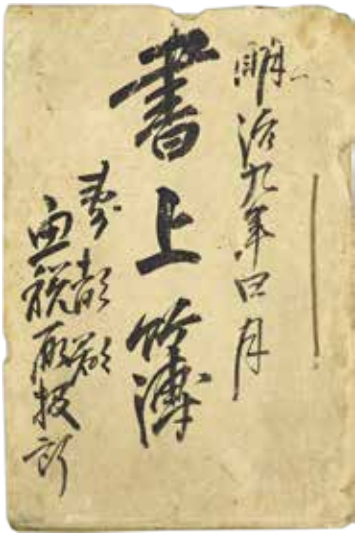
［16］税品御払下願（184480）

［17］〔寿都郡関係書類綴〕（184481）

［18］御用留（184482）

［19］御請証文之写（184483）

［20］〔田付新八書上綴〕（184484）



［21］書上簿（184485）

［22］寅ノ年書上之写（184486）

［23］〔箱館奉行所文書写〕（184487）

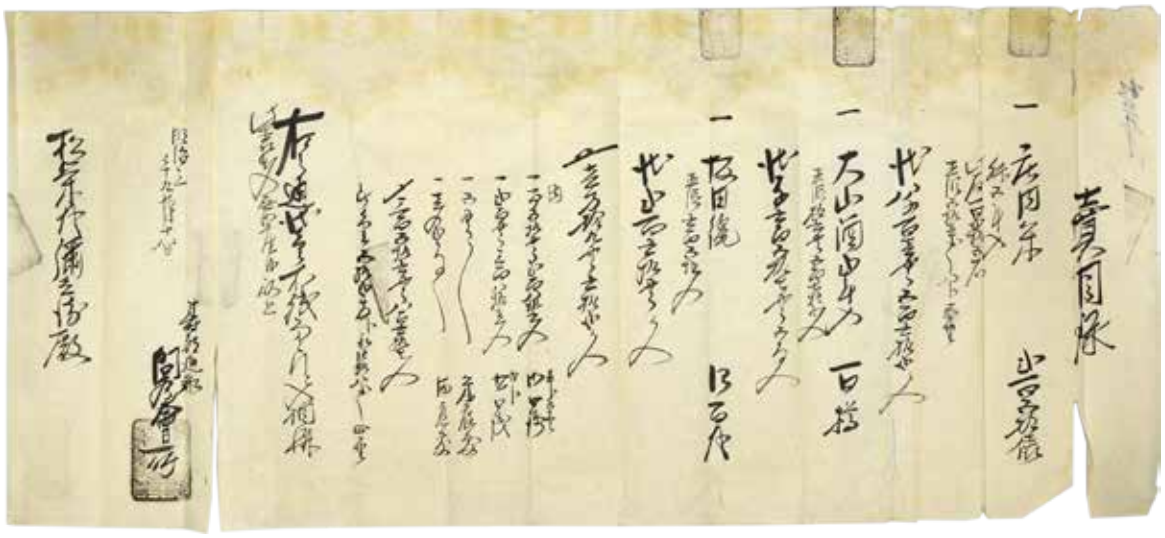
［24］願書控（184488）

［25］願書并諸書上書留（184489）

［26］浜中惣人別書（184490）

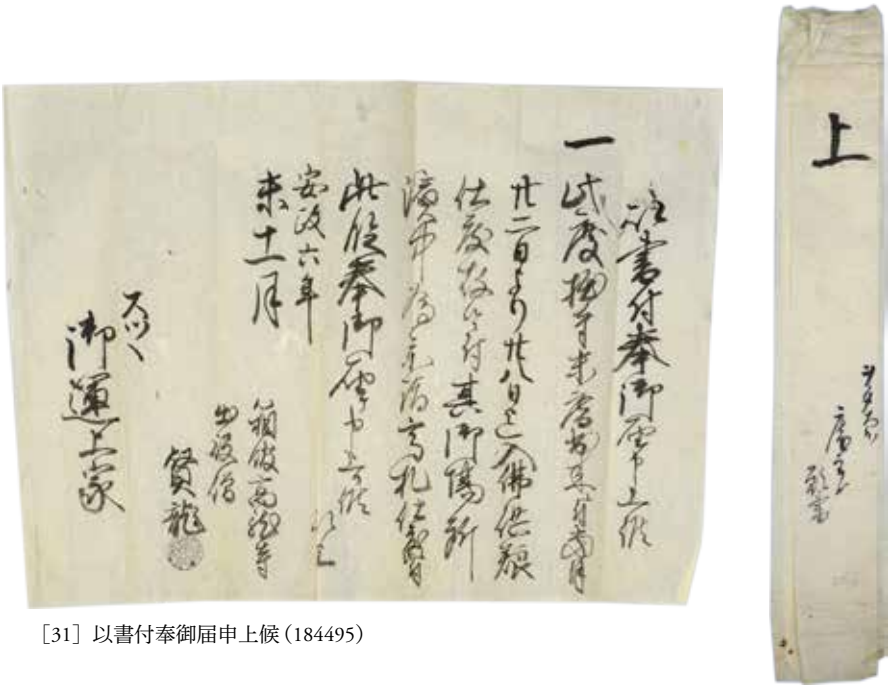
［27］惣浜中人別調書（184491）

［28］〔寿都関係文書綴〕（184492）

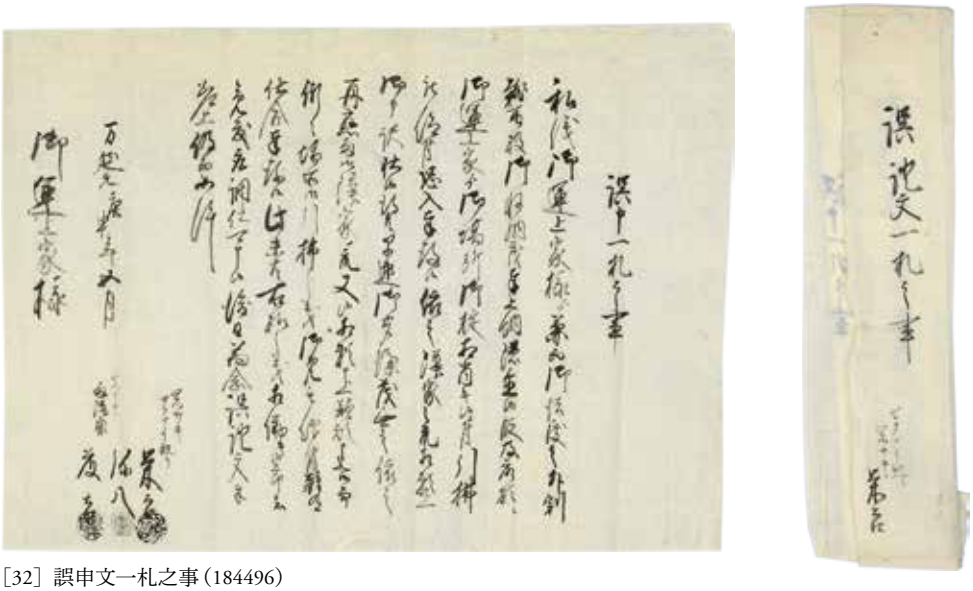


［29］売目録（184493）

［30］売目録（184494）

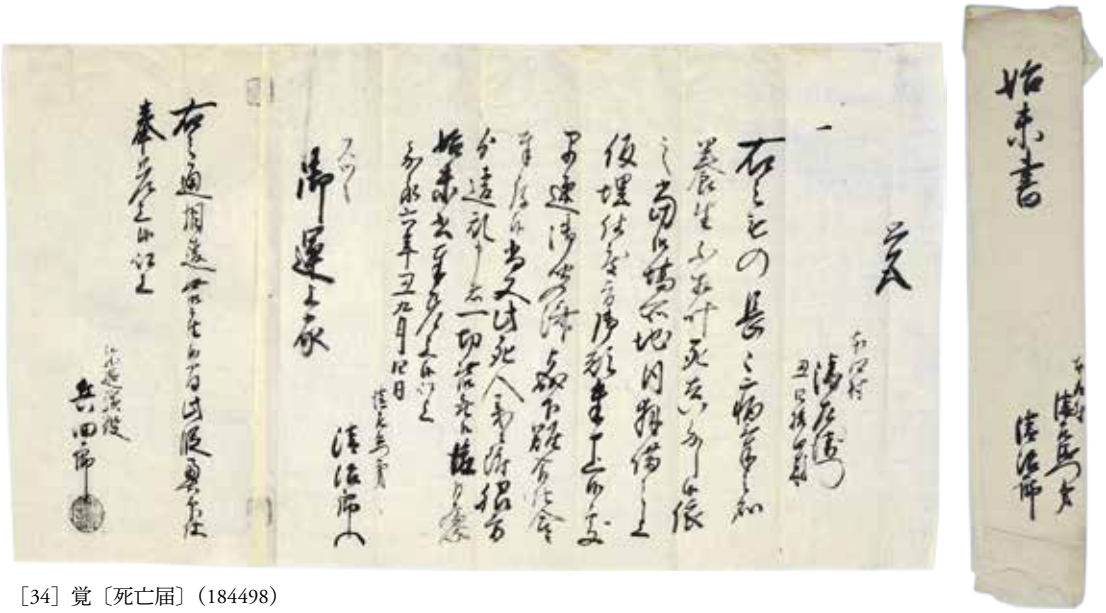


［31］以書付奉御届申上候（184495）

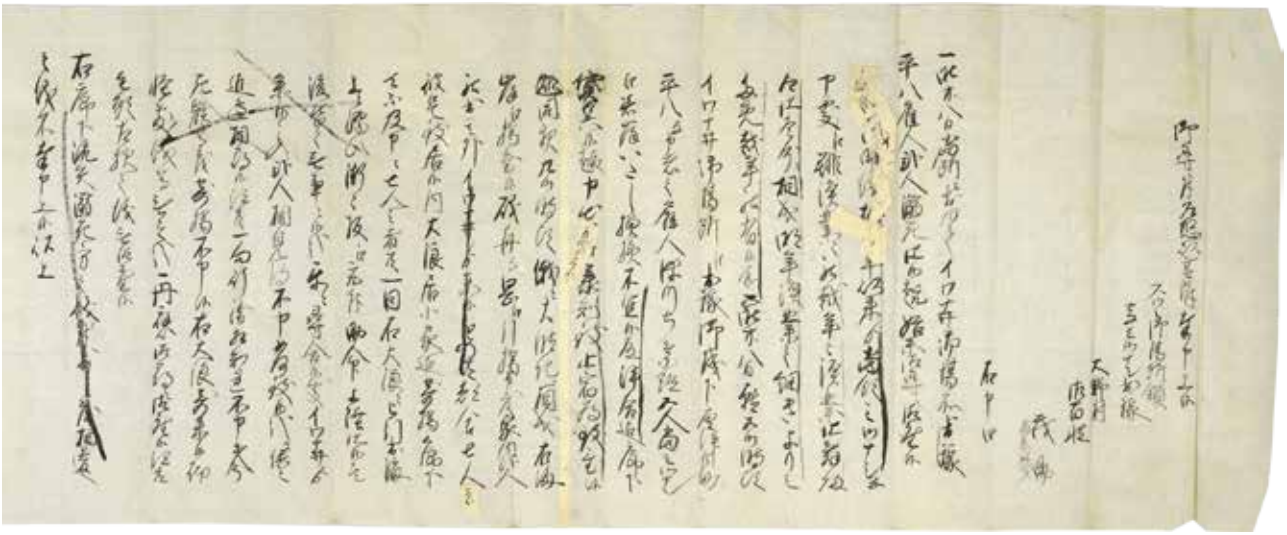


［32］誤申文一札之事（184496）

［33］口書一札之事〔病死手形〕（184497）

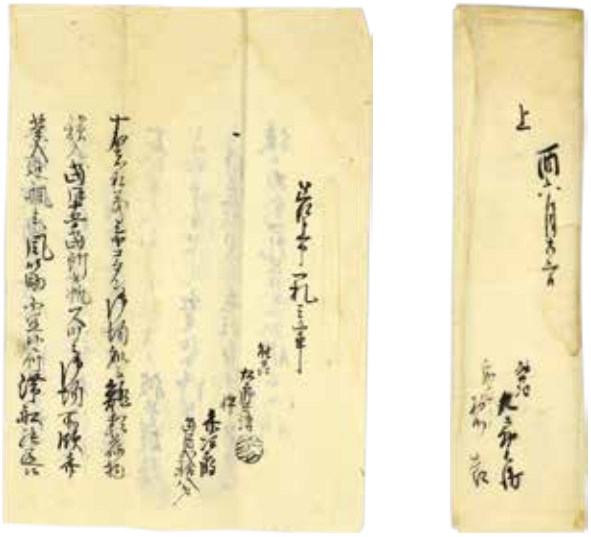


［34］覚〔死亡届〕（184498）



［35］御尋ニ付乍恐以書付奉申上候（184499）

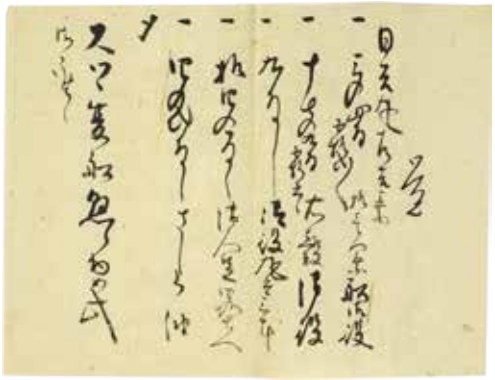
［36］〔付箋〕（184500）



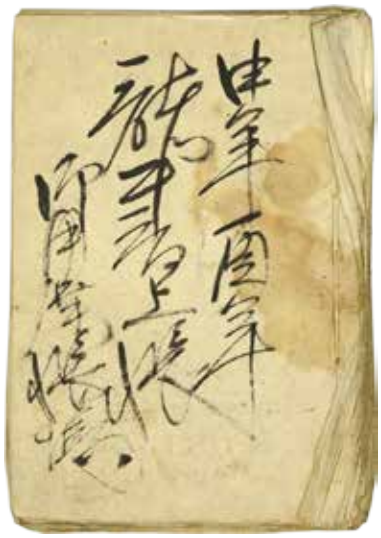
［37］差上申一札之事（184501）

［38］差出申一札之事（184502）

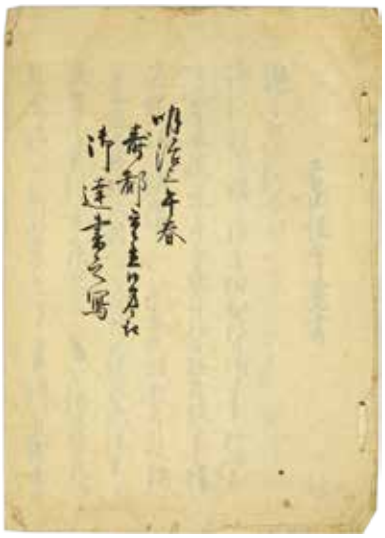
［39］〔書簡〕（184503）



［40］覚〔スッツ夏船懸り物書上〕（184504）

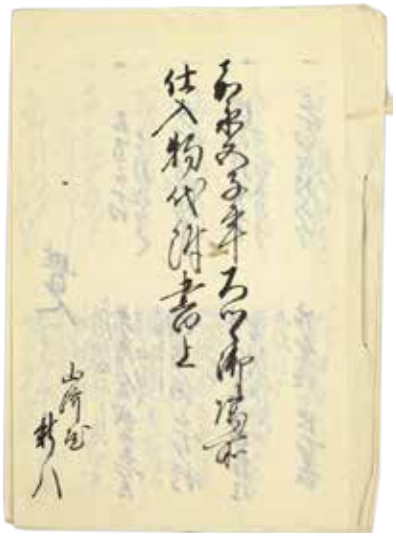


［41］申年酉年諸書上帳（184505）



［42］寿都重立候方々江御達書之写
（184506）

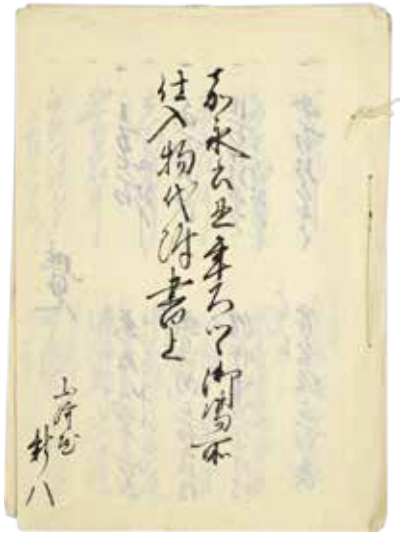
［43］〔スッツ場所関係書類袋〕
（184507）
左：オモテ、右：ウラ

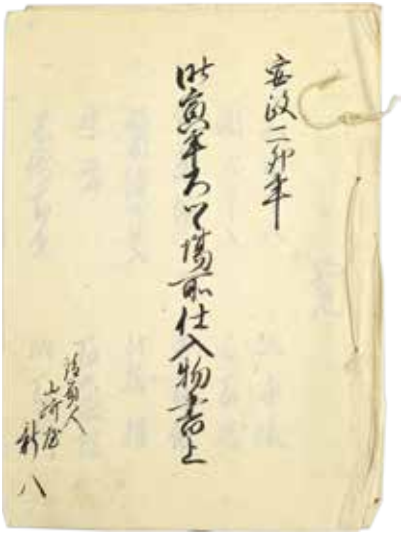


［44］嘉永三寅年スツヽ場所仕入物代書上（184508）
［45］西蝦夷地スツヽ嘉永三戌年出産物書上（184509）

［46］嘉永四亥年スツヽ御場所仕入物代附書上（184510）
［47］西蝦夷地スツヽ嘉永四亥年出産物書上（184511）

［48］嘉永五子年スツヽ御場所仕入物代附書上（184512）
［49］西蝦夷地スツヽ嘉永五子年出産物書上（184513）





［50］嘉永六丑年スツヽ御場所仕入物代附書上（184514）
［51］西蝦夷地スツヽ嘉永六丑年出産物書上（184515）

［52］嘉永七寅年スツヽ御場所仕入物代附書上（184516）
［53］西蝦夷地スツヽ嘉永七寅年出産物書上（184517）

［54］安政二卯年昨寅年スツヽ場所仕入物書上（184518）
［55］西蝦夷地スツヽ安政二卯年出産物書上（184519）

［56］西蝦夷地スツヽ安政三辰年出産物書上（184520）

［57］差出申一札之事（184521）

［58］〔スッツ場所諸書上写〕（184522）

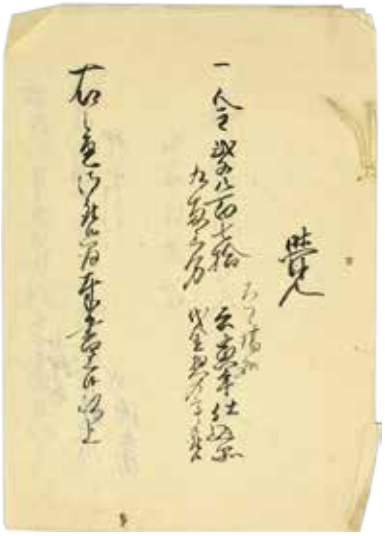
［59］北明丸積荷物送状（184523）

［60］上〔北明丸積荷物送状〕（184524）

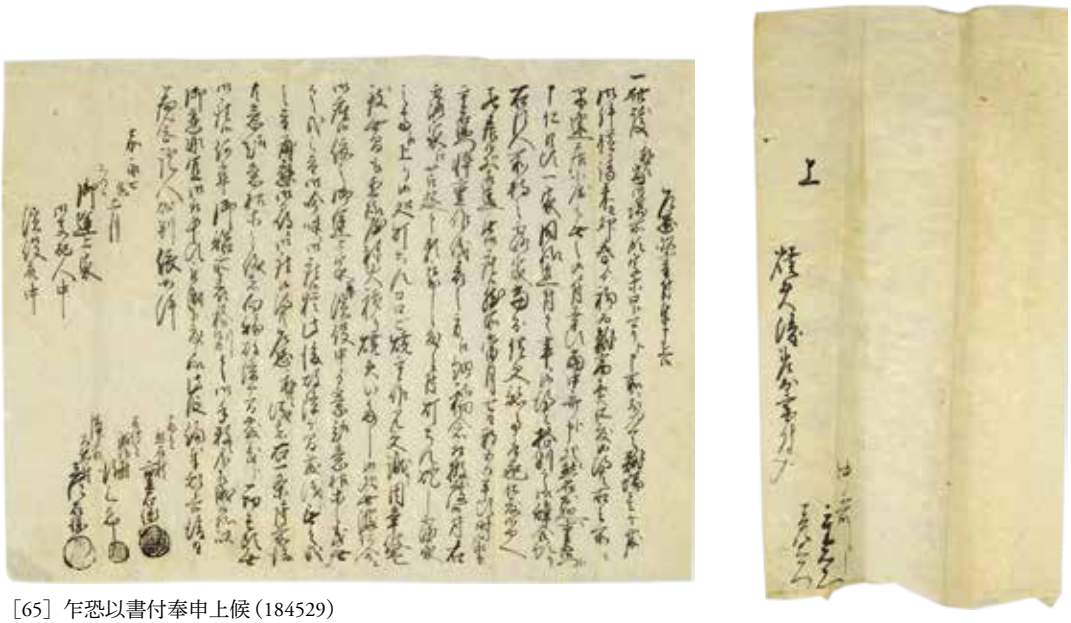
［61］天命丸積荷物送状之事（184525）

［62］上〔吉利丸積荷物送状〕（184526）

［63］覚〔大坂孫四郎船積荷物送状〕（184527）

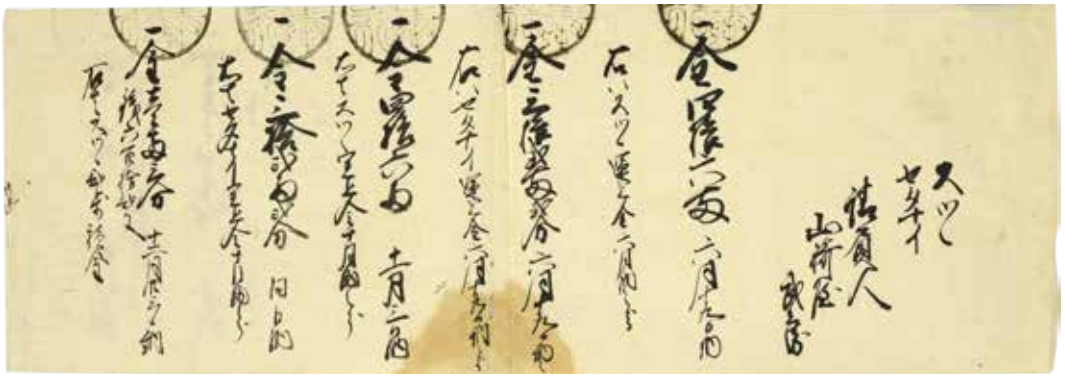


［64］覚〔スッツ場所書上綴〕（184528）



［65］乍恐以書付奉申上候（184529）

［66］乍恐以書附奉願上候（184530）

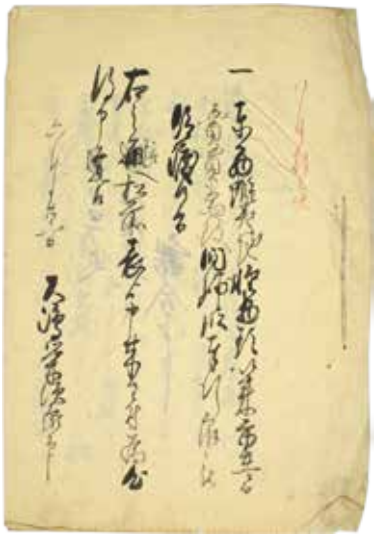


［67］〔御運上金上納通〕（184531）

B　アッケシ場所関係文書

［68］文化九申年悪消場所銭元払帳（184532）

［69］〔包紙〕（184533）



［70］〔場所到来回状控〕（184534）

［71］〔場所到来回状控〕（184535）

［72］御仕入物残改帳（184536）

［73］アツケシ御会所諸仕入物残り品代附帳并諸道具不足品書訳（184537）

［74］〔アッケシ会所諸書上綴〕（184538）

［75］文化四巳年アツケシ御場所御掛御役人様ゟ役夷人江被下候品代書上（184539）

［76］アツケシ御場所残り物直段付（184540）

［77］申年アツケシ御場所仕入物書上帳（184541）

［78］申年アツケシ御場所出産物蝦夷人割合代銭附書上（184542）

［79］〔蝦夷人割合代銭書上〕（184543）

［80］申年アツケシ御場所諸薬種頂戴蝦夷人見届書上（184544）

［81］申年アツケシ御場所越年番人書上控（184545）

［82］未年アツケシ御場所蝦夷人出生病死書上帳（184546）

［83］申年御場所江囲荷物書上（184547）

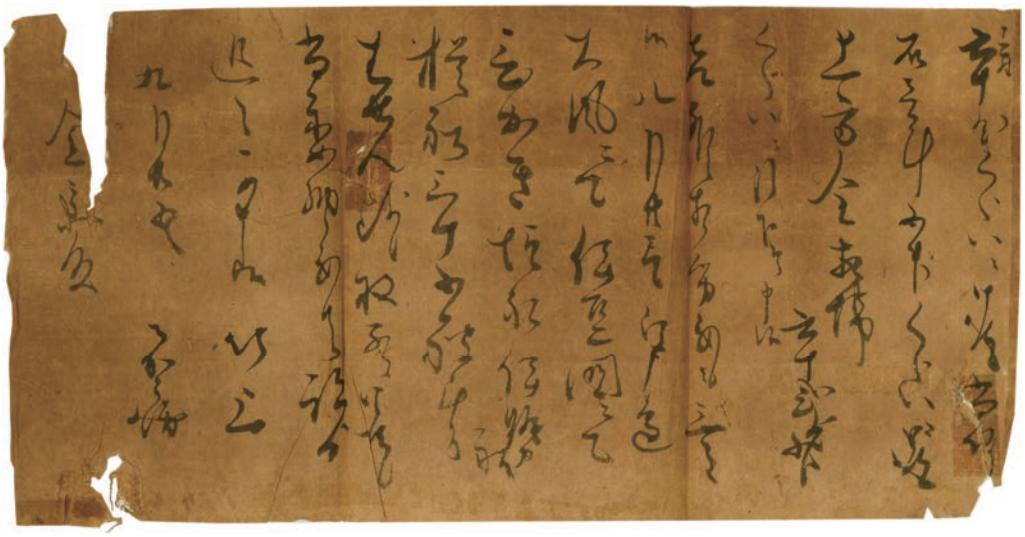
［84］申三月アツケシ御場所御軽物代附書上帳（184548）

［85］〔文書断片〕（184549）

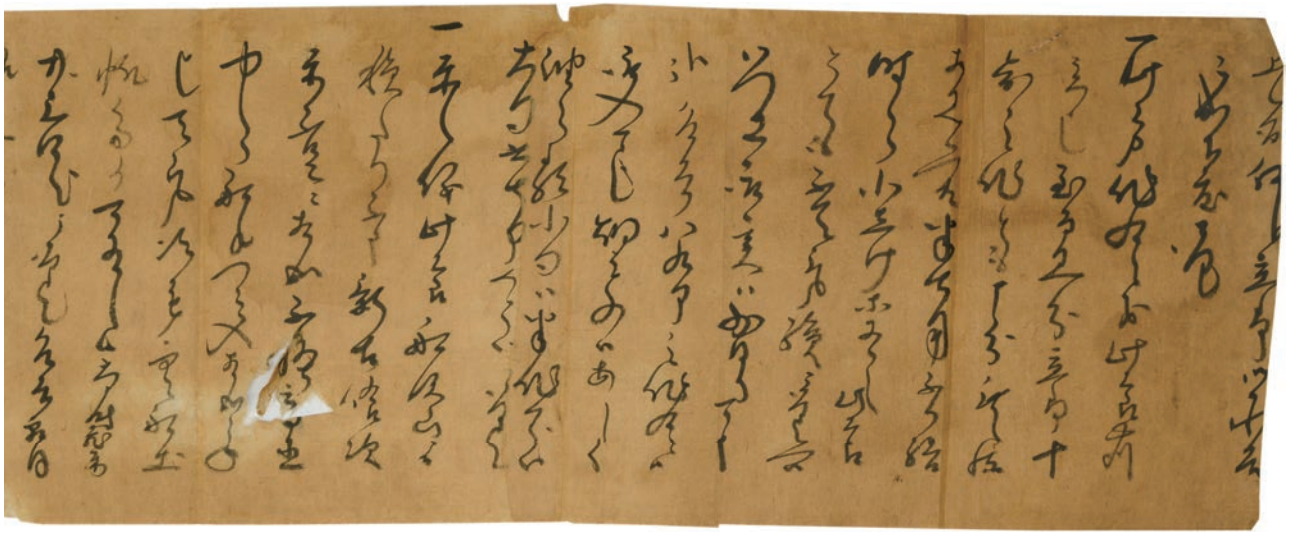
［86］船々御判写（184550）

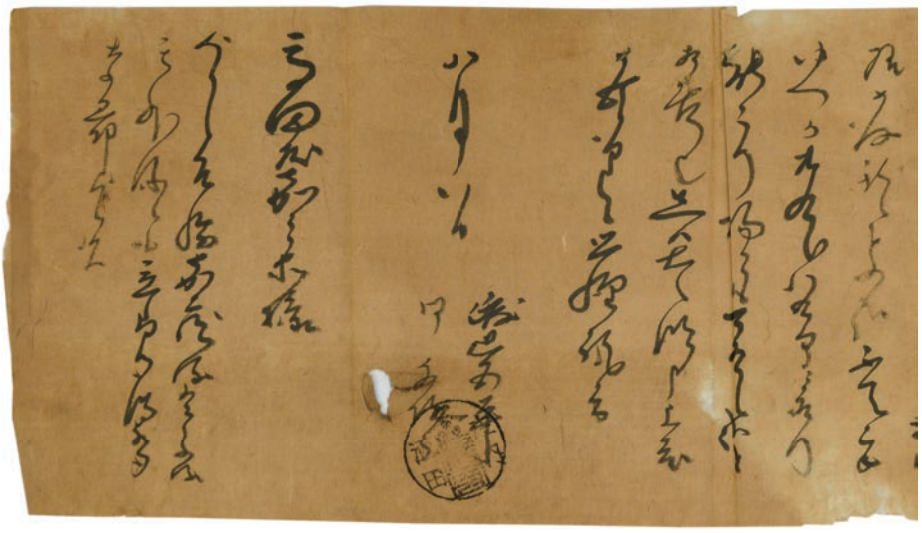
［87］呈御香料（184551）

C　北海道関係文書

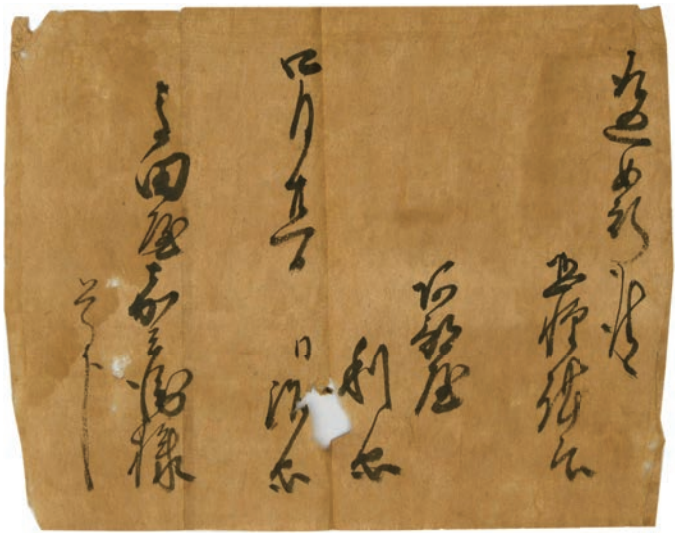


［88］〔断簡〕（184552）

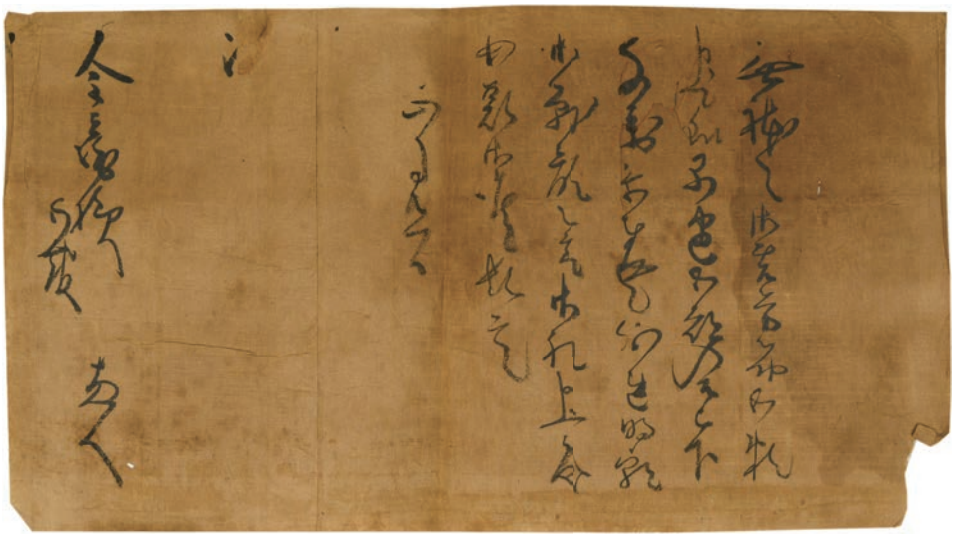




［89］〔断簡〕（184553）



［90］〔断簡〕（184554）



［91］〔断簡〕（184555）

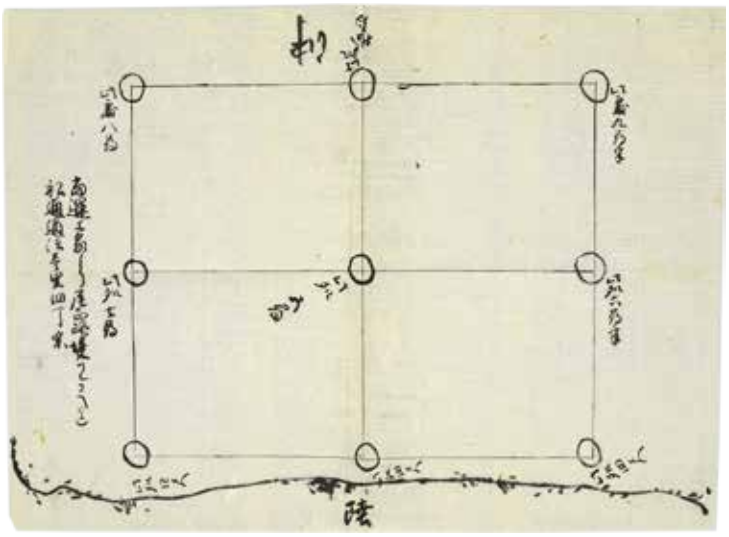
［92］〔松前町年寄日記抜書〕（184556）

［93］〔市中・東西村々諸役書上〕（184557）

［94］夏ヲムシヤ取扱方調書（184558）

［95］〔ヨイチ場所請負人竹屋長左衛門
雇船入津書上綴〕（184559）

［96］当御場所里数并弁財掛リ澗書上
（184560）



［97］漁場一件始末抜書（184561）

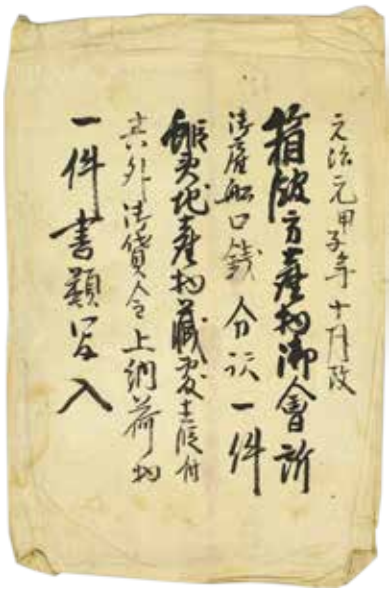
［98］〔伊達林右衛門関係証文写し綴〕（184562）

［99］〔口上綴〕（184563）

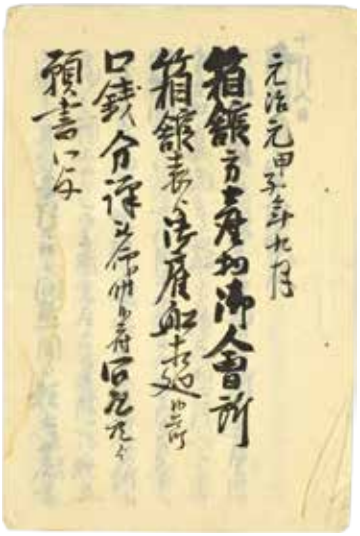
［100］高宮屋五郎兵衛殿家事一件（184564）

［101］以口上書奉願上候（184565）

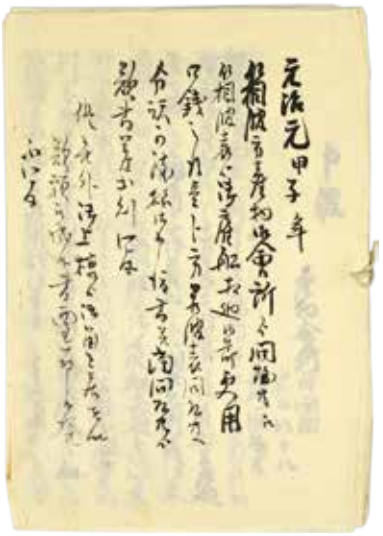
［102］北蝦夷地御用御公儀御役人様御通行取扱向（184566）　左：本冊、右：包紙



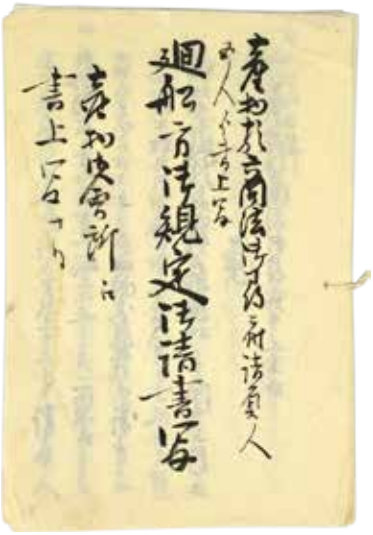
［103］〔書類袋〕（184567）



［104］〔雇船口銭分訳関係文書写〕（184568）



［105］〔雇船口銭分訳関係申渡并歎願書写〕（184569）



［106］廻船方御規定御請書写（184570）

［107］〔銭屋五兵衛始末之事御調子書上〕（184571）

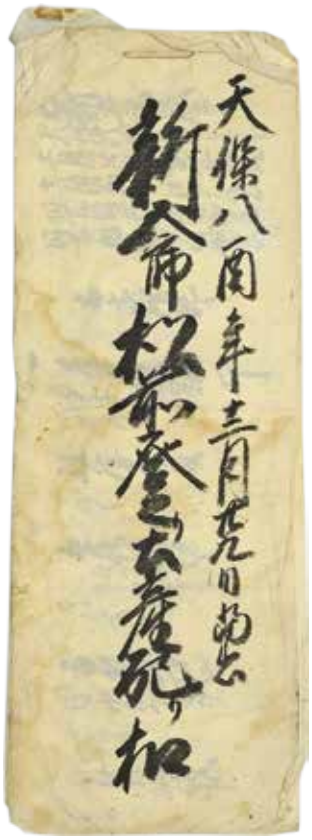
［108］〔鯡場仕込借用高書抜帳〕（184572）

［109］湯殿沢町五郎次口上書（184573）

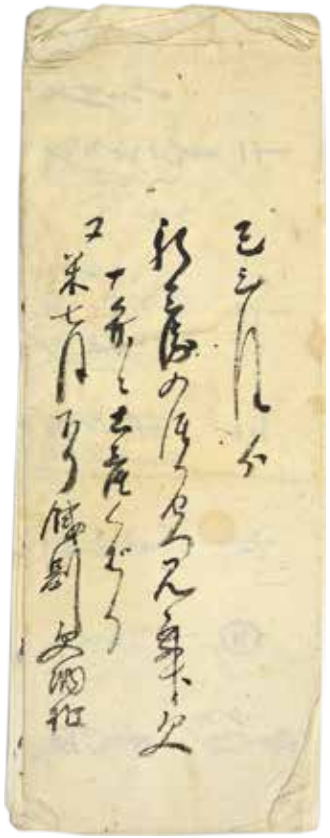
［110］箱館御役所ゟ御申渡写（184574）

［111］〔アッケシ下り船幸吉丸荷物積取関係文書〕（184575）

［112］船々ゟ至来品控（184576）



［113］新五郎松前登り土産配り扣（184577）

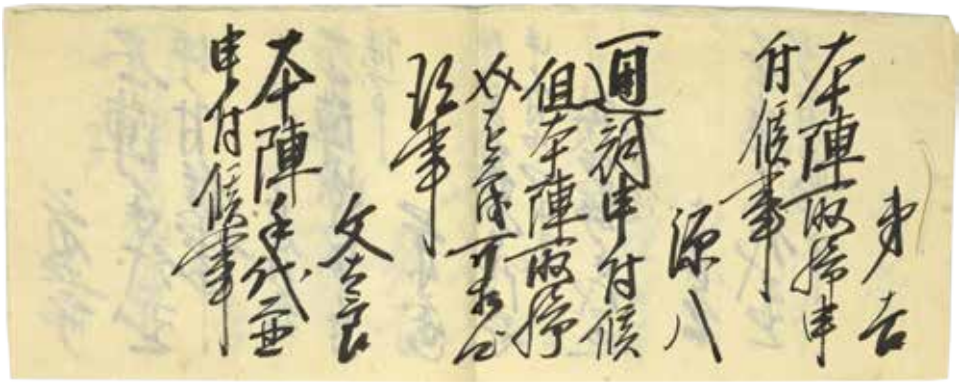


［114］〔新兵衛登り餞見舞受下り土産配り餞別受納扣〕（184578）

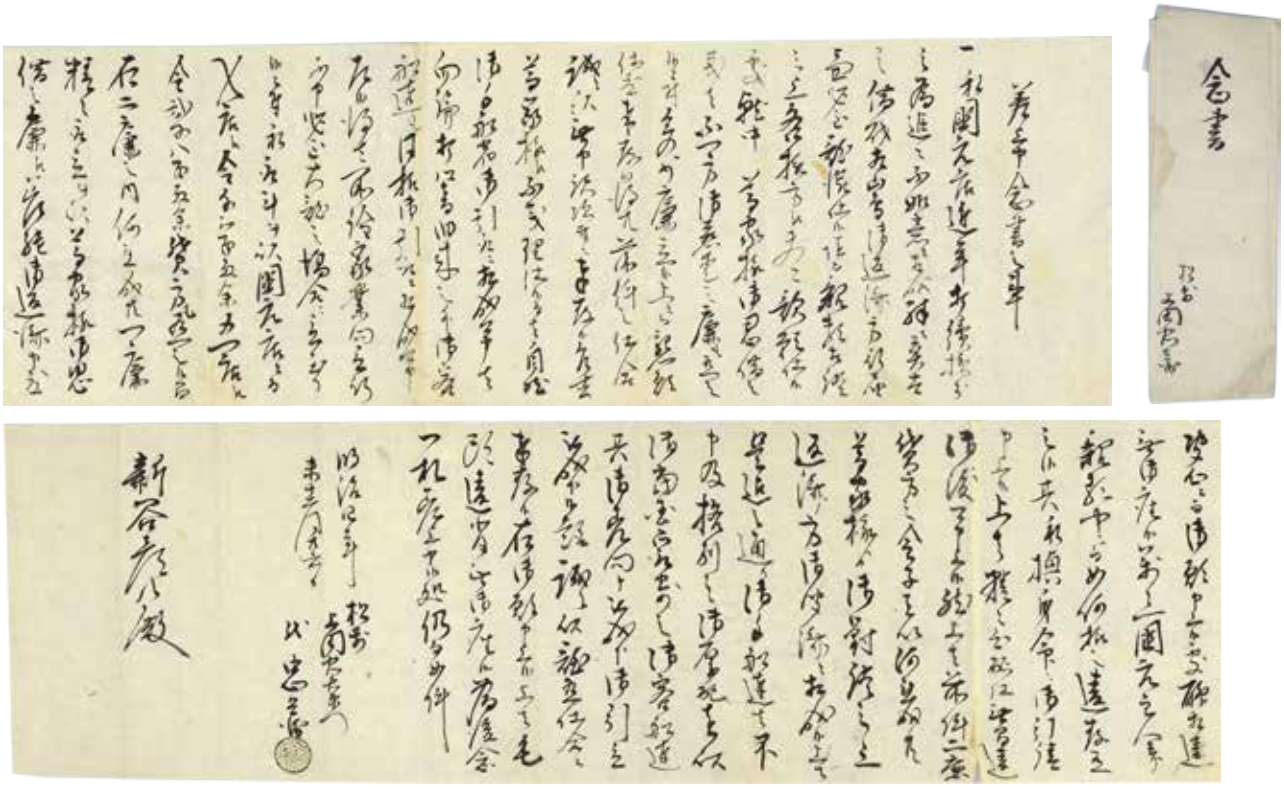
［115］御造船五艘諸入用割合帳（184579）

［116］御造船五艘諸入用調子帳（184580）

［117］掻送御船五艘分惣高勘定帳（184581）



［118］〔辞令写〕（184582）



［119］差上申念書之事（184583）

［120］覚〔仮請取書〕（184584）

［121］覚〔金子受取証〕（184585）

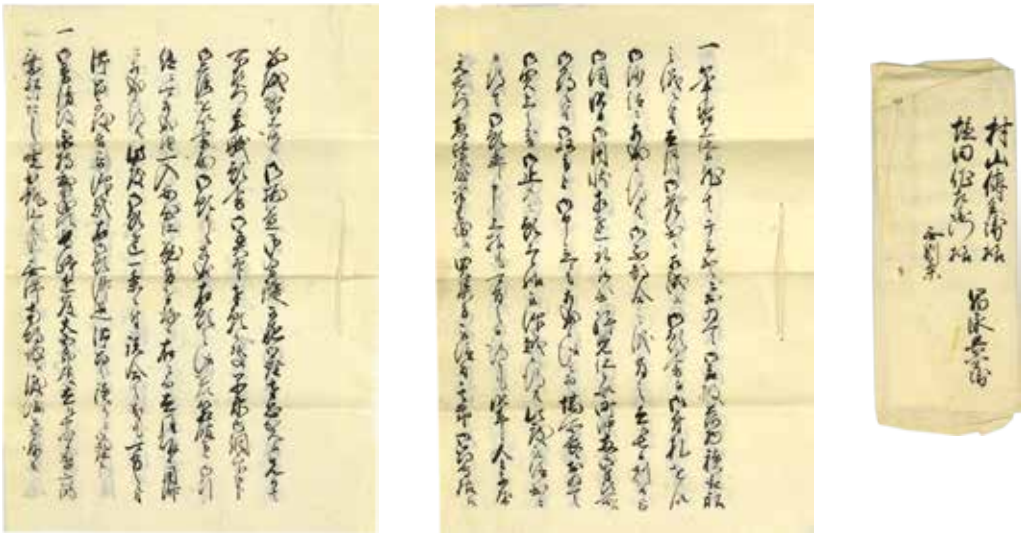
［122］覚〔金子受取証〕（184586）

［123］記〔金子受取証〕（184587）

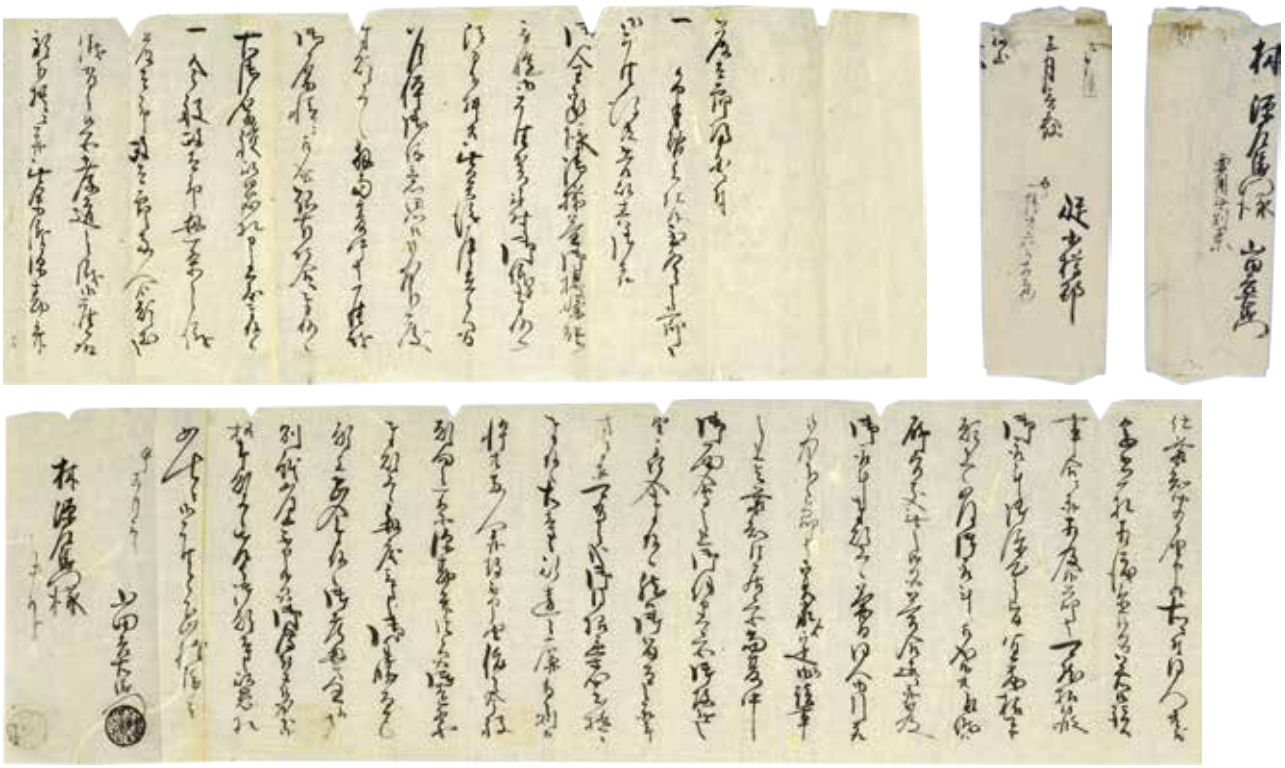
［124］波止場築立割合（184588）

［125］〔書簡綴〕（184589）

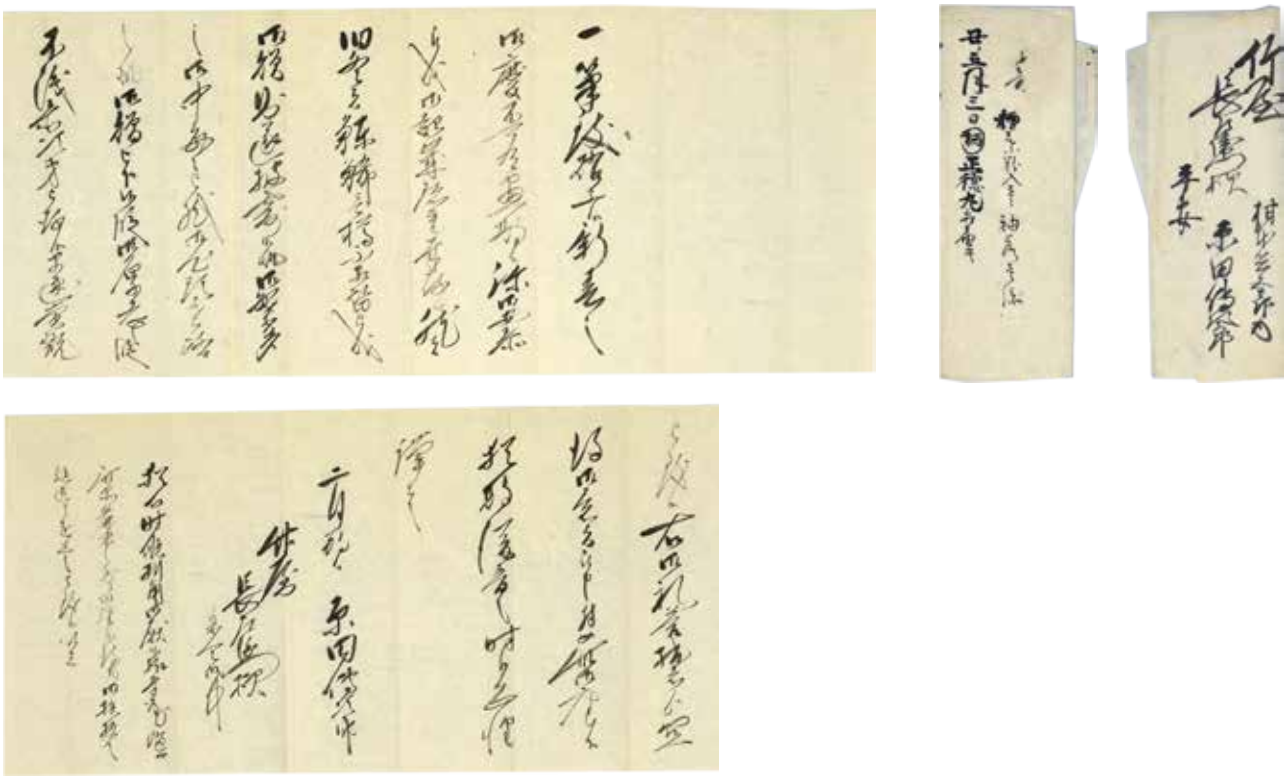
［126］〔書簡〕（184590）



［127］〔書簡〕（184591）

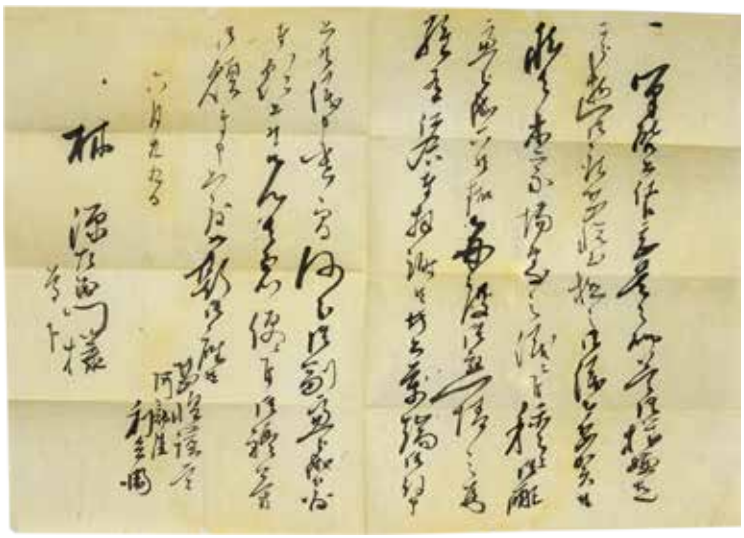


［128］〔書簡〕（184592）　封右：オモテ、封左：ウラ



［129］〔書簡〕（184593）　封右：オモテ、封左：ウラ

［130］〔書簡〕（184594）



［131］〔書簡〕（184595）

［132］〔書簡綴〕（184596）

［133］〔書簡〕（184597）

［134］〔書簡〕（184598）

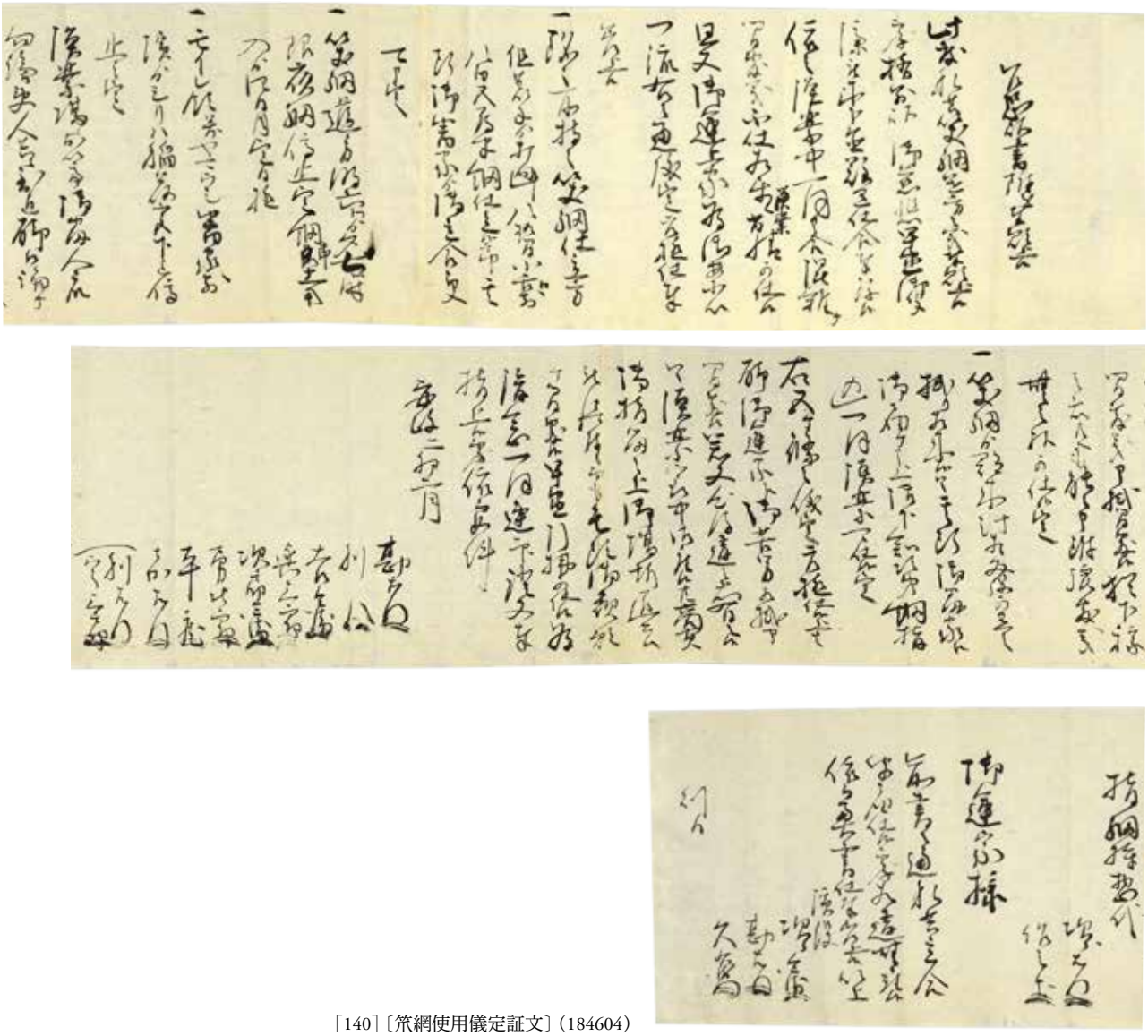
［135］〔書簡〕（184599）

［136］〔書簡〕（184600）

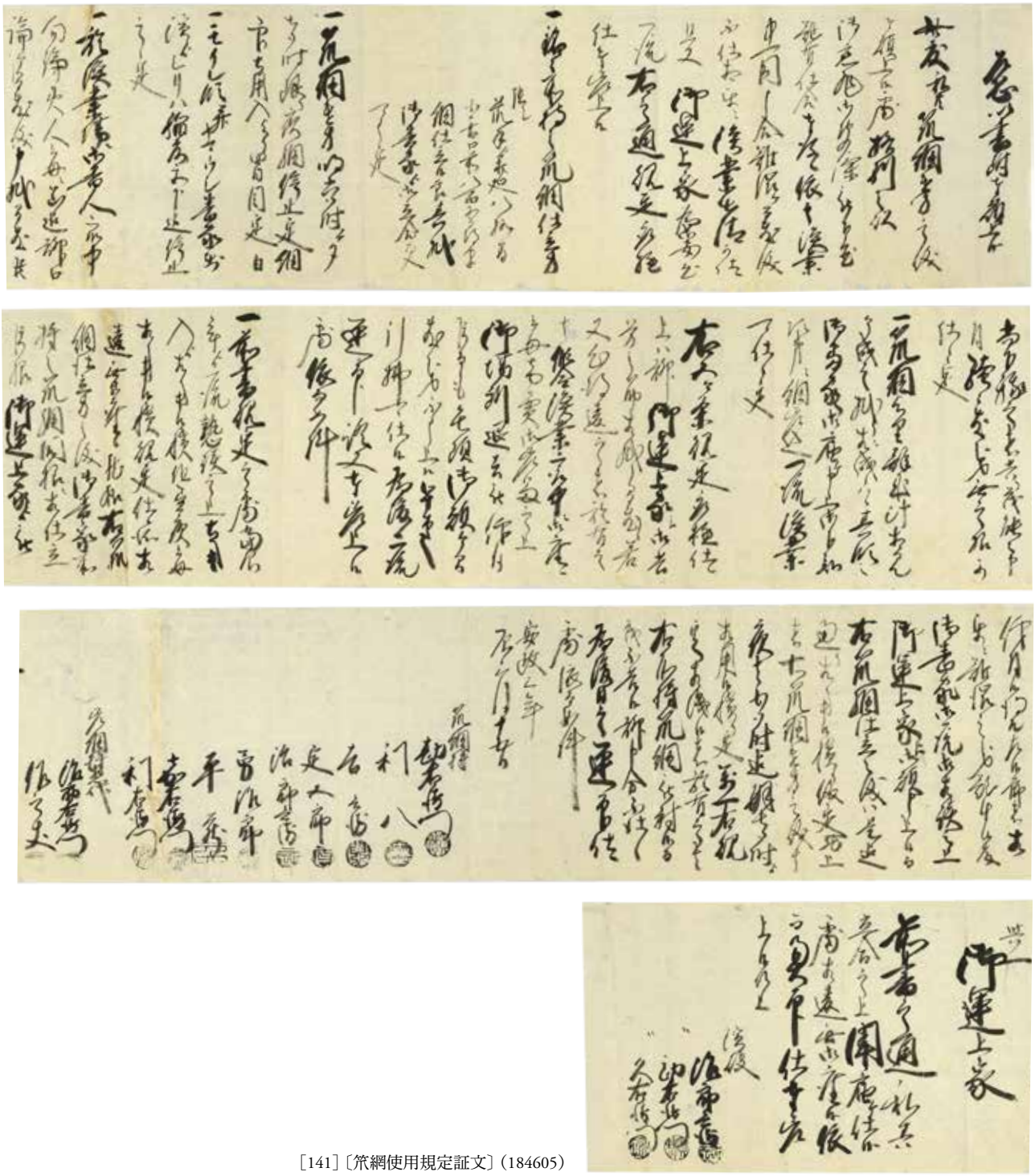
［137］〔書簡〕（184601）

［138］子年差引書（184602）

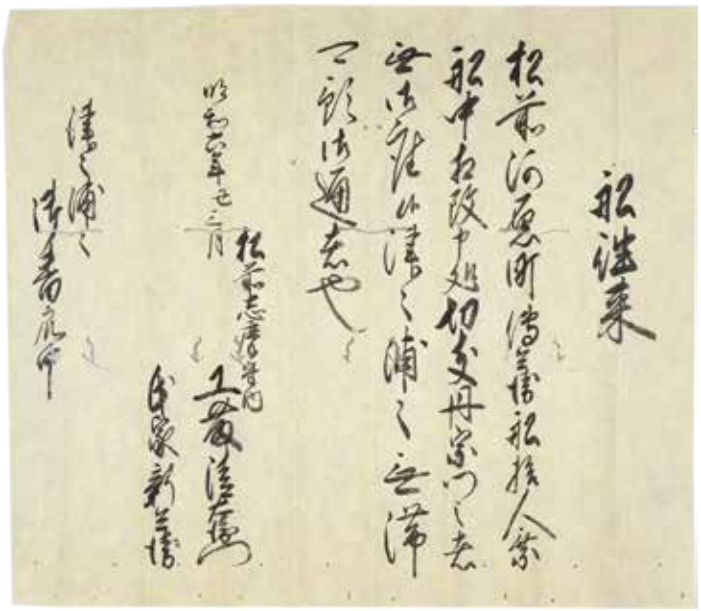
［139］〔ヨイチ場所入船届〕（184603）



［140］〔笊網使用儀定証文〕（184604）

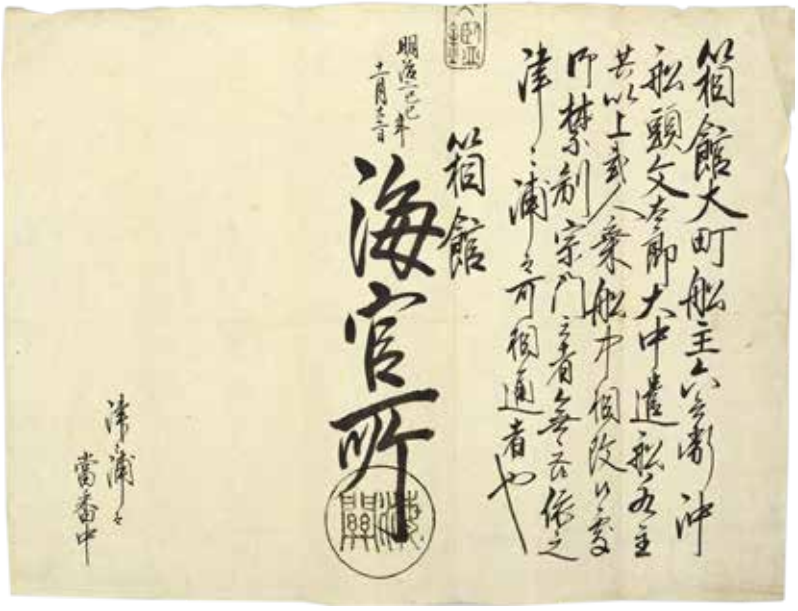


［141］〔筌網使用規定証文〕（184605）



［142］船往来（184606）

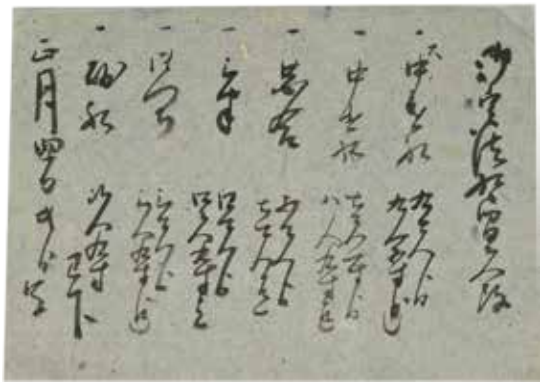
［143］覚〔船往来写〕（184607）



［144］〔船往来〕（184608）

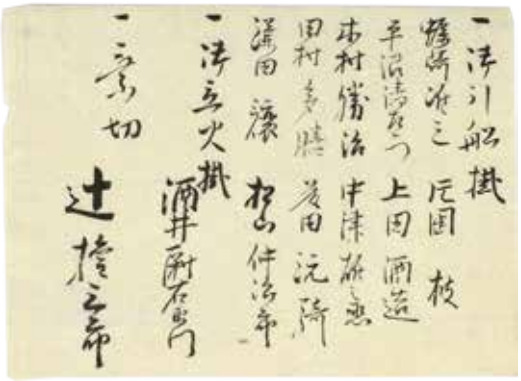
［145］日用重宝玄秘録（184609）

［146］〔間尺立会役人名前書上〕（184610）

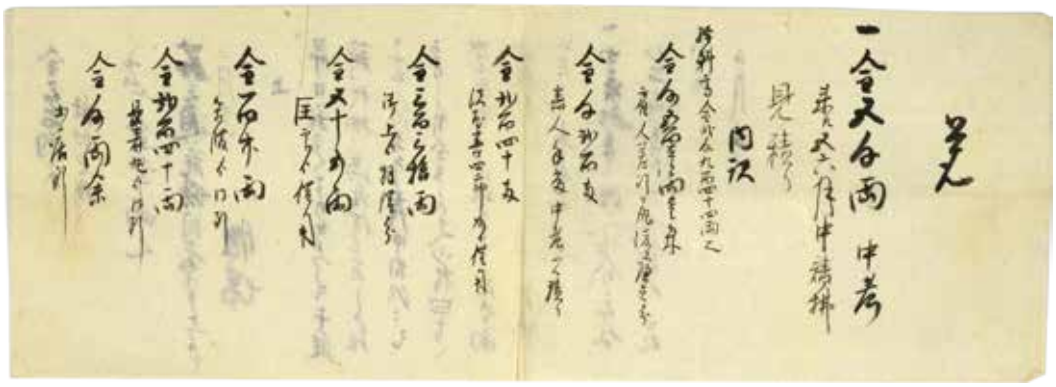


［147］御定法船々間尺改（184611）

［148］覚〔入船御役高書上〕（184612）

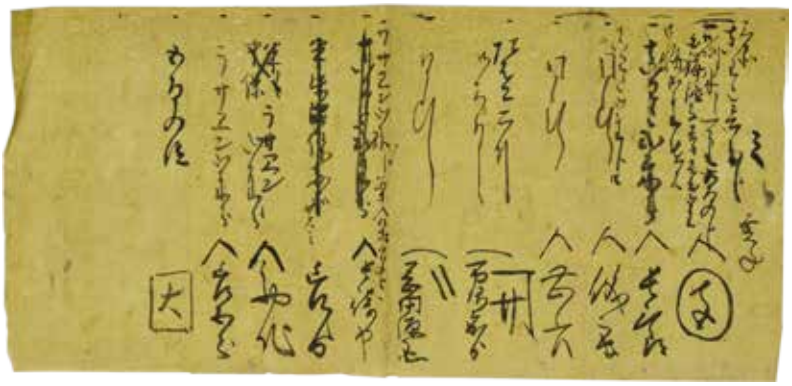


［149］〔御引船掛等名前書上〕（184613）

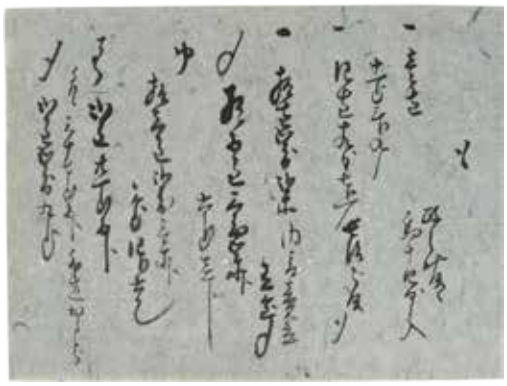


［150］覚〔請払金銭見積高書上〕（184614）

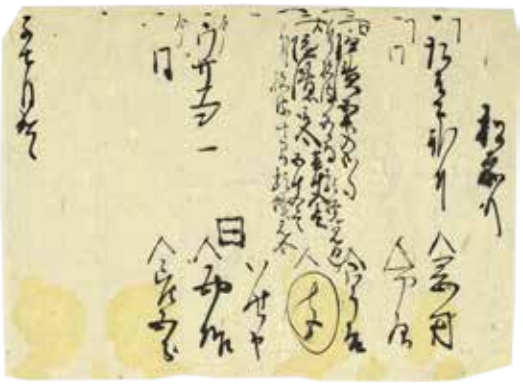
［151］覚〔入用高書上〕（184615）



［152］〔取引覚書〕（184616）



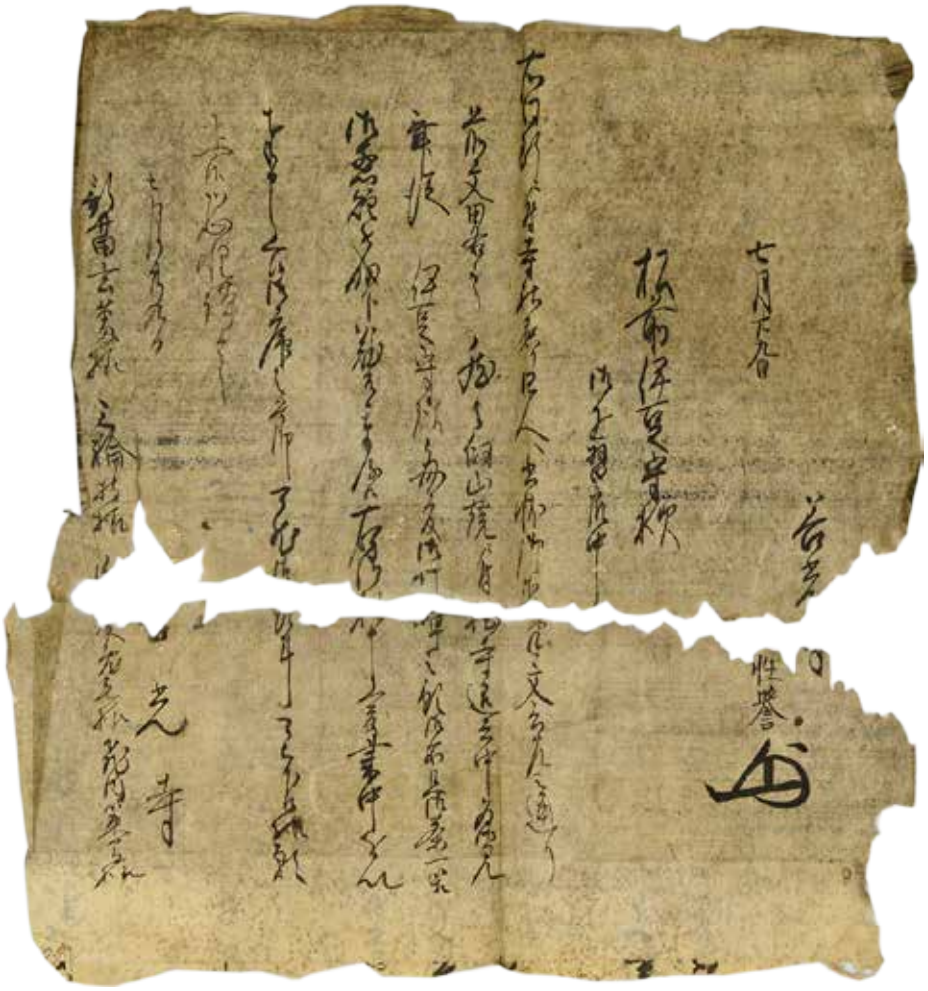
［153］記〔金高書上〕（184617）



［154］松前行（184618）

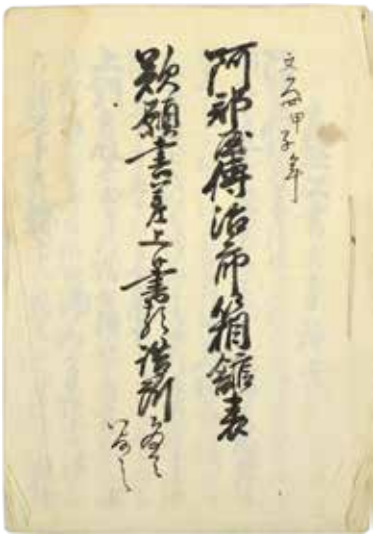
［155］〔積荷書上〕（184619）

［156］〔書簡〕（184620）



［157］〔断簡〕（184621）

［158］〔書類袋（阿部屋伝次郎歎願書）〕（184622）



［159］〔歎願書写〕（184623）

［160］乍恐以書付奉願上候（184624）

［161］差上申御請証文之事（184625）

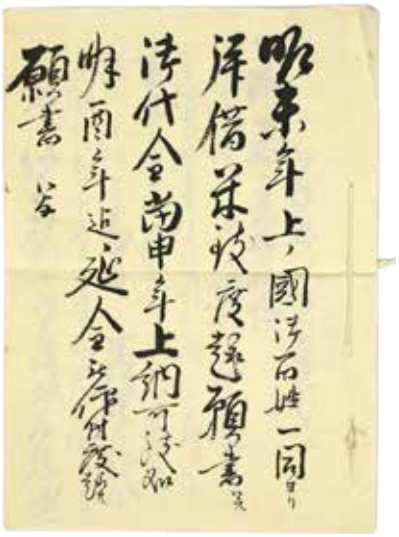
［162］歎願書四通写書綴込（184626）

［163］於箱館表願書写弐通（184627）

［164］於箱館表歎願書写都合七通綴込〔表紙〕（184628）

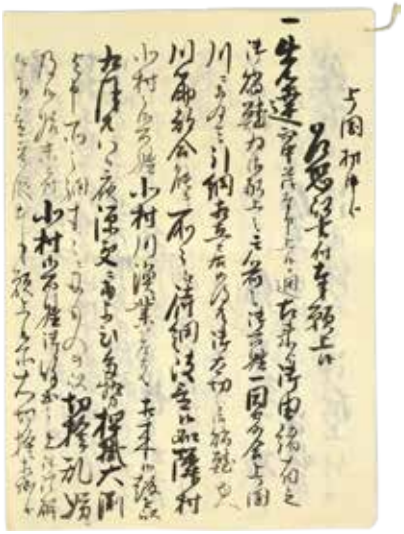
［165］〔日記写〕（184629）

［166］〔書類袋（北村百姓乱妨一件）〕（184630）

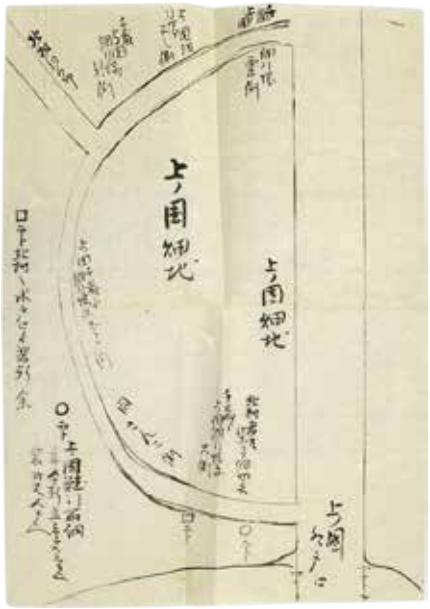


［167］〔願書写（北村百姓関係）〕（184631）

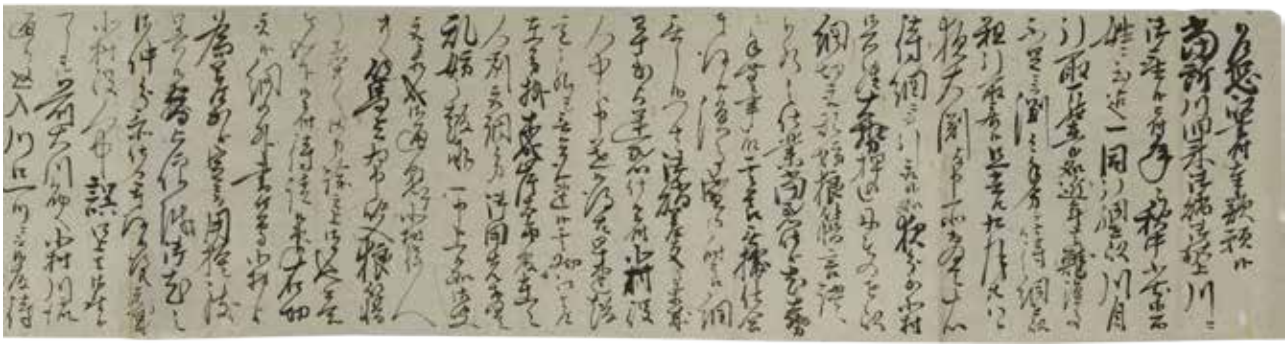
［168］乍恐以書付奉願上候（184632）

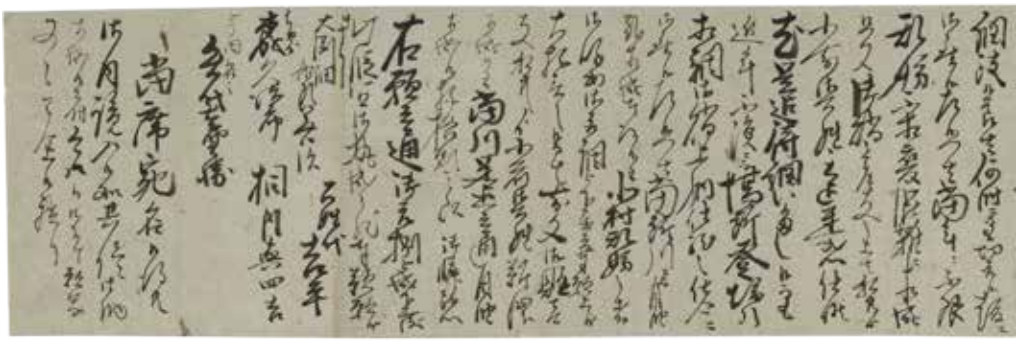


［169］乍恐以書付奉願上候（184633）

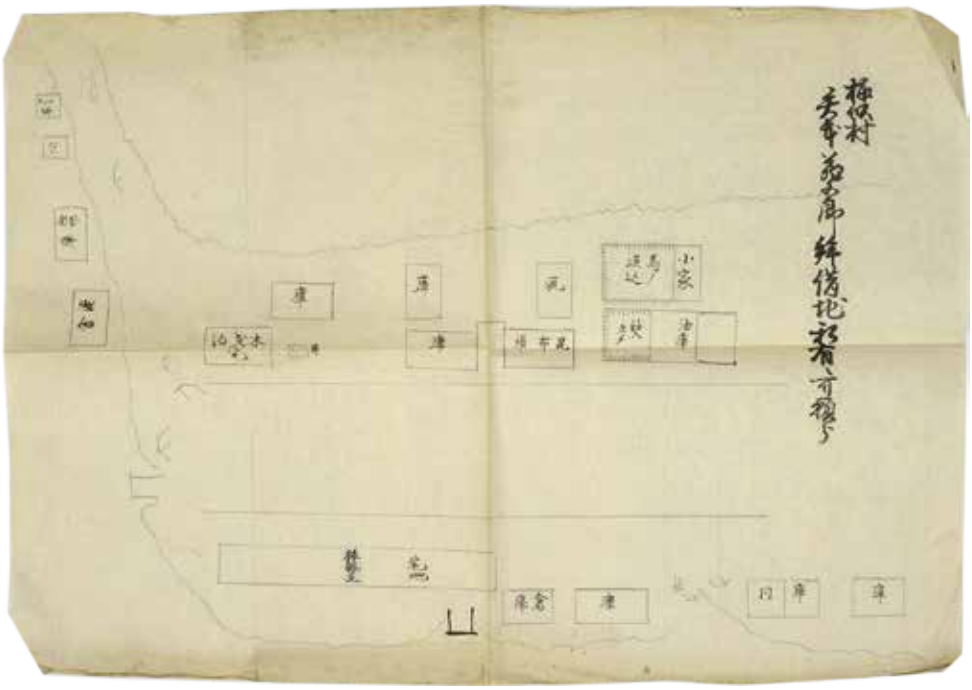


［171］〔上ノ国網切場所絵図面〕（184635）

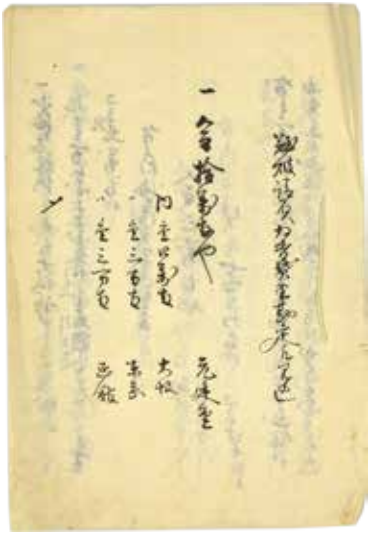




［170］乍恐以書付奉願上候（184634）

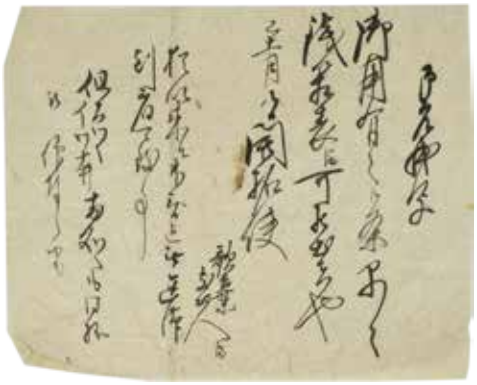


［172］〔絵図面（様似村矢本義五郎拝借地）〕（184636）



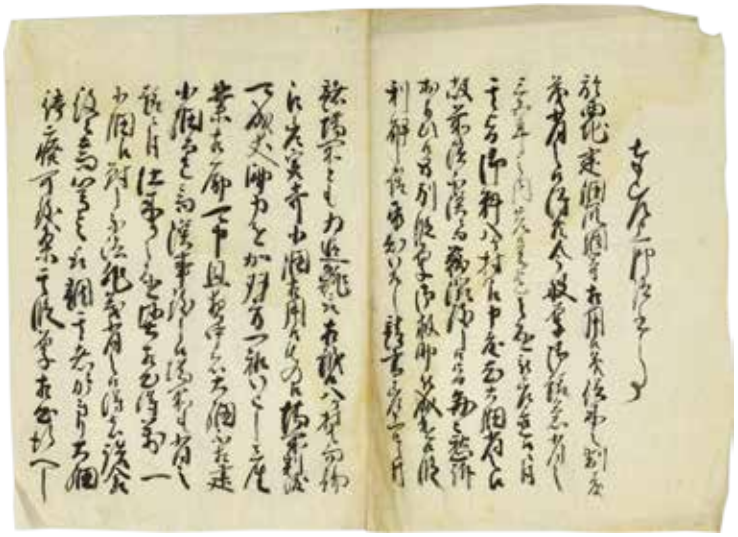
［173］難波請負為替貸金勘定凡見込（184637）

［174］〔差引勘定帳（部分）〕（184638）



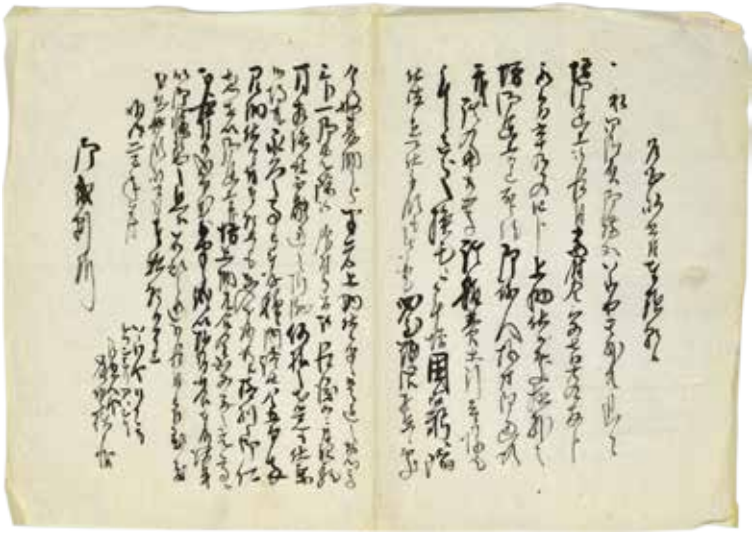
［175］御差紙写（184639）

［176］乍恐以書附御届奉申上候（184640）

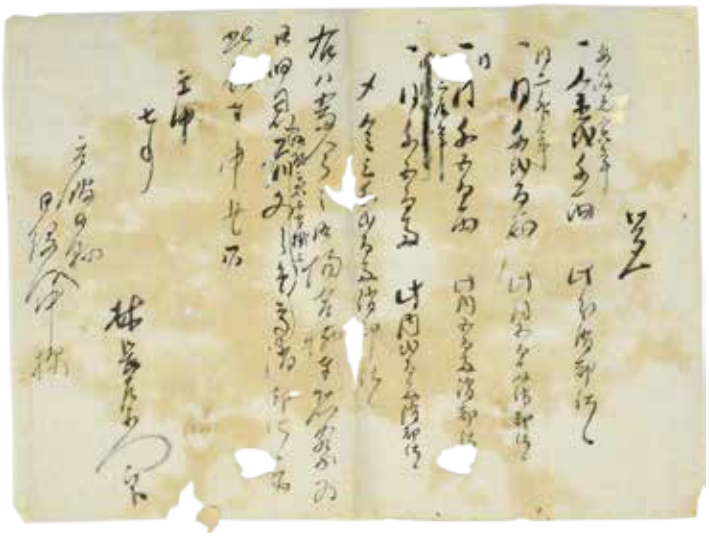


［177］奉差上御法書之事（184641）

［178］覚〔イソヤ、ヲタスツ場所運上金書上〕（184642）



［179］乍恐以書付奉歎願候（184643）



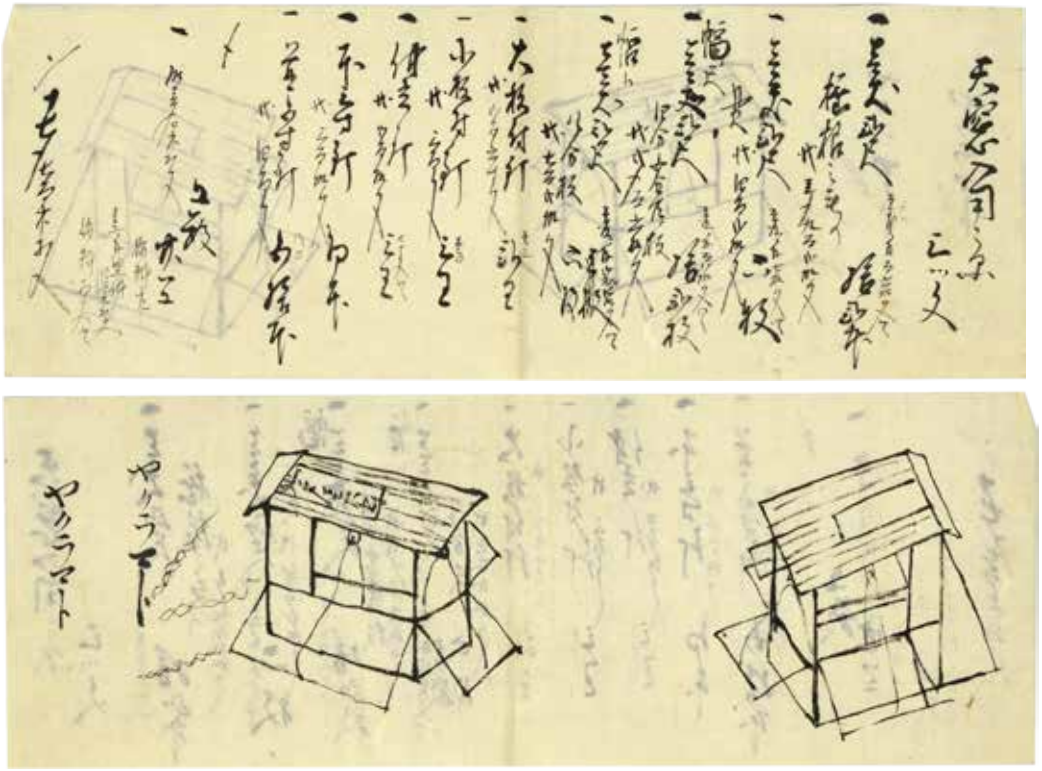
［180］覚〔金高消却書上写〕（184644）

［181］〔付箋〕（184645）

［182］〔付箋〕（184646）

［183］〔付箋〕（184647）

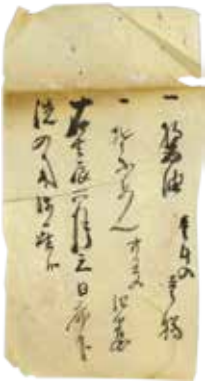
［184］〔付箋〕（184648）



［185］天窓入用之品（184649）　上：オモテ、下：ウラ（ヤクラマトの図）

［186］〔断簡〕（184650）

［187］〔付箋〕（184651）



［188］〔付箋〕（184652）

［189］〔付箋〕（184653）

［190］〔付箋〕（184654）

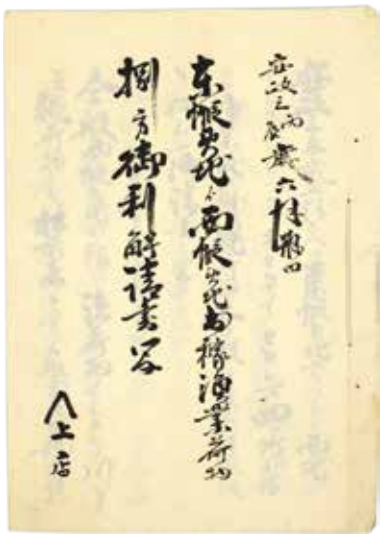
［191］〔文書断片〕（184655）

［192］〔文書断片〕（184656）

［193］〔白紙など一括〕（184657）

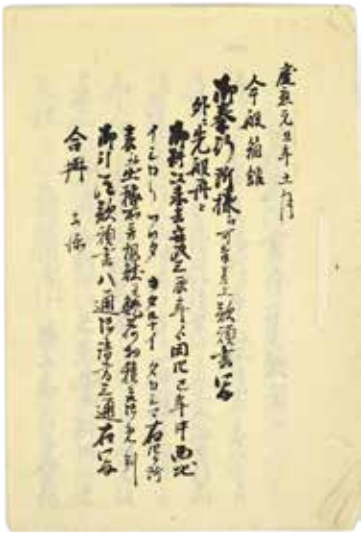
［194］〔山田文右衛門家相続関係文書写〕（184658）

［195］〔山田慶兵衛履歴〕（184659）



［196］東蝦夷地ゟ西蝦夷地出稼漁業荷物捌方御利解請書写（184660）

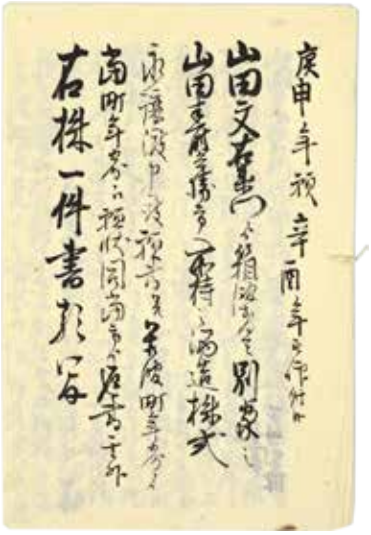
［197］〔願書写（イシカリ場所出稼関係）〕（184661）



［198］今般箱館御奉行様江可奉差上歎願書写（184662）

［199］〔歎願書・御請書写〕（184663）

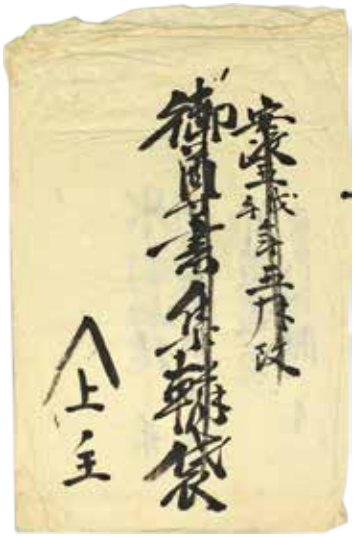
［200］〔書類袋（松前城下酒造株一件）〕（184664）



［201］〔酒造株式永譲渡一件書類写〕（184665）

［202］酒造米高書上帳（184666）

［203］酒造米高帳（184667）

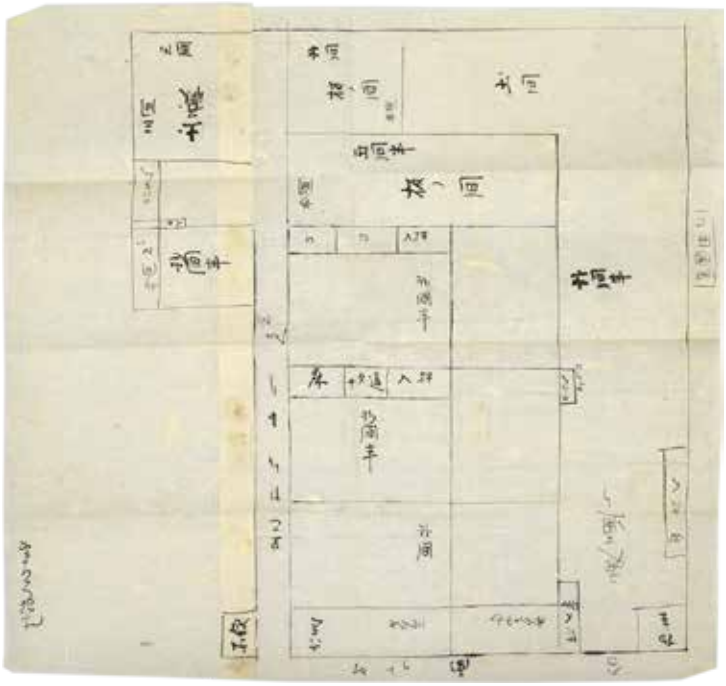


［204］〔書類袋〕（184668）　左：オモテ、右：ウラ

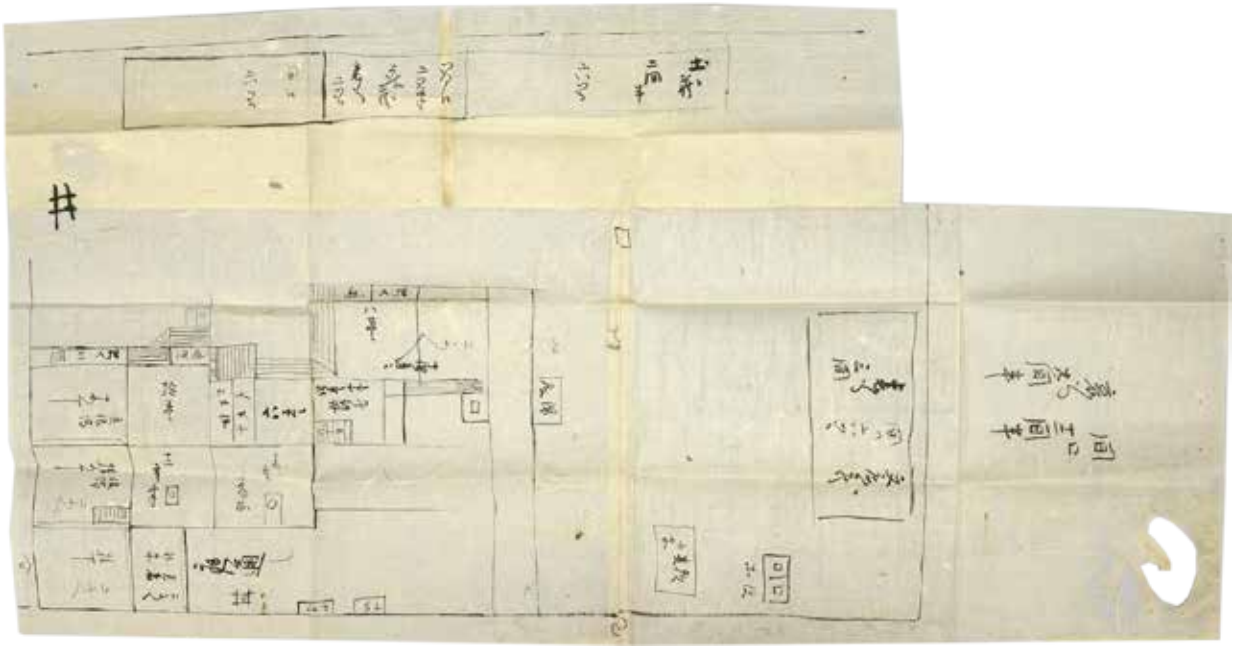
［205］覚〔氷割船積下リ米割合名前留〕（184669）

［206］酒造道具直段附（184670）

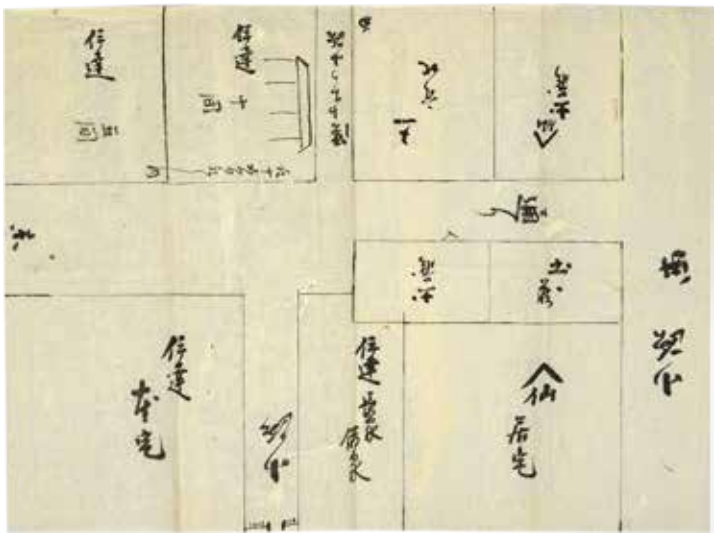
〔207〕〔包紙〕（184671）



〔208〕〔万屋専左衛門居宅絵図面〕（184672）

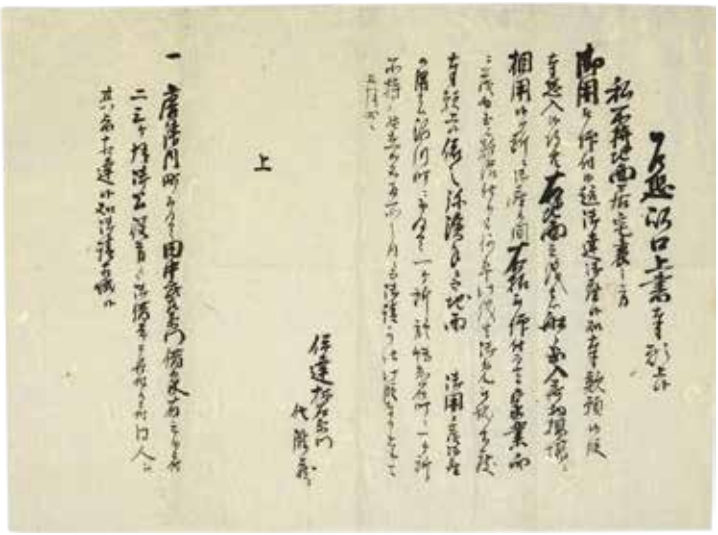


〔209〕〔山田文右衛門居宅絵図面〕（184673）

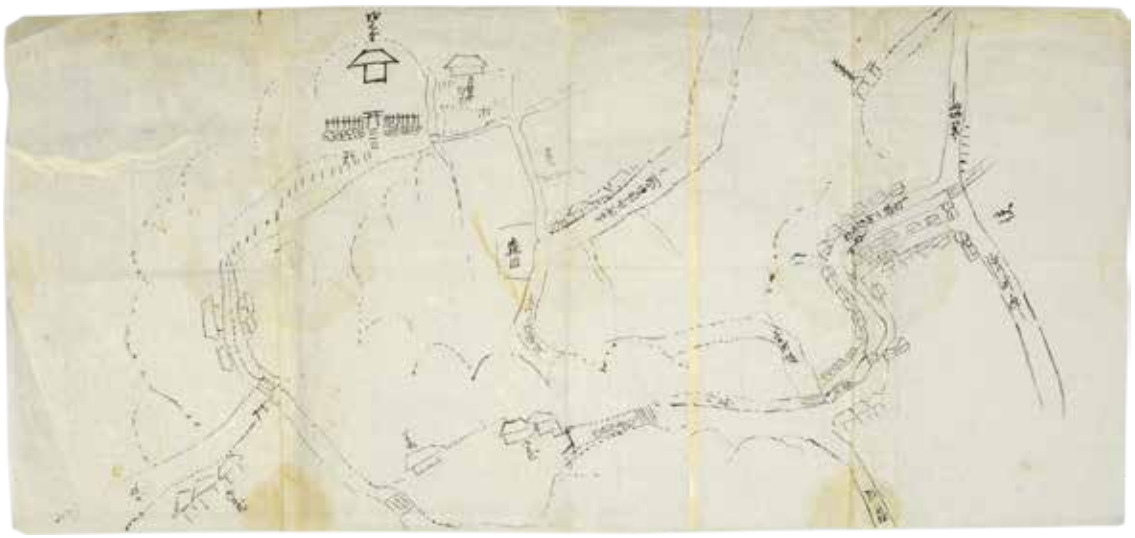


［210］〔伊達林右衛門本宅絵図面〕（184674）

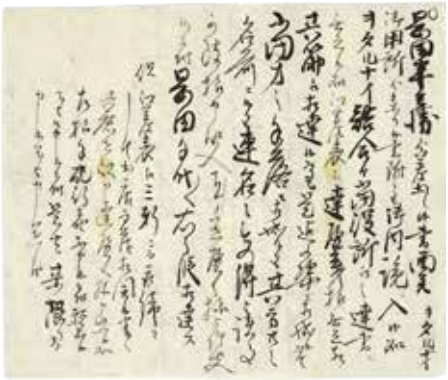
［213］〔付箋〕（184677）



［211］乍恐以口上書奉願上候（184675）

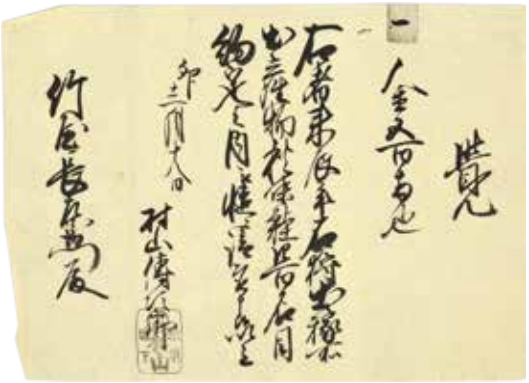


［212］〔松前市中麁地図〕（184676）



［214］〔指示書〕（184678）

［215］〔包紙〕（184679）



［216］覚〔金受取証〕（184680）

［217］手形之事（184681）

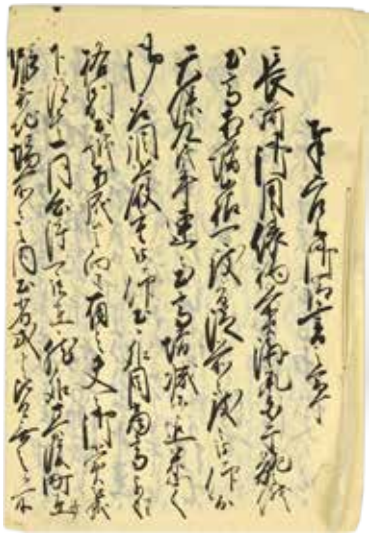
［218］覚〔為替手形〕（184682）

［219］覚〔金受取証〕（184683）

［220］覚〔為替手形〕（184684）

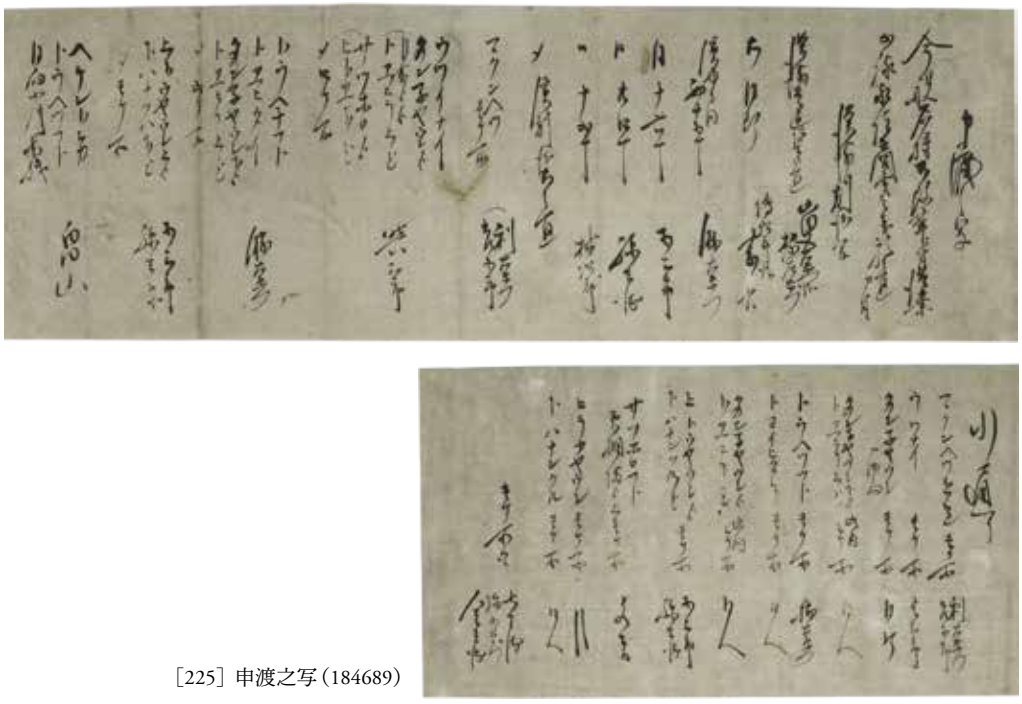
［221］覚〔金受取証〕（184685）

［222］覚（184686）

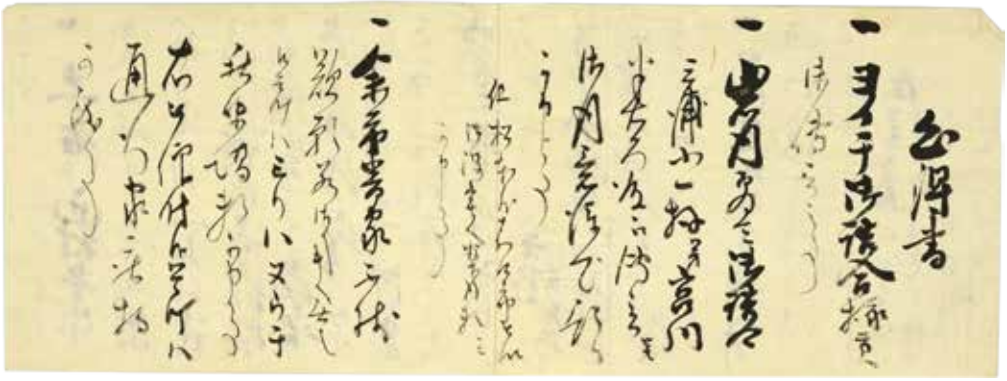


［223］奉差上御請書之事（184687）

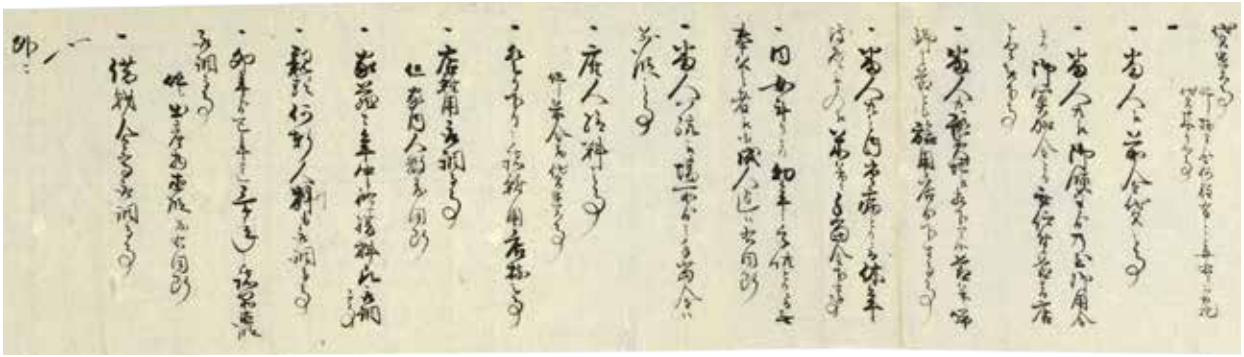
［224］永代譲渡証札之事（184688）



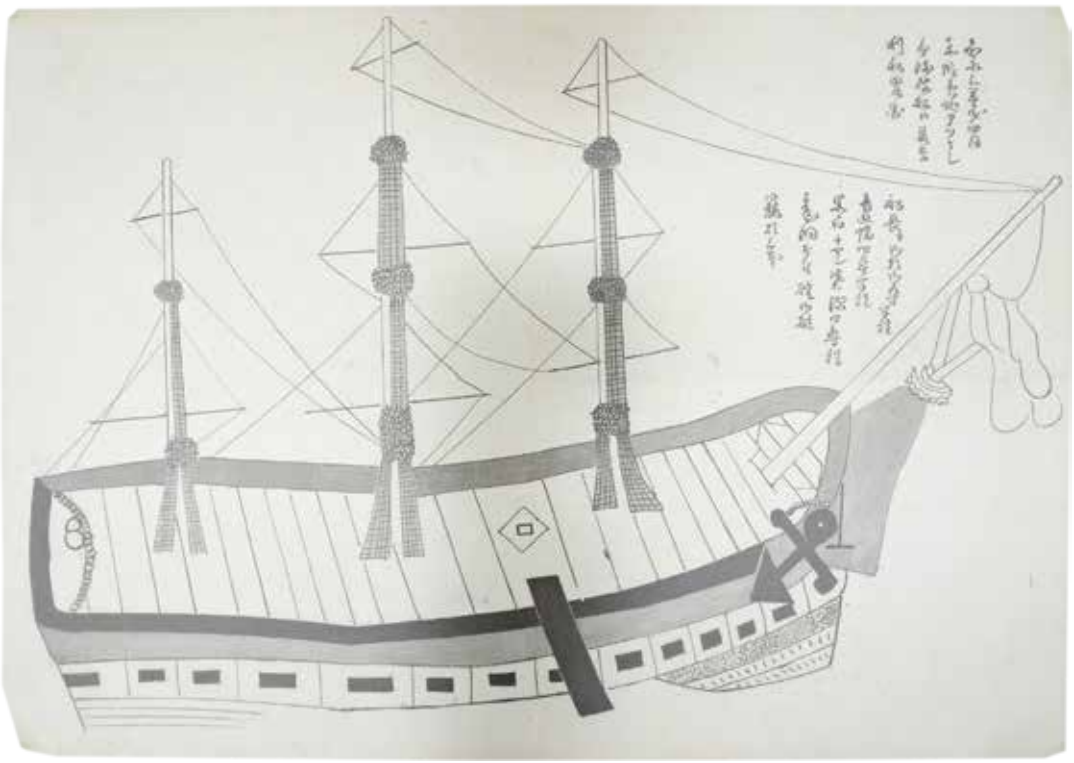
［225］申渡之写（184689）



［226］心得書（184690）



［227］船々取組方心得方（184691）



［228］〔嘉永3年アツケシ来航イギリス船絵図〕（184692）

［229］〔松前藩家臣知行所・産物書上〕（184693）

［230］〔ヨイチ場所諸書上写（部分）〕（184694）

フラーシェム・コレクションについて

東　俊佑（研究部歴史研究グループ）

1　資料収集のいきさつ

❶ 情報提供と事前折衝

一通の手紙が当館へ届いたのは、2017（平成29）年7月のことであった。手紙は、石川県金沢市在住のフラーシェム良子さんからのものであった。

手紙には、130件の古文書のリストが同封されており、自分が所蔵するこれらの古文書の寄贈を希望する趣旨が記されていた。その理由は、自身が高齢であり、その死後、所蔵する古文書の散逸・廃棄が心配なため、しかるべき資料保存機関において古文書を保存していただき、史料の利活用、及び今後の調査研究の進展に貢献したい、というものであった。

良子さんの夫は、歴史研究者であった故ロバートさん（Robert G. Flershem）である。ロバートさんは、蝦夷地の場所請負人であった山田文右衛門の研究者として有名である。その研究成果は、良子さんとの共著として、1994（平成6）年に北海道出版企画センターから出版された『蝦夷地場所請負人—山田文右衛門家の活躍とその歴史的背景—』において示されている。今回、良子さんが当館へ寄贈を申し出られた古文書群は、ロバートさんと良子さんが、北海道をはじめ、日本全国を調査し、その過程で出会い、収集したものである。古文書は、原所蔵者からの購入や譲渡などによって集めてこられた。ロバートさんのご逝去後、良子さんがこれまで大切に古文書を保管されてこられたのである。

良子さんからの手紙が届いた当館では、7月25日に歴史研究グループの会議を開催し、対応を協議した。寄贈を希望される古文書のほとんどが近世文書であることなどから、筆者（東）が担当者となり、良子さんとの折衝にあたることとなった。

筆者は、翌26日、良子さんへ手紙を返信した。手紙には、主に次の3つのことを記した。第一は、良子さんからの手紙の同封のリストを拝見する限りにおいて、所蔵される古文書が北海道史の研究にとって貴重な古文書と見受けられることである。資料の散逸を防ぎ、ロバートさん、良子さんの研究成果を後世に伝えていくためにも、しかるべき資料保存機関に一括で寄贈されることを勧めた。学芸員としての懸念は、資料の散逸である。当館に限らず、資料の永年保存が原則で、資料廃棄の規定が明文化されている（簡単に資料が廃棄されない体制になっていること）機関への寄贈・保存が、北海道の歴史研究にとって最も重視すべきことだからである。

第二は、当館の資料収集の理念についてである。当館は、その前身の北海道開拓記念館の時代以来、北海道民からの寄贈（無償）を資料収集の原則としている。収蔵資料の大部分が「寄贈」の区分であり、「購入」や「採集」は数えるほどしかない。これは、“北海道民と共に創り上げる博物館”という考えが根底にあるからである。そのため、資料の収集は、北海道知事の名のもとに行われ、資料は北海道の所有物（財産）＝道民の宝となるのである。

第三は、仮に当館へご寄贈いただければ、『資料目録』を刊行し、末永く大切に古文書を保存していくことを約束するという趣旨である。良子さんへの返信の手紙には、以前筆者が目録作りに関わった『林家資料目録（北海道開拓記念館一括資料目録　第38集）』（北海道開拓記念館、2009年）を同封した。

返信の手紙を投函してから数日後、良子さんから筆者のもとへ、当館へ資料を寄贈したいとの趣旨の電話連絡があった。

❷ 資料寄贈へ

8月31日（木）、筆者は、舟山直治学芸部長（当時）とともに、金沢市の良子さんのご自宅を訪問した。

古文書は「北海道関係」116件として目録に整理されており、1件ずつ中性紙封筒に入れられ（写真1）、さらに十数件ごとに新聞紙で括られた状態で（写真2）、段ボール1箱に入れて保存されていた。筆者たちは、封筒の中身を1件ずつ確認し、記録写真を撮影した。古文書はコピー等ではなく、和紙に墨書された物であることを確認した。ただし、フラーシェム家作成の目録の番号92「土人勘定差引帳」のみが行方不明であった。

次に良子さんから、資料の来歴について伺った。良子さんによると、ご所蔵の古文書は、小樽在住の山田家や林家等に出入りするなかで、譲渡や購入等によって集めたものである、とのことであった。とくに、小樽の林家では、2階の部屋や廊下に所狭しに置かれていた古文書を、日が暮れるまで調査した思い出を懐かしく語っておられた。

筆者には、十数年前、小樽の故林栴さんから寄贈いただいた古文書の整理経験がある。その経験から言えば、フラーシェム・コレクションには当館所蔵の林栴家資料と墨書の筆跡や内容の酷似した文書が多く、いわゆる林家文書が同コレクションに含まれていることは間違いないものと考えられた。

通常、資料収集は、情報の提供を受けてから、資料の調査を行い（現場で資料を確認）、博物館で収集を決定した

後に、実際に資料を収集する、という手順を踏む。ただし、今回の場合、寄贈者の居住地が遠方のため、筆者たちの判断による収集可否が事前に了解されていた。

フラーシェム家の資料群の大部分は近世文書（の実物）である。しかし、これらの文書は、ロバートさん、良子さんが集めたもの（コレクション）であり、その家につながる人びと（祖先など）が使用したものでもなければ、家に代々伝存するものでもない。一般的に「博物館資料」とは、資料の来歴や由来などの種々の情報と、博物館・学芸員の資料の調査研究による情報を含めた「資料情報」が、資料を「博物館資料」たらしめ、その価値を高めるわけである。その意味で、資料の来歴に不安があると資料価値は下がってしまう。しかしながら、フラーシェム・コレクションは、その資料の多くが近世文書であると認められる点、北海道の歴史研究にとって重要な意義が認められる点、そして何よりフラーシェム夫妻が収集・調査研究・整理を行ったという「資料情報」価値を有する点で、当館が収集すべき資料と判断できた。以上を踏まえ、「土人勘定差引帳」を除く115件を収集することとした。

なお、良子さんは、「北海道関係」116件のほかに、本州関係（青森県、新潟県、石川県等）の古文書類も所蔵されており、それらは石川県立図書館へ寄贈のご意向であった。資料保存機関の立場からすると、資料群の一括保存が望ましい姿であるが、「北海道関係」の古文書は北海道の機関で保存していただき、資料の活用に努めてほしいとの良子さんの強いご意向により、「北海道関係」115件は、当館が収集することとした。

❸ 保存処理

資料収集後、当館では次のような保存処理を行った。

まず、資料受入整理室において、段ボール、新聞紙から中性紙封筒（文書入）を取り出し、パンケース3箱へ移し替えた。封筒は、漬け物袋（ビニル袋）の中に防虫剤とともに入れ、数日間経過観察を行った（写真3）。

経過観察後、シミなどの古文書に悪影響を及ぼすような害虫がいないことを確認しながら、封筒の中から文書を取り出し、ほこりやゴミなどを、絵筆を用いて取り除くクリーニング作業を行った。とくに、良子さんのご自宅では猫を飼っており、そのフケ等の資料への付着が見られたため、作業は念入りに行った（細かいフケは目に見えないが、筆者は猫アレルギーのため、涙や鼻水などの症状が少々確認されたことによる）。

クリーニング処理終了後、古文書と封筒をまとめて、「ふくろうくん」（CO_2殺虫バッグ）による保存処理を行った。

なお、フラーシェム家で使用していた段ボール、新聞紙、ビニルひもなどは廃棄した。ただし、115件分の中性紙封筒には、フラーシェム家で整理した際のペン書きの文字が記されていたため、これらは廃棄せず、保存処理後、参考資料として収蔵することとした（写真4）。

写真1

写真2

写真3

写真4

2　整理の経過と分類

❶ 整理の経過

収集前のフラーシェム・コレクションは、115件におよぶ資料のすべてが古文書類（紙もの）であり、当館の資料分類では「文書資料」となる。115件にはフラーシェム家作成の目録（以下、「旧目録」とよぶ）があり、中性紙封筒に1件ずつ整理されていた。しかし、「92　土人勘定差引帳」が欠であり、また一つの封筒のなかに複数の文書が含まれていることもあったので、改めて1件ずつ整理し直すこととした。ただし、「旧目録」の順番を重視し、「旧目録」の番号順に改めて新番号（「新目録」では「整理番号」に該当する）を付与した。

その結果、「旧目録」の115件は、「新目録」（本目録）では230件となった。本目録の3〜15頁掲載の整理番号1〜230の資料がそれである。フラーシェム・コレクションは、230件として当館の収蔵資料へ受け入れることとし、収蔵番号184465〜184694を割り振った。230件の資料は、当館の新しい中性紙封筒に入れ直し、それを3つの中性紙箱（箱No.1〜3）に入れて保管することとした。箱No.2には、「参考資料」の旧封筒とフラーシェム家作成の手書きの「山田氏系譜」2巻を入れた。

❷ 分類の基準と内容

「旧目録」115件は、「1 北海道寿都　田付新兵衛家文書」「2 北海道厚岸関係文書」「3 北海道関係文書」の3つに分類・整理されていた。当館では、この分類を生かし、「A スッツ場所関係文書」「B アッケシ場所関係文書」「C 北海道関係文書」の3つに分類している。各文書を精査すると、「C」のなかに「A」や「B」に該当するものも若干含まれているが、原則分類は移動させず、そのままとしている（［88］〜［91］の4件のみBからCへ移動した）。本目録3〜15頁の「種別」の列のA〜Cがそれに該当する。

ロバート・G・フラーシェム，ヨシコ・N・フラーシェム『蝦夷地場所請負人――山田文右衛門家の活躍とその歴史的背景』（北海道出版企画センター、1994年）

以下、各分類の内容について簡単に記しておく。

種別A「スッツ場所関係文書」は、整理番号1〜67の67件である。これは、「田付」「山崎屋」「スツヽ」「寿都」「セタナイ（井）」などの語が見える文書で、江戸期にスッツ場所などの請負人を務めた田付家に関係のある文書である。中には、明治以後の文書も含まれるが、大部分が江戸期の文書であるため、「スッツ場所関係文書」とした。

種別B「アッケシ場所関係文書」は、整理番号68〜87の20件である。これは、「アツケシ」「悪消」などの語が見える文書で、そのほとんどは文化〜文政年間のアッケシ場所請負に関するものである。

種別C「北海道関係文書」は、整理番号88〜230の143件である。スッツ場所、アッケシ場所に関係するもの以外をここに含んだ。

本目録では、以上のようにフラーシェム・コレクションを大まかに分類したが、こうした分類が常に正しいとは限らない。分類の専行により、かえって文書群本来の意味が失われる場合もある。ここでは、フラーシェム家の研究成果をできるだけ尊重することとした。今後の研究により、より精度の高い分類が行われることを切に願うばかりである。

3　フラーシェム・コレクションの特色
――北海道史研究のなかのフラーシェム・コレクション

当館所蔵のフラーシェム・コレクションは、総計230件のうちの大半が、慶応年間以前の江戸期のものである。そして、その特徴を一言で表現するならば、蝦夷地の場所請負に関する経営文書が多く、しかもその多くが〈林家文書〉に由来する可能性の高い文書である、ということである。

ロバートさん、良子さん夫妻は、先に述べたように、場所請負人・山田文右衛門の足跡を追いかけ、その研究成果を『蝦夷地場所請負人』に結実させた。したがって、同コレクションは山田文右衛門に関する文書が多数を占めると考えがちである。たしかに、［194］〜［201］や［208］（［207］の包紙から山田文右衛門の居宅絵図面であることが推測される）には、「山田文右衛門」の語が見える文書も含まれており、また【〆一】（山田屋の屋号）が記される文書もある（［217］〜［220］、［226］など）。しかし、同コレクションの種別Cの大半は、「ヨイチ」「余市」や「林」「竹屋」などの語の見える文書の方が圧倒的に多く、しかも種別A、種別Bに関しても、以下に述べるように、当館所蔵の林家文書（小樽の故林栴さん旧蔵の文書）との共通点が多々認められるのである。

種別A「スッツ場所関係文書」67件の大半は、田付新兵衛家のスッツ場所請負に関するものである。同家については、『寿都町史』に若干の記載があるほか、これまで具体的なことは不明であった。同家の系譜について、［3］や［5］をもとに整理すると、次のとおりとなる。

初代（始祖）　田付新兵衛

諱は不明。1607（慶長12）年生まれ。1665（寛文5）年没（59歳）。法名浄珍。

2代　田付新兵衛

諱・幼名不明。1649（慶安2）年生まれ。初代新兵衛の5男。1697（元禄10）年没（49歳）。法名教西

3代　田付新兵衛

諱昌栄（よしたか）、幼名新之助。1675（延宝3）年生まれ。2代新兵衛の長男。1742（寛保2）年没（68歳）。法名教信

4代　田付新兵衛【養子】

諱不明。幼名新七。柴谷重右衛門（柳川村）の次男。1708（宝永5）年生まれ。室喜曽（八坂村の森善兵衛の娘）。1735（享保20）年没（28歳）。法名教専

5代　田付新兵衛【養子】

諱不明。中村久右衛門の長男（中村氏の七男とも）。初名九郎二。1706（宝永3）年生まれ。31歳のとき田付家相続。室喜曽（4代新兵衛没後、5代新兵衛へ嫁ぐ。1748（寛延元）年没。法名妙貞）。再室於喜与（森弥左衛門の娘。法名妙寿）。1770（明和7）年没（65歳）。法名教寿

6代　田付新蔵

諱不明。1732（享保17）年生まれ。5代新兵衛の長男。室於茂与（西山猪兵衛政信の娘）。1772（安永元）年没（41歳）。法名教誓

7代　田付新兵衛

諱当譽（まさたか）。幼名与三七。1757（宝暦7）年生まれ。5代新兵衛と再室於喜与の子。室は西山政信の娘（西山教信・智真の娘とも。法名妙現）。1820（文政3）年没（64歳）。法名教順

また、［7］（［4］にもほぼ同様の記述がある）には、松前店の歴史が次のように記されている。

江州彦根御領分
柳川村
柳屋新兵衛店
山崎屋
武兵衛

寛永年中於当所開店之砌、柳屋支配人藤兵衛、其後支配人代替り之新助に名面替り申候、安永、明和、天明年中者柳屋新蔵、寛政年中者柳屋与三七、享和、文化年中柳屋新兵衛、文政十丁亥年柳屋改号山崎屋新兵衛与仕候、天保十一子年山崎屋武兵衛与仕候、寛永年中御当所江開店仕候ゟ当辰年迄凡弐百六年ニ相成申候、右御尋ニ付、奉申上候、以上、

田付新兵衛家は、寛永年間（［8］によると1843（天保14）年の時点で開店215年とあるので、1628（寛永5）年ごろ）に松前で店を開き、代々柳屋を屋号として商売を行ってきた。同じ田付家に、福島屋田付新右衛門家（新助家）があり、両家はともに近江柳川村出身の田付新助を元祖とする親戚筋にあたるが、江戸時代初期の段階で分家し、両家は基本的に別家である。なお、元祖田付新助は、1582（天正10）年に生まれ、1632（寛永9）年に52歳で死去、法名祐珍であるとの記載が［3］にある。慶長年間に建部元重とともに松前へ渡り、柳川村と、隣の薩摩村の両村の商人を組織して「両浜組」を結成し、松前藩から船役銭の免除などの特権を得ていたのはよく知られる事実である。

8代田付新兵衛は、［3］［5］の記述を合わせると、諱は朝清、幼名良次郎、山川忠左衛門（小幡村）の長男、母は西山教信（教真）・智真の娘で、1788（天明8）年に生まれ、西山伊兵衛政豊（教真）の養子となり、さらに田付家の養子になったと推測される。また、田付家での初名が新六で、春郷が号（または通称）だったと考えられる。

9代田付新兵衛は、［9］によると、諱は朝寛、幼名は新八である。1855（安政2）年に「店嫡家志願」の祈祷を田付新兵衛の名で行っていることから、このころ田付新兵衛家を相続したと考えられる。のち明治になると、寿都郡の戸長として、漁業や地方自治に貢献した人物として知られる。なお、新八の弟良次郎（朝恭）は4代林長左衛門として林家の婿養子となった（北海道開拓記念館編 2009：73）。

田付新兵衛家が、スッツ場所の請負に関わるのは、1818（文政元）年に田付本家の福島屋新右衛門より譲り渡されて以降とされる。［7］の記述と合わせると、当初は柳屋新兵衛の名で請け負っていたが、1827（文政10）年に屋号を山崎屋に改め、山崎屋新兵衛となり、のち1840（天保11）年から山崎屋武兵衛になったということになる。なお、［64］（1855（安政2）年）には「スツヽ請負人山崎屋新八代源兵衛」、［19］（1867（慶応3）年）にも「請負人山崎屋新八」という記載があり、また、当館所蔵の林家文書にあるスッツ・セタナイ場所の運上金上納目録（［E35］～［E37］の「御運上金上納通」）には、1849（嘉永2）年まで山崎屋武兵衛、1850（嘉永3）年から山崎屋新八名義となっていることから、1850（嘉永3）年以降場所請負制が廃止されるまで、スッツ場所請負人の名義は「山崎屋新八」を使用していたと考えられる。

フラーシェム・コレクションの「スッツ場所関係文書」は、8代・9代のころのものである。当館所蔵の林家文書にも、「田付家関係（近世～近代）」53件が収録されており、北海道立図書館所蔵の林家文書などにも数点が確認される。今後、これらを含めて研究が進むことにより、田付新兵衛家や寿都町の歴史が新しく塗り替えられていくことが期待される。

種別B「アッケシ場所関係文書」20件は、1812（文化9）年から1824（文政7）年までのアッケシ場所請負に関する文書である。この時期は、林家のアッケシ場所経営とも重なる。林家の初代竹屋長七（長左衛門）は、1818（文政元）年から1824（文政7）年までの7年間、請負人・畑屋七左衛門（直右衛門）名義でアッケシ場所の実質的な経営を担う（北海道開拓記念館編 2009：71）。アッケシ場所を含む東蝦夷地の場所請負は、1813（文化10）年より復活する。江戸幕府は、1799（寛政11）年の東蝦夷地直轄（仮上知）以降、東蝦夷地全域を直捌としていたが、1812（文化9）年をもって廃止することとし、同年9月7日に請負人の入札を行う。その結果、アッケシ場所の請負人となったのが米屋藤

兵衛であった（厚岸町 1975：110-111）。しかし、運上金の支払いができず、請負人は熊野屋忠左衛門に代わったという（厚岸町 2012：609）。

当館や道立図書館所蔵の林家文書にも、同時期のアッケシ場所に関する文書が収録されている。フラーシェム・コレクションの「アッケシ場所関係文書」もこれらと密接に関連していると考えられ、その大半は林家の文書であろうと推察される。ただし、同コレクションは、1817（文化14）年以前、すなわち竹屋長七による経営以前のもの（［68］～［72］）も含んでいる。これらを除けば、ほとんどは1818（文政元）年～1824（文政7）年の林家経営時期と重なる。いずれにせよ、林家文書を含めて研究が進むことにより、林長左衛門家や厚岸町の歴史が新しく塗り替えられていくことが期待される。

種別C「北海道関係文書」143件は、スッツ、アッケシ以外の松前・蝦夷地、北海道に関する文書である。高田屋嘉兵衛に関する断簡（［88］～［91］）、箱館産物会所関係（［103］～［106］、［207］～［214］）、笊網使用に関する儀定証文（［140］～［141］）、ウス善光寺に関する書簡・断簡（［156］～［157］）、村山家の石狩出稼漁場関係（［158］～［165］）、北村百姓乱妨一件（網切騒動）関係（［166］～［171］）、山田文右衛門の西蝦夷地出稼荷物積取関係（［196］～［199］）などが、まとまって含まれている。

種別Cのなかにも、林家文書に由来すると推定できる文書が含まれている。例えば、［94］夏ヲムシヤ取扱方調書は、上下ヨイチ運上家によるヨイチ場所オムシャの書上の写しである。これとよく似た文書が当館所蔵の林家文書のなかにある（［B33］～［B44］の夏ヲムシヤ取扱書）。林家文書のものは、嘉永年間（1848-54）のものである。［94］と同じ子年のものは、1852（嘉永5）年付けの［B40］であるが、アイヌの人名や記述内容に若干の違いが見られることから、［94］は1840（天保11）年、もしくは1828（文政11）年のものであろう（［94］には「夷人」の語が見えるので、「蝦夷人」が「土人」へ改称される1856（安政3）年以前で、林家がヨイチ場所を請け負う1825（文政8）年以後となる）。

［102］は、1854（嘉永7）年に北蝦夷地（サハリン・樺太）視察のため、西蝦夷地ヨイチ場所を通行した幕府役人と、その随行者（松前藩士等）一行の接待について記録した文書である。通行した幕府役人や松前藩関係者の名前、日時が記されている。請負人関係者や役付のアイヌが一行を場所境まで出迎え、旅立つ際に次の場所境まで見送っている様子や、一行に振る舞った料理や茶菓子のことまでが詳しく記されている。文書の最後に「四月廿二日ゟ／五月廿四日迄之／御通行無滞／相済／千秋万歳／目出度」とある。作成者はヨイチ運上家である。こうした文書は、元々林家文書にあったものと考えてよいだろう。

このほかにも、一つずつ丁寧に検証していけば、林家文書に断定できる文書が数多く含まれているであろう。ここでは紙幅の都合上、すべてを検証することを控えるが、いずれにせよ種別A、種別B、そして種別Cの多くが林家文書に由来すると考えられる以上、フラーシェム・コレクションは、田付家、林家の場所経営のあり様を探ることのできる貴重な資料群であることは間違いない。

林家文書は、当館以外に、余市水産博物館、北海道立図書館、札幌市中央図書館などにも収蔵されるが、いまだその全貌は不明確である。同文書は、場所請負人・支配人を務めた家に伝存した資料群としては、その量・質ともに群を抜いており、蝦夷地場所請負制、とりわけ請負制下のアイヌ社会のあり様を解明できる史料として、大いに注目されている。今回、フラーシェム・コレクションが当館へ寄贈され、本目録が刊行されたことにより、係る研究が少しでも進展するならば幸いである。このことは、寄贈者である良子さん、そして故ロバートさんの願いである。

末筆ながら、貴重な資料群の当館へのご寄贈を選択いただいたフラーシェム良子さんに、重ねて敬意を表するとともに、本目録、ならびにフラーシェム・コレクションの積極的な活用により、北海道史研究が大きく発展することを期待する。

参考文献

寿都町教育委員会編『寿都町史』寿都町、1974年

厚岸町史編さん委員会編『厚岸町史（上巻）』厚岸町、1975年

ロバート・G・フラーシェム，ヨシコ・N・フラーシェム『蝦夷地場所請負人：山田文右衛門家の活躍とその歴史的背景』北海道出版企画センター、1994年

彦根市史編集委員会編『新修彦根市史　第2巻　通史編近世』彦根市、2008年

北海道開拓記念館編『林家資料目録（一括資料目録第38集）』北海道開拓記念館、2009年

近江八幡市史編集委員会編『近江八幡の歴史　第5巻　商人と商い』近江八幡市、2012年

厚岸町史編集委員会編『新厚岸町史　通史編　第1巻』厚岸町、2012年

あとがき

本目録作成にあたり、鷲澤淑子氏（石川県立図書館）、永野正宏氏（文化庁）、霜村紀子氏（国立アイヌ民族博物館）にお世話になりました。また、資料整理の過程で、法量の計測や丁数の確認作業の一部について、博物館実習生の方々にご協力をいただきました。あわせて厚くお礼申し上げます。

また、末筆ながら、資料をご寄贈いただいたフラーシェム良子さんと、故ロバートさんに心より感謝申し上げます。

なお、本目録作成作業は、研究部歴史研究グループが所管し、目録取り、解題（フラーシェム・コレクションについて）の執筆、写真撮影・加工、レイアウト・編集とも東俊佑（研究部歴史研究グループ学芸主査）が担当しました。

Flershem Collection Catalogue

AZUMA Shunsuke

The Flershem Collection are documents from the former warehouse of Robert G. and Yoshiko N. Flershem, who were Ezochi basho ukeoinin (subcontracted trading post merchant manager) researchers. While following the traces of a basho ukeoinin called Yamada Bun'emon, the couple researched Hokkaido and the whole of Japan, and collected various old documents they encountered during that process.

In August 2017, this museum received the collection as a donation from Yoshiko and, for approximately two years, carried out organization and classification work. Comprising a total of 230 items, the collection is made up of old documents related to Hokkaido, of which the majority come from the Edo period before the Keio period. Another feature of the collection is that there are many administrative documents related to the Ezochi Subcontracted Trading Post System.

In particular, there are 67 Suttsu Basho-related items of the family of Tatsuki Shinbei, who was the Suttsu Basho manager merchant, and 20 documents related to the Akkeshi Subcontracted Trading Post System from 1812 to 1824. In addition, Among the remaining 143 items include many collections of letters, deeds and documents recording requests and notifications related to the fishing industry and distribution of products. This collection's special feature is that many of these items are related to the Yoichi Basho"Takeya"and its manager merchant, the Hayashi family.

AZUMA Shunsuke : History Studies Group, Research Division, Hokkaido Museum

『北海道博物館資料目録』は、当館が収集した北海道の自然・歴史・文化に関連する貴重な資料について、その学術的価値を広く公表するものです。

本目録は、北海道博物館の前身である北海道開拓記念館が1970（昭和45）年以来刊行してきた『北海道開拓記念館一括資料目録』、ならびに北海道立アイヌ民族文化研究センターが1996（平成8）年以来刊行してきた『北海道立アイヌ民族文化研究センター資料目録』の後継刊行物です。

北海道博物館では、『北海道博物館一括資料目録』の第1集として、2017（平成29）年『弥永コレクション』を刊行しました。このたび、その第2集として『北海道博物館資料目録』第2号を刊行します。今後は、名称を『北海道博物館資料目録』と統一して刊行を継続する予定です。

北海道博物館資料目録編集委員会

編集委員長

小川正人（学芸部長）

編集委員

右代啓視（研究部長）
堀繁久（学芸部博物館基盤グループ学芸主幹）

事務局

学芸部博物館基盤グループ

北海道博物館資料目録　第2号

発行

2020（令和2）年3月

編集・発行者

北海道博物館
004-0006　札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
011-898-0456
www.hm.pref.hokkaido.jp

印刷所

株式会社総北海 札幌支社
065-0021　札幌市東区北21条東1丁目4-6
011-731-9500

ISSN 2435-5992

北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM